

# 紫友同窓会会報 第47号

2019.07.31

●紫友同窓会(府立五中、都立小石川高校および都立小石川中等教育学校)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-29 東京都立小石川中等教育学校内 TEL FAX : 03-3945-1961



創立 100 周年記念式典 (於 文京シビックホール) 2018.11.17

## 五中 小石川 創立百周年



創立 100 周年記念総会・パーティー (於 京王プラザホテル) 2018.10.28

## CONTENTS

### ▶目次

03	会長挨拶	戸叶司武郎(027C)
04	校長挨拶	梅原章司
05	副校長挨拶	久保静生・安藤香織
06	PTA会長挨拶	水野忠知
06	計報	
07	特集1	新しい同窓会を創る
09		紫友みらい基金の創設
11	特集2	百周年記念事業の総括
		教育支援活動
12		紫友交流室の活動
13	小石川の杜プロジェクト	
14	100周年祝賀パーティー開催!	

18	募金活動の報告	
19	寄付ご芳名一覧	
24	百周年事業決算報告	
25	先生お元気ですか?	田中正彦先生
26	同窓生訪問	嶋津昭さん(014F)
30	吾が校友の精神を	
	①和の芸術に没頭	石井孝夫さん(022D)
	②033Bで片貝まつりに煙火奉納	根本忠さん(033B)
	③俵会長を偲んで	市原昭さん(025H)
	④風になった俵一雄さん	松木富美子さん(017D)
	⑤俵さんとまち歩き	伊藤裕美さん(020G/021E)
35	今、学校では	

39	教職員転入転出	
40	旧教職員だより	前副校長 土方賢作先生
41	大学入試合格者数	
42	2019年度評議委員会報告	
43	役員一覧・組織図	
44	会計報告	
45	部会報告	
47	第2回伊藤長七研究フォーラム開催	
49	同期会・クラス会	
53	クラブOB会報告	
58	地域同窓会の活動	
60	紫友経営者交流会の発足	
61	事務局だより	
62	逝去者一覧・編集後記	

# 小石川の新しい歌（青空ジャンプ）

五中・小石川の創立百周年を記念して、都立小石川中等教育学校の各種活動で歌われる“元気で明るい活動的な歌”にする事を旗印にして制作しました。

作詞は公募方式により募集して、作曲と編曲は専門家に依頼する方針で進めました。

作詞には16作品の応募があり、選定委員の学校長、PTA会長、生徒会会長・副会長、同窓会会長、（一財）紫友会理事により投票が行われ 043回卒の田中幸子さんの作品「青空ジャンプ」が選出されました。

作曲は052回卒の王子菜摘子さん、編曲は058回卒の菊地友夏さんに依頼しました。

2019年10月の京王プラザホテル祝賀パーティーでの放映（録画）と同11月の文京シビック小石川中等教育学校創立100周年記念式典で生徒の演奏合唱により、お披露目されました。

編曲譜面は（1）合唱+ピアノ伴奏用（2）吹奏楽部用（3）オーケストラ用の3種類を作成して学校へ贈呈いたしました。

## 五中小石川創立百周年記念 青空ジャンプ

田中幸子 作詞 / 王子菜摘子 作曲 / 菊地友夏 編曲

ちーせないっほは いつも ここからー きょうかじよに みつける あいつの らくがきー

9 わらって ないて めをあわせてしんこせゆう まだみぬ みらいへ ジャンプしたー

17 どこまーでもー あおくー たかくー こころざしーをー もてー あおそら

25 ジャンプ きつとジャンプ こいしかわのかせが はこんで くれる でもゆめは じぶん でみつ け

32 むんだあおそらジャンプ きつとジャンプ おちつけあせらず ともと いっしょにー あおそらジャンプ



左から編曲：菊地、作詞：田中、作曲：王子



生徒練習の様子



学校式典で合唱

### 1 青空ジャンプ

作詞：田中幸子 補作詞：王子菜摘子

小さな一歩はいつもここから  
教科書に見つけるあいつの落書き  
笑って泣いて目を合わせて深呼吸  
まだ見ぬ未来へジャンプした

どこまでも青く高く志を持って  
青空ジャンプきつとジャンプ  
小石川の風が運んでくれるでも夢は自分で見つけるんだ  
落ちつけあせらず友と一緒に青空ジャンプ

### 2

石の固さがあの日ここでも  
君と心でゴッソんと勝負  
結んで開いて人として青いまま  
見えない日々々にジャンプしよう

どこまでも熱く拓け輝ける道を  
青空ジャンプきつとジャンプ  
小石川の風が運んでくれるでも行先は自分で探すんだ  
大地蹴って飛び立てたとえ一人でも青空ジャンプ

### 3

川の流れがいつかどこかで  
めぐり合わせの校舎の中庭  
放課後駆け抜け再びの青い春  
遠くて近い記憶へジャンプしたい

どこまでも創ろう広い自由な未来を

青空ジャンプきつとジャンプ  
小石川の風が運んでくれるでもゴールには自分でたどり着くん  
青空ジャンプきつとジャンプ  
誇りを胸に走れ仲間とともに青空ジャンプ

## 紫友同窓会会長就任にあたって



紫友同窓会 会長 戸叶司武郎 (027C)

この度、故依前会長を引継ぎ紫友同窓会会長となりました戸叶司武郎（とかのしぶろう）です。まず皆様にお伝えしたいことは百周年への御礼です。照れ屋の一面もあった依さんも、声が出なくなった昨秋以降、きっと一人一人に伝えたかったはずです。御芳志や備品・知見・情報をお寄せ下さった皆様、各事業に手弁当で参加ご協力戴いた理事・実行委員の皆様、そして学校・PTA・地域の皆様に心から感謝申し上げます。

### ◇小石川デジタルアーカイブで検索してみました

アーカイブの検索窓に「紫友同窓会」と入れてみました。戦後8人の会長のうち3人が在職中に亡くなっています。私は今年度中に63歳になる学年で、在学中は剣道部でした（自己紹介は同窓会HPをご覧ください）。若いとは言えませんが健康に留意し、実務型の会長として同窓会の運営に全力で取り組んでまいります。

### ◇令和元年は小石川101年目スタートの年です

五中・小石川は平成の終わりに百歳になり、令和元年と共に101年目が始まりました。この節目の時に会長を務めさせて頂く重責を受けとめ、「新しい同窓会」の形を創っていくことが1番の使命と考えております。では新しい同窓会の形とはなんでしょう？

あの頃は楽しかった、と懐かしさをかみしめて明日の糧にすることは同窓会の根底にある役割です。欧米の大学 Alumni のように、人脈を駆使して卒業生のビジネスチャンス獲得を支援する機能は、母校への帰属意識を高めます。稲門会や三田会のように巨大な組織として、社会に大きな影響力をもつほどの同窓会もあります。でもそれだけじゃない何かを加えたい。「小石川らしい」「新しい」を自分流に解釈すると「ユニークな（他とはひと味違う）」なんじゃないかと思っています。

### ◇同窓会の基軸は「同窓生交流」と「母校支援」

母校支援、同窓生交流、この二つは世の中の同窓会の定番です。小石川流にどのようにアレンジするかを試行錯誤していきます。すでに次世代組織検討会や紫友みらい基金などが活動を開始しました。

支援の目的は大学合格者数やビッグコンクールに優勝して、母校のブランド力を高めるだけではありません。次の百年を担う人材を多く輩出するとともに、我々の支援で「小石川を卒業して良かった」と感じてくれる同窓生を一人でも多く増やすことです。

その気持ちを持ち続けてもらうためにも「交流」を促進します。人生のステージそれぞれで、世代を超えて交流する企画を同窓生自らが創作・実践し、友達の輪を開拓できる仕組みを作りたいのです。交流企画を試行錯誤する場として、紫友スタジオを昨年春に開設しました。

### ◇喫緊の課題は事務局効率化と情報発信力向上

様々な事業を遂行する為には、事務局の体力増強と効率化が必須です。特に事業活動状況を皆様に伝える効果的な手法を構築しなければなりません。

現在の会員数は名簿上は3万人以上、その中でmailアドレスを登録している会員は約5千人です。公式HPを中心として、FacebookやLINE等のSNS活用などを展開するために手伝って頂けるかたを求めています。ぜひご協力をお願い致します。

### ・継続的な寄付と支援のお願い

百周年で皆様から頂戴した貴重な寄付は、母校支援と交流にたいせつに使わせて戴きます。活動を長期に継続するためには、毎年の会費納入と定期的な寄付、そして知見・情報・人脈の支援が不可欠です。

新会長として、まだ力不足ではございますが全力で取り組んでまいります。皆様のご指導そしてご支援を、引きつづきよろしくお願い申し上げます。

# 校長挨拶

## SOCIETY 5.0 を担うリーダー育成

校長 梅原 章司

紫友同窓会及び一般財団法人紫友会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に御理解、御協力、御支援を賜りまして、大変ありがとうございます。また、昨年度の小石川創立 100 周年記念式典に際しましては、様々な面において御支援・御協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。

さて、これからの学校教育においては、情報化や国際化など急速かつ激しく変化する社会を主体的・創造的に生き抜いていく子供を育てていくことが求められています。具体的には、基礎的・基本的な力を確実に育成すること、社会を牽引する専門的な力を育成すること、生涯にわたって自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動し、より良く問題を解決する資質や能力を育むことなどがあります。

Society 5.0 という言葉を耳にする機会が最近ますます増えてきたような気がします。これは、狩猟社会 (Society 1.0)、農耕社会 (Society 2.0)、工業社会 (Society 3.0)、情報社会 (Society 4.0) に続く、新たな社会を指すもので、第 5 期科学技術基本計画において日本が目指すべき未来社会の姿として初めて提唱されたものです。

Society 5.0 の社会において、定型的業務や数値的に表現可能な業務は、高度に発達した AI 技術により代替可能と予測されています。そうなった時にでも今ままで変わらず、人間に求められる力としては、文章や情報を正確に読み解き、対話する力、科学的に思考・吟味し、活用する力、価値を見つけ出す感性と力などが挙げられています。

これを聞いたとき、ふと気づいたことがありました。小石川で行われている三つの特色ある教育活動、小石川教養主義、理数教育、国際理解教育はまさにこれらの力をつけるために行っているのではないかと。特に課題探究型学習である、小石川フィロソフィでは、それらの力を総合的に習得することができています。つまり、小石川生は、Society 5.0 という時代の急速な変化を恐れる必要はないということです。

以前、全校集会の時に次のような問を生徒に投げかけたことがありました。

問 次の〇〇の部分に「夢」と「志」のいずれかを入れるとしたら、より適切なのはどちらですか。

① 私の〇〇は、医者になって大金持ちになることです。

② 私の〇〇は、医者になって難病で苦しむ人々を助けることです。

言うまでもなく、①は「夢」、②は「志」がより適切です。②に「夢」を入れても決して間違いではないかもしれませんが、①に「志」を入れることはできません。「夢」は自分を幸せにしたり、満足させたりするもの、「志」は自分以外のものや社会全般を幸せにしたり、満足させたりするものと捉えることができるのではないかと私は思います。

Society 5.0 時代をリーダーとして牽引していかなければならない小石川生には、本校での教育を通して将来に向けて必要とされる様々な力を身につけ、自分の夢を描くということに留まらず、小石川生らしく、社会に貢献できる志をしっかりと立ててくれることを期待したいと思います。



同窓会より「青空ジャンプ」楽譜贈呈

## 副校長挨拶

# 小石川創立 100 周年記念式典を挙行

副校長 久保 静生



俵一雄紫友同窓会会長がご逝去されましたことに哀悼の意を表します。俵会長からは小石川の歴史を深く教えていただくとともに、今後の小石川についてもご自身の研究、鋭い賢察に基づいた御意見など常に新しい風を吹き込んでいただきました。今も、本校の教育活動を見守っていただいていると思っています。心から深い哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈りいたします。

さて、平成 30 年 11 月 17 日、文京シビックホールにて、小石川創立 100 周年記念式典を行いました。式典では、中井敬三東京都教育委員会教育長、俵会長から祝辞をいただきました。俵会長からは「50 周年のとき、まさに自分は小石川生だった。それから 50 年経ったことを振り返ると、自分たちがこの 50 年間の日本を創ってきたのだと思う。だから、今、小石川生の皆さんがこれからの日本を担っていく大切な人材であることが分かる。同窓会は、100 周年を単に祝うのではなく、これからの 50 年先を担う皆さんをどう支援できるのかを考えていかなければならないという気

持ちを新たにしている。諸先輩方の築き上げた“知”もぜひ伝えていきたいし、寄付を募り学校教育に役立てたい」とメッセージがありました。講演では、御厨貴先生（東京大学）から「これからのポスト平成の時代、新しい政治を切り拓き担っていくのは、皆さんです」と語っていただきました。また、伊藤長七先生のお孫様の伊藤博子様からは、長七先生の教育への熱意と有言実行の精神などが伝わるエピソード、さらに、東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムのデザイナー野老朝雄様からは、記念品のコンセプト「つながる」について語っていただきました。そして、式典の最後は、小石川の新しい歌「青空ジャンプ」を全員で合唱し、感動的なフィナーレとなりました。

生徒は、改めて小石川生としての自覚と誇りをもって学校生活を送っています。これからも小石川の伝統を継承し「立志・開拓・創作」の教育理念のもと、本校の教育活動を一層推進して参ります。

(36P の写真をご参照下さい。)

## 副校長挨拶

# 小石川の伝統の継承と発展に期待

副校長 安藤 香織



紫友同窓会及び一般財団法人紫友会の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただきありがとうございます。私は本年度、小石川中等教育学校に着任いたしました。実は、平成 15 年 4 月に初任で本校に着任し、小石川高等学校の生徒とともに 4 年間を過ごしてまいりました。その当時の面影が今も残っていることに懐かしさを感じつつも、今現在、伊藤長七先生が掲げた「立志・開拓・創作」の校是の下、生徒が様々な活動に積極的に参加し、活躍の幅をさらに広げていることにとっても嬉しく、また、誇らしく思っております。これも、紫友同窓会の皆様のお力添えがあつてのことと感謝しております。

さて、これまで紫友同窓会には、スーパーサイエンスハイスクールの海外研修や、世界大会出場への支援、部活動への支援等、様々な支援をいただきました。そのおかげで、生徒が希望する体験活動や学習が充実してきております。また、一人一人の生徒の活躍と多く

の成果が、他の生徒にもよい刺激を与えております。今後も、生徒自身がやりたいことを見付け、挑戦し、追及していく姿勢がますます高まっていくように、学校の教育活動を充実させていきたいと考えております。

これからの時代、生徒に求められる力には、創造力や専門性の高さ、コミュニケーション能力があります。アンテナを高くして時代とともに変化していく社会に何が必要かを考え、自分で何かを見出していたり、専門性の高い人同士が自分の専門性を発揮して何かを作り上げていたり、あるいは様々な分野を取り入れてマネジメントしながら新たなものを生み出していたりする、そういった小石川生の姿を想像します。そのような活躍が期待できる、可能性を多く秘めた本校生徒のために、ますます充実した教育活動ができればと考えております。どうぞ、今後とも本校の教育活動にご協力をいただければと思います。

# PTA 会長挨拶

PTA 会長 水野 忠知



今年度、PTA 会長をさせていただきます水野忠知と申します。

まずは紫友同窓会におかれまして、昨年の 100 周年の式典と祝賀会等、ありがとうございます。非常に素晴らしい式典で、生徒たちにとっても良い思い出になったかと思えます。

梅原校長先生がおっしゃっていた、「今年を小石川元年とし、次の 100 年もどう伝統を引き継ぎつつ進化していくか」というご意志を、我々 PTA も意識して学校に協力させていただきます。そして、学校、同窓会、PTA と良き協力関係が継続できますように尽力いたします。

また、私自身、学校のすぐそばで生まれ育ちましたので、個人的には学校と地域をうまくつなげていけるような活動もしていきたいと考えております。娘が 6 年生ですので今年 1 年だけにはなりますが、できる限りのこと致しますので、お力添えをよろしく願います。



## 訃報

母校小石川を愛し、更なる発展を願って同窓会活動にご尽力された二人の先輩が、相次いでお亡くなりになりました。同窓生各位に紙面を借りてご報告するとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。  
紫友同窓会

前紫友同窓会会長  
俵 一雄 さん (O18E)



2019 年 1 月 9 日逝去

俵さんは、1966 年（昭和 41 年）3 月卒業の新制 18 期生です。2003 年の創立 85 周年記念パーティーから同窓会活動に参画されて以来、長らく理事、副会長を持ち前の情熱で務め、昨年は、紫友同窓会長兼百周年事業実行委員長として、病をおしてその遂行に文字通り心血を注がれました。

昨秋の記念総会・パーティーと学校記念式典におけるご挨拶は、小石川の伝統と未来を見据えて新しい同窓会を創るという力強い表明でした。そして、自らが牽引し、百周年の掉尾を飾るとした「伊藤長七研究フォーラム」の準備途上に、後事を託して旅立たれました。享年 71 歳。俵さんの足跡については、32 ページ以下の「追悼俵一雄さん」でご紹介しています。

元紫友同窓会副会長  
石田 雅男 さん (O2A)



2019 年 4 月 19 日逝去

石田さんは 1944 年（昭和 19 年）旧制第五中学校入学、戦中の勤労働員を経験され、戦後の学制改革を経て 50 年 3 月卒業の新制第 2 期生で、1990 年（平成 2 年）10 月から 1997 年（平成 9 年）6 月まで同窓会副会長としてご尽力されました。

お住まいが学校正門前にあり、母校の戦前から戦後に至る激動の時代をずっと身近から見届けてこられました。戦時中、父君とお二人で旧講堂前にあった「伊藤長七胸像」を金属供出の動きから守られた話は、今も語り継がれています。

また、戦後間もないころの澤登哲一校長や先生方と石田家の交流や、教師と生徒の垣根を越える数多のエピソードを 70 周年史「立志・開拓・創作」や同窓会報にご寄稿されています。晩年も折に触れ同窓会事務局に足を運ばれ、後輩たちに歴史の記録と資料を残すことの大切さを伝えていただきました。享年 87 歳。

# 新しい同窓会を創る

## 五中・小石川101年目のスタート

同窓会が総力を挙げて取り組む5年ごとの周年行事、その一つの区切りであった「創立百周年記念事業」が終了しました。本事業は、平成23年5月の検討チームの発足を皮切りに実行委員会を立ち上げ、2015年度評議委員会において事業及び予算の骨格が承認されました。4年にわたる長い道のりの中で、実行委員会には幅広い年代の同窓生が参画、協力し、また、目標を超える暖かい募金のご支援をいただきながら活動を展開しました。

これらの事業を進めていく中で、あらためて同窓会の理念と目的、現状の問題、将来の課題を整理し、共通の認識とする必要がありました。そこで、3名の委員により、同窓会運営の世代交代を見据え、従来の考えにとらわれずに議論する「次世代組織検討会」が発足しました。以下は、101年目のスタートに向けた提言です。

## 新しい同窓会を創るために 一次世代組織検討会の動き

次世代組織検討会 035D 河村 英敏・039J 久光 一誠・040G 中代 次郎

紫友同窓会は、五中・小石川創立百周年記念事業の目的の一つに、「これからの百年の人材育成」を掲げ、以下の諸活動を行っていきます。

### その1. 同窓生人財交流

従来のクラスや同期のつながりを超えて、多方面に活躍する同窓生の人財ネットワークを構築し、仕事、趣味、地域活動、健康など、様々な分野の人財交流を進めます。

### その2. 現役生教育支援

公立校である母校の教育・学習環境を向上、支援する様々な活動に取り組みます。  
(生徒の短期中期海外留学の支援、SSH事業や国際的全国規模でのコンクールなどへの参加支援、部活動への支援等)  
以上の活動を効果的に実施するために、現状の組織改編と規定改定の必要性が議論され、下記の諸点について検討してきました。

#### 1. 同窓会役員の公選制導入

(目的) 役員選出に全評議委員が直接かかわる事で、多額な募金を元に行う活動の透明性を確保し、理事会の健全性を担保する。

#### 2. 同窓会組織の改編

(目的) 同窓会活動に必要な組織の整理を行い、限られた人的資源の有効活用を図る。

#### 3. 同窓会規約等の改定

(目的) 同窓会活動や組織の見直しに伴い、現状規約を改定し整合性を持たせる。

では、何故これらの活動を行うのか。

次世代組織検討会は、紫友同窓会がこれからも持続可能な組織たるために、また、単なる名簿管理団体ではない組織としての存在意義を示すために何をすべきか、考えました。

同窓会は今まで、意欲のある一部の会員によるボランティアで回っていました。しかしながら、中高一貫6年制の移行に伴い、学年ごとの卒業生がかつての半分以下になっている現状で、今後も同様に、継続的な人材確保ができるかが大きな課題となっています。そこで、母校と現役生へ上記の支援を行うことで、紫友同窓会の存在を広く認知していただき、若手の同窓会員が本会活動に参加しやすい環境作りを行います。

更に今までは人材を、各学年・クラス横割りのつながりで確保してきましたが、今後は各クラブのOG・OB会組織による縦割りのつながりからの人材発掘も目指すこととしました。紫友同窓会のこれからの百年は、会員皆さま一人ひとりの力にかかっています。同窓会活動への積極的な参加をお願い致します。

## 同窓会規約の改定について

紫友同窓会理事 渡邊 和真 (064B)

### ◎改定の経緯と目的

同窓会規約は、同窓会が行う活動の目的や規範、根拠を示す言わば紫友同窓会における「憲法」です。1965年の制定から適宜、改定がありましたが、百周年事業から生まれた「新しい同窓会を創る」という目標に沿って、旧規約の抜本的な改定が必要となりました。

そこで昨年来、理事会において従前会長を中心に議論を重ね、9月に開催した臨時評議員会では評議委員の皆様から方向性を示しご意見をいただきました。それらを基に本年5月の評議委員会において規約改定の議案提出に至りました。

具体的には「次の百年を担う人材の育成」というコンセプトのもと、同窓会の理念、目的を明確化して、新たな組織体制を構築し、併せて時代の変化などにより実態と合わない部分についても全面的な見直しを行ったものです。

原案は一部規定の解釈に保留条件が付きましたが、会議において承認されました。以降は、新しい組織体制の下、運用されています。(規約の詳細については、P42 評議委員会報告及び同窓会 HP をご参照ください。)

### ◎規約および組織改正の要点

#### (1) 目的と活動

同窓会の目的を明確化し、会員相互の交流及び親睦に資する企画並びに助成（同窓生人財交流）と母校の教育活動の支援（現役生教育支援）を両輪とする活動を進めます。(第2条・第3条)

#### (2) 会員

会員の定義と資格の見直しを行い、各種条件や手続きを明文化しました。また、PTA 活動との連携が進む中、従来の正会員、客員(教職員)に加え、同窓会の目的・理念に賛同する保護者会の構成員等から理事会が承認した者を準会員として位置付けました。(第4条・第5条)

#### (3) 評議委員と議決

卒業後各クラスから選出される評議委員は、評議委員会内で各1票の議決権を有します。委員の固定化は特定個人への負荷集中となること、クラス内の多様な意見を吸収、反映すべきであること、中等教育学校になって1学年4クラスになったため委員の絶対数が減少することなどから、定員を各クラス3名まで拡大しました。(第12条・第27条)

#### (4) 役員

同窓会が開かれた組織として維持・運営されることを目的として、会長及び副会長は公選制とし、正会員の中から選挙により選出されることになりました。規約に基づき各種管理規程を制定するとともに、選挙管理委員会及び役員推薦委員会を設けています。(第15条)

また、役員任期については、1期2年とし(従前3年)、副会長及び監事の定員を5名以内としました。(第13条・第16条)

#### (5) 特別総会

同窓会における最高議決機関として評議委員会の上位に位置し、特に重要な事項を議決する会議である特別総会と開催条件を新たに定義しました。(第25条)

#### (6) 組織体制

会務の執行は、副会長・理事を各局の長とし、43ページの組織表に示す8局が担務します。局長会は各局間の情報共有と連携、理事会への報告、議案提案等を行います。(第31条～第33条)



臨時評議員会での質疑

### ◎担当役員の思い

ルールというものは作って終わりではなく作ってからがスタートであると考えています。各種規程の整備と並行しながら、継続的に見直しを行うことで、新しい令和の時代においても「立志・開拓・創作」の精神を紫友同窓会でも体現していきたいと考えています。

改定にあたっては、時代とともに変わりつつある会員の活動領域の広がりや各種情報の伝達・取り扱いについても意識し、なるべくしっかりとした規約になるよう努めたつもりであります。しかし、理事会での諸先輩との議論や評議委員の皆さんからいただいたご意見なしにはここまでたどり着くことはできませんでした。この場を借りて御礼申し上げるとともに、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。最後に、担当役員として、今回全部改定を行った規約が、次の百年を見据えた新たな紫友同窓会の基盤となることを心から願っております。

# 紫友同窓会の次の百年を目指し、 「紫友みらい基金」が創設されました！

紫友同窓会基金局長 高井 俊成 (017A)

## ◎募金活動について

創立百周年記念事業は、2015年度の評議委員会の審議を経て、当初募金目標2億円でスタートしました。その中の目玉として、百周年を機に次の百年に向けた人材教育の礎になる母校への教育支援を行うべく、「教育支援基金」創設を掲げ募金活動を行ってまいりました。しかし、2年ほど経過した時点では目標達成の見通しが立てられず、2017年度評議委員会で予算変更を提案し、百周年記念日以降分は長期予算として扱い、改めて検討することとなりました。この時点で皆様のご意見の中から合わせて、同窓生相互の交流を深め「新しい同窓会」を作るという未来志向的な事業が新たに開始されました。百周年記念事業は教育支援、交流活動の二つの柱を軸として募金活動も盛り上がり、皆様に賛同を頂いて何とか短期目標の1億円を達成致しました。

## ◎基金創設の経緯

その後、記念事業が一段落し、百周年をベースとする未来志向の活動が本格化されたことを機に、百周年募金の残余資金を原資として「基金」を創設し、新たな資金ベースを構築する方向を半年にわたり検討してきました。その中の議論で、百周年記念事業として開始されたプロジェクトの成功を支えるために、基金の目的、対象を拡大する必要があり、その流れの中で「紫友みらい基金」と広がりのある名称が決まりました。

そして、5月25日の評議委員会に趣旨説明と提案をしました。当日は、教育支援の趣旨には賛同するがもっと教育支援を前面に出すべきである、なぜ教育支援に限定しないのか等のご意見を頂きましたが、大方の賛同を頂き承認されました。従いまして、本基金は百周年事業を引き継ぎつつ、しかも資金基盤をそのまま引き継ぎますので、言わば百周年の最終記念事業として位置づけられものです。

## ●基金の目的

以上のような経緯から、「紫友みらい基金」の創設は、同窓会による百周年記念事業の理念を持続的、具体的に実現することを目的にしています。百周年を機にスタートした教育支援活動、交流室活動、小石川の杜活動が継続的に発展することを願い、これを資金面から支えていきます。特に教育支援活動については、母校の教育理念の実現へむけて、理数教育・国際人材養成を後押しし、みらいを担う人材の輩出を期待し、学校との連携によりきめの細かい支援を行うものです。

基金の創設により、従来からの年会費による定常的な資金ベースに加え、新たな収入ベース、同窓会の財務基盤が構築されることとなります。同窓会活動が次の百周年に向かって将来への広がりをもたらされるものと期待されます。

## ●基金の概要

基金は以下の概要でスタートしております。

- ・名称は、「紫友みらい基金」と称します
- ・百周年記念募金の残余資金（約42百万円）を原資とする法人格を持たない特別勘定として運営します
- ・金額目標は、長期予算の1億円（10年間を想定）をそのまま設定しています
- ・基金会計は同窓会の一般会計とは切り離し、基金としての年度会計を行います
- ・募金は常時寄付を受け付けていますが、年度ごとの募金PR活動を行います
- ・受入口として、一般口の外に寄付者のご趣旨に添うように特別口を設けてあります
  - 「教育支援口」 教育支援を目的とする受入口です
  - 「交流活動口」 交流室活動への支援を目的とする受入口です
  - 「環境企画口」 小石川の杜活動への支援を目的とする受入口です

「一般口」 特に指定のない受入口です

- ・基金の運用状況、運用成果については会員宛て随時報告します  
評議委員会、HP で報告するほか今後別途の報告も検討します
- ・累計 30 万円以上の寄付者は百周年募金とは別に名前を残し顕彰致します

●基金の運営

- ・基金の資金運営については、局別予算をベースに理事会で承認、管理を行います
  - － 予算は、教育支援、交流室活動、小石川の杜活動等の目的別に分けた予算を組み、特別口振り分けで不足する予算については一般口から転用する形で対応します
- ・特に、教育支援予算については、教育支援局が一般財団法人紫友会と連携した形で運営して参ります

●基金の募金活動

- ・募金は百周年記念募金とほぼ同様な「募金」方式で行います。
  - － HP 掲載、紫友同窓会報誌ほかで PR に努めます
  - － DM での直接のお願いを致します
  - － 募金担当は基金局です（日常的な問合せ窓口・事務窓口は事務局です）

◆「紫友みらい基金」へのご協力をお願い

基金は「新しい同窓会」活動の中核をなす 3 活動を資金面で支え同窓会活動の継続的な発展を目指すものです。皆様の継続的なご支援をお願い致します。

基金募金中です！ご協力を！

紫友同窓会の  
永続的な発展のために！  
みらい基金、募金中！  
百周年募金と同じやり方です！

税理士法人タックスソリューション

税理士 倉林俊男 015F

〒150-0011 渋谷区東 3-25-4-703

TEL 03-3444-7391 FAX 03-3444-8361

税金のこと  
お気軽に  
ご相談  
ください。

# 百周年記念事業の総括

## 1. 教育支援活動

紫友同窓会会長 戸叶 司武郎（故俵会長代理）

— 皆様からのご支援は、  
すでに後輩たちを大きく支えています。 —

立志・開拓・創作の校是を受け継ぐ小石川中等教育学校。2006年に中高一貫となってもアカデミックで自由な校風は引き継がれています。



### ●英国 Cardiff 大学 夏期短期留学支援（渡航費用の一部を支援）

昨夏は10名が、今夏は14名がカーディフ大学を訪問しSSH課題を同大学の教員に英語で発表・討論します。また科学系各領域のレクチャーや実験を通して先端研究にも触れることができます。この特別プログラムは英国ウェールズ政府に勤務する同窓生の協力で実現しました。



短期留学した10名から帰朝報告を受ける俵会長

### ●文・武・芸、多方面に活躍する小石川生！

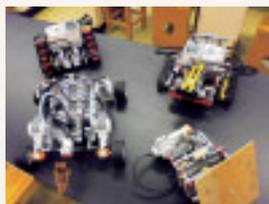
ロボカップ Jr.へは今年も5年生がシドニー世界大会へに出場します（渡航費用の一部を支援）。文科省SSH指定と共に東京都のGLOBAL10、理数研究校にも指定されている小石川。様々な分野での受賞件数が多すぎて書ききれません。ぜひ学校のHomepageをご覧ください。

### ●紫友同窓会と（一財）紫友会とでクラブ備品の支援を継続していきます

音楽系3クラブには累計で約1千万の楽器を提供しています。昨年は野球防護ネット、センサー機能付きロボットや扇風機を提供。今年も楽器や科学系・運動系備品を提供します。今後は部活後援局と連携して現役の要望に応じていきます。

### 在校生からの御礼の言葉：代表して2クラブから ※文章は要約です

私たち（現3年生）は世界大会3年連続出場の先輩たちに追いつけ追い越せと、レゴをベースに様々なセンサーや機構を追加したレスキューロボットを作っています。今回紫友同窓会から寄贈して頂いたセンサーなどには高価なものもありロボットの性能向上にとってもプラスになっています。ありがとうございました。



物理研究会 ロボット班一同

私達は、今まで風の通りが無い剣道場で防具を着けて稽古し、夏休みには具合が悪くなってしまう部員もいました。しかし、先輩方からの扇風機のおかげで暑さをしのいで稽古に取り組むことができるようになりました。こうした環境が当たり前だと思わずに、部員一同感謝の気持ちを持って稽古に励んでいきたいと思ひます。



小石川剣道部 2018年度部長 大江拓斗

## 2. 紫友交流室の活動

会長（交流室長兼務） 戸叶 司武郎

### — 紫友スタジオご利用ありがとうございます —



紫友スタジオの会議テーブル:詰めれば15人座れます



交流室企画第3弾は O23A 三浦南海子さんのセミナー



O22 リトルストーンズ「飲みながらライブ」演奏中

交流室は今年も様々な実践と模索を続けていきます。就活室や終活室、紫友サテライト、国際室などは実現に向けて準備中です。楽しみながら運営に加わって頂けるスタッフを募集中です。実践しても参加しても楽しい企画をどんどん作っていきましょう。まずはやってみる、ダメならやめる、その実証実験の場として昨春開設した紫友スタジオは皆様からご好評を戴いています。掃除三昧の日々が済んだ昨年6月から今年3月末までで約110回の利用がありました。セミナー、飲み会、バンド練習、演劇稽古など同窓生の多種多様な活動実態がわかりました。皆様から頂いた冷蔵庫、テーブル、中型テレビ、DVDプレーヤー、電子ピアノ（利用頻度が高い為、新品に買替えました）、PAシステム、MTR、A3プリンタ、マイクとスタンド…等々全て大活躍しています。あらためて御礼申し上げます。まだ足りないモノ、活動状況は交流室 facebook 等の SNS で随時発信していきます。

<https://www.facebook.com/shiyu.kouryusitu/>



O6B クラス会(右奥は故会長長の従兄弟の俵啓介さん)

### ●スタジオ利用などに関するお問い合わせ先

このページに掲載されている事項に関するお問い合わせは、交流室アドレスに mail でお問い合わせ下さい。

[k100kouryusitu@gmail.com](mailto:k100kouryusitu@gmail.com)

mail の件名には「隊員募集について」「スタジオ利用問合せ」などお問い合わせの主旨がわかる文言とともに卒業年次・お名前を必ずご記載下さい。スタジオの利用方法、空き状況確認方法などについては mail 受信から数日以内に詳細説明文を返信致します。

紫友スタジオは経費削減のため常駐者はいません。効率的な運用にご協力をお願い致します。

#### おもてなし隊員募集（ボランティアメンバー）

交流したい人を「おもてなし、したいんだ」=おもてなし隊員=を募集します。紫友スタジオの使い方、美味しい料理の取り寄せ方等々、クラス会を盛り上げるお手伝いをして頂けませんか。雇われママ(またはマスター)に興味のあるかた、Hospitality にあふれるかたのご参加をお待ちしています。

#### アーカバイト募集（アルバイト代がでます）

卒業アルバムなど、五中・小石川に関する資料のデジタルアーカイブ作業アルバイト=アーカバイト=を募集します。一般的な時給と、交通費の一部をご用意します。週1日程度でできるかたを複数名募集します。小石川の歴史に興味があつて、パソコンとA3プリンタ複合機の取扱ができる人を探しています。

### 3. 小石川の杜プロジェクト

環境企画局長 柴田 知彦 (017D)

#### ●プロジェクトの趣旨と経緯

「小石川の杜プロジェクト」は創立百周年事業の一つとして、次の百年に向けて母校に、また都会の中にみどりの環境を創出する継続的な取り組みです。10年20年の長いスパンを見据えた活動の中で、生徒たちは自ら植えた樹木の生長とともに緑の多様な価値（自然環境・景観・緑陰・癒しなど）についても気づき学んでいきます。この目標に向かって、同窓会と学校・生徒が協働して校内での植栽と関連活動が始まりました。

環境企画委員会では2016年から生徒会（中央委員会・美化委員会）、学校先生方との合同委員会で話し合いを重ね、2017年5月に第1回試験植樹を実施しました。（詳細は、会報第45号に記載）

その後、この活動は生徒総会の承認を受けて2年生のホームルーム委員が中心となって取り組むことが決まり、昨年度11月と本年度5月の2回の植樹を実施しました。（配置図をご参照ください）



配置図

#### ●第2回植樹祭（百周年記念植樹祭） 2018.11.28

不忍通り沿いの校内通学路脇に、要望のあった春から夏に花が咲く樹木として、コブシ、ヤマザクラ、ハナミズキなど9種11本を植栽しました。当日は、SSH発表会終了後の限られた時間帯で、最後は投光器の下での作業となりましたが、参加した生徒とPTA有志のご協力もあって無事に記念の植樹を行いました。



事前準備と打合せ

#### ●第3回植樹祭 2019.5.11

同窓会と新2年生の4クラス、中央委員が参加して、生徒の皆さんが選んだ実のなる果樹として、オリーブ、夏ミカン、ビワなど7種7本を校内東側のグリーンコートとの境界沿いに植樹しました。



生徒による植樹

#### ●同窓生の皆様へ

同窓会では今後も、生徒たちと協働する植樹活動を継続的に実施する予定です。また、新たに創設された「紫友みらい基金」は、本プロジェクトあるいは環境企画局指定の寄付ができる仕組みを取り入れています。

私たちの子供や孫の世代、すなわち次の100年後となる22世紀に向けて、個性と創造力のある小石川にふさわしい、木々や草花の美しさに富み、かつ生物多様性を兼ね備えたキャンパス「小石川の杜」創りにご協力、ご支援をお願いします。

## 4. 100周年祝賀パーティー開催！

### —「百年に一度」に 立ち会える奇跡—

東京都立小石川中等教育学校の創立100周年を祝して、紫友同窓会では、五中小石川創立100周年祝賀パーティーを2018年10月28日（日）12:30～15:30、京王プラザホテル（新宿）のコンコードボールルームにて、開催しました。当日は、秋の晴天にも恵まれ、事前に申し込みを済まされた同窓生や元教員の方々、そして、来賓としてお越しいただいた歴代の校長先生や中等教育学校となってからのPTA会長を務められた方々、100周年の記念ロゴをデザインいただいた福島様をお迎えして、約800名に届く多くの参加者のもと、盛大に開催されました。

100周年行事委員会 委員長 尾名高勝 (031H)  
企画総括 富田晴彦 (032I)  
事務局 山田知行 (033D)



パーティー開宴

対比しながら、その違いに驚きながらも、脈々と流れる小石川の伝統が健在であることも認識しました。

パーティーの歓談時間中には、久しぶりに集まった同期の友人やなつかしい先生と共に、記念写真を撮ったり、話に華が咲いたりする様子が会場のあちこちで起こり、3時間のイベントもあっという間に時計が進んだようです。そして、最後には、約800名全員で、校歌を大合唱。母校100年の長い歴史の中の記念すべき1日を胸に刻みつつ、散会となりました。

運営を担当した100周年行事委員会のメンバーとして、また、一同窓生として、あらためて振り返っても、最高の100周年記念パーティーだったと感じています。我々の母校は100周年を迎えましたが、それは、まだ、「一つの区切り」に過ぎないかもしれません。今後も小石川中等教育学校は、縁あって同じ学校に集う生徒たちとともに、永くその歴史を刻んでいくことでしょう。母校の益々の発展と、紫友同窓会の皆さま方のご多幸・ご健勝を祈念し、創立100周年パーティーのご報告とさせていただきます。

※パーティーの写真は、小石川アーカイブス (<http://koishikawa.wiki>) に掲載されていますので、あわせてご覧ください。



総会で挨拶をする僕同窓会長

まず、5年ごとに開催される総会として、同窓会長（祝賀パーティー開催当時）の俵さん（018E）から挨拶、そして、祝賀パーティーへと進みました。司会は、NHKアナウンサー（祝賀パーティー開催当時）の雨宮萌果さん（057C）です。

パーティーの中では、100年の五中小石川の歴史を貴重な写真とともに振り返りました。また、文化、産業、政治、学会など各界で活躍する同窓生から寄せられた、五中小石川への思いを込めたビデオメッセージを披露。さらに、現在の学校を紹介するビデオを鑑賞後には、在校生（4～6年生）409名を対象に行った、学校生活や意識に関する調査結果を、40年前の高校生と



エレクトーン菊地友夏さん (058C) による演奏



The Little Stones Orchestra OB/OG Band の演奏



018 期の皆様



橋本弘子先生 (数学科) を慕って記念撮影



010 期の皆様



021 期の皆様



034 期の皆様



会場入り口付近では、百年史の見本を展示



全員で校歌斉唱



040 期の皆様

(パーティーの写真は「小石川アーカイブ」でご覧になれます)

## 5.百年史制作刊行（五中・小石川百年史編纂委員会、刊行会議）

百年史編纂委員長 市原 昭 (025H)

### ●百年史概要

同窓会では創立百周年を記念して五中・小石川百年史を制作しています。ご寄付 20,000 円以上お寄せいただいた方に、順次送付することをお知らせしています。書籍は、「百年の系譜」、「みんなの百年」の2部で構成されています。また、合わせて小石川中等教育学校制作の正史1部「小石川創立100周年記念誌」も該当の方に、送付します。内容は、以下の通りです。

### ●「百年の系譜」 A4判カラー本文（通史編+テーマ編+資料編）全224頁

本書は、母校が歩んだ百年の歴史を全9章の編年記述した《通史編》、戦前の夜学校開設に始まる定時制の歴史、財団紫友会と紫友同窓会、PTAの歴史、以上3篇の《テーマ編》、歴代校長と学校教職員一覧及び部活動の歴史からなる《資料編》の構成となっています。

本書には、本文の執筆者、編集者をはじめ、地道な各資料の収集と整理に多くの同窓生の力が結集されています。また、学校とPTA関係者からも多大なご支援と協力がありました。皆様方の思いとご寄付を形として仕上げることは、けっして平坦な道ではありませんでしたが、是非、その成果をお手にとってご覧いただきたいと思っています。

### ●「みんなの百年」

卒業年次ごとに在学時の思い出や出来事、社会の動きなど多感な思いを各学年が1ページを作成していわば百年の年代記を綴ることを目標に、同窓生が百年史に参加する企画です。原稿や資料をいただいた方には申し訳ありませんが、編集制作作業が遅れ、お手元への送付は本年8月以降を予定しています。

### ●小石川創立100周年記念誌（学校正史）

小石川中等教育学校がまとめた学校正史は、2019年4月に該当する会員の方に送付しています。

### ●刊行会議の活動

二部構成となった全体の進行を促進し、また筆者とは「別の視点で読む」事を主な目的として2017年9月「百年史刊行会議」が発足しました。その後、会議の役割をメンバーで確認し、企画書の再確認、「別の視点で読む」など各種活動を行いました。以前の会報でもお伝えした「母校への思いの共有化、共感」「資料データの収集、整理」などの目的に対し一定の成果がありました。

### ●百年史贈呈、寄付の継続のお願い

百年史は、百周年記念事業に当たり累計20,000円以上のご寄付を頂いた同窓生の皆様に贈呈しております。今後も寄付金は、新たな「紫友みらい基金」の創設によって教育支援等に引き続き活用されます。是非とも、多くの同窓生の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



百年の系譜



学校正史

## 6. デジタルアーカイブ

資料局長（暫定） 久光 一誠（039J）

あの日、あのとき、なにがあったっけ？  
 そうそう、そういえば紫友会館の1階って食堂だったよね。  
 講堂の床って斜めじゃなかった？ 平らだった？  
 校地西側に古いレンガ塀があったの覚えてる？



五中・小石川百年の歴史を劣化しないデジタルデータとして記録し、遠方の同窓であってもいつでも五中・小石川の歴史および自分の高校史を振り返ることができる。それが『五中・小石川デジタルアーカイブ』です。画面をひらけば170項目にわたる見出し記事が並び、記事を開けば1200枚もの精細な写真とともに歴史が画面に表示されます。

<http://koishikawa.wiki/>  
 (コイシカワ ドット ダブル アイ ケー アイ)

世界最大のオンライン百科事典「ウィキペディア (wikipedia)」と同じ仕組みを使って、なつかしいあの頃や、生まれてもいないあの頃の五中・小石川、そして今の小石川など、すべてを知ることができるデジタル百科事典です。

世界中どこにいても世界中の誰でも見ることができます。もちろんあなたのパソコンやスマホでも。公開以来すでに83万回もの閲覧数があります。

### 情報・写真をお寄せください

五中・小石川デジタルアーカイブを見て、気づいたことやお持ちの情報があつたらぜひ同窓会事務局へお寄せください。多くの情報・写真を募集しています。

このプロジェクトには完成がありません。情報や写真が集まる限りずっと更新が続けられます。

### 記事作成を手伝ってください

記事作成のお手伝いいただける方を随時募集しております。ご自宅のパソコンで編集するので遠方の方でもまったく問題ありません。ページ数やメ切などの物理的・時間的制約のないデジタルアーカイブに五中・小石川の過去から未来までを好きなだけ入力してください。

ちょっと手伝ってみようかなと思われた方は同窓会事務局までご連絡ください。

**KIMOT SEIBID**

〓 仕事仲間と言葉を交わして、気持ち良く働こう! 〓

**Good Job Card**

伝えることをトレーニングするコミュニケーションツール

Good Job Card  
専用ページは  
こちらから

自分の思いを伝え合える職場へ

社会的課題を解決する印刷会社 ———

株式会社 木元省美堂 <http://www.kimoto-sbd.co.jp/> 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目 8-15-27 / TEL048-421-8571

## 7. 募金活動の報告

基金局長 高井 俊成 (017A)

### 募金目標 1 億円達成！ 皆様のご協力に心より感謝し、厚くお礼申し上げます！

#### ●記念日の直前に募金目標を達成しました！

募金実績は、10月28日の百周年記念パーティーの前日には100,067千円になり1億円の募金目標をクリアしました。そして最終実績は、金額ベースで101,351,677円（2019年3月末）に達し、協力会員数は3,557名となりました。

多くの皆様のご協力の賜物と心より感謝、厚くお礼を申し上げます。途中段階で見通しが立てられず、評議委員会でのお願い、同窓会報誌特別号での働きかけ、そして皆様方への直接の協力をお願いなど何度かピンチの悲鳴を上げてまいりました。そのような厳しい道でしたが、皆様方の母校思いの熱い気持ちに支えて頂いた結果、お陰様で何とかゴールにたどり着けたものと思っております。中には進捗の状況にご心配を頂き、数回にわたりご協力頂きました皆様も多数おられました。心より感謝申し上げます。

具体的活動として、「記念日まで1年」キャンペーンと名を打ち以下のご協力依頼活動を実施しました。

- 2018年 3月 紫友同窓会報誌百周年特別号でキャンペーン
- 2018年 5月 平成30年度評議委員会でのお願い
- 2018年 5月 大口期待特別キャンペーン
- 2018年 8月 紫友同窓会報誌第46号でのお願い
- 2018年 8月 有力OBへの面談依頼キャンペーン
- 2018年10月 「あと1万」の寄付のお願いキャンペーン

百周年記念事業の成功の鍵は募金目標の達成にあり、との思いで募金活動に取り組んでまいりました募金委員会と致しましては、ヒヤヒヤものでありましたが百周年記念パーティーの当日の盛り上がりを目のあたりにしてホッと胸をなでおろすことが出来た次第であります。

#### ●募金を頂いた皆様のご協力の最終実績の内訳は以下の通りとなっております。

(2019.3末実績。単位：千円、名、%)

	協力者数	構成比	協力金額	構成比
総計	3,557	100	101,352	100
30万円以上	52	1.5	23,580	23.3
10万円以上	155	4.4	19,050	18.8
5万円以上	217	6.1	12,520	12.4
2万円以上	1,164	32.7	28,320	27.9
2万円未満	1,969	55.3	17,880	17.6

また、時点別のご協力の推移は以下の通りで、記念日までの1年間のご協力が顕著となっております。

(単位：千円、名)

	2018.10	2018.9	2018.8	2018.6	2017.11	2017.6	2016.5
募金金額	100,067	95,001	89,330	74,736	53,800	37,185	22,360
うち大口	42,450	40,360	37,910	30,627	26,960	13,650	8,446
協力者数	3,515	3,482	3,412	3,041	2,691	1,878	1,269
30万円以上	52	49	45	30	14	12	9
10万円以上	154	149	142	123	66	47	21
5万円以上	206	176	155	109	77	56	33
2万円以上	1,132	1,031	914	752	562	296	78
2万円未満	1,971	2,077	2,156	2,027	1,972	1,467	1,128

(なお大口とは10万円以上の寄付者を言います)

寄付者一覧

百周年寄付につきましては、平成31年3月末で一旦募集を締め切らせていただきました。

以下の一覧開示は、平成31年3月末までの個人別累計寄付金額になります。

同窓会では次の百年を目指し、百周年寄付の残余資金(約42百万)をベースに、百周年記念事業を引き継ぐ形で「紫友みらい基金」を創設致しました。

当面の募金額目標としては、10年間で1億円を掲げております。

今後は新たに「紫友みらい基金」へのご寄付を受付けていきますので、引き続き皆様のご協力を宜しく願います(詳細はホームページをご覧ください)。

▷ 100万円以上

Table with columns for donation amount (卒クラス), name (氏名), and recipient details. Includes sub-sections for 30万円以上 100万円未満, 10万円以上 30万円未満, and 5万円以上 10万円未満.

▷ 2万円以上 5万円未満

▷ 10万円以上 30万円未満

▷ 5万円以上 10万円未満

百周年記念事業の総括

Table with 10 columns: 卒クラス, 氏名, 卒クラス, 氏名. Lists names and graduation classes for various individuals.

# 百周年記念事業の総括

卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名
032F	広瀬 淳	038D	齋田 辰洋	01D	鶴田 寛久	06B	坂井 旺一	08G	堀越 雅郎	011B	児玉 匡史	013H	宇野 浩江		
032F	三谷 環	038F	山地 康志	01D	中山 昇	06B	渡辺 幸男	08G	齋藤 俊一	011B	齋藤 俊一	013H	入谷 幸江		
032F	田川 悦子	039B	鎌 健一	01D	服部 昭夫	06C	宮永 喜美子	08G	山寺 徳明	011B	志村 良之	013H	安達 昭子		
032F	矢島 孝人	039B	渡辺 隆	01D	山内 惟光	06C	米澤 允克	08G	吉村 真徳	011B	依 悠二	013H	中島 利信		
032G	佐々木 晋	039C	山本 浩久	02A	伊藤 憲彦	06D	伊藤 浩一	08H	磯村 浩隆	011B	永井 芳利	013H	中野 幸至		
032G	津田 裕之	039D	後藤 薫	02A	佐藤 純一	06D	上村 忠	08H	土田 旭	011B	中沢 辰男	014A	桑澤 敬典		
032G	甲野 直夏	039F	秋野 薫	02A	関 顕介	06D	関 顕介	08H	布施 功男	011B	野中 泰延	014A	斎藤 禎		
032G	倉持 靖子	039H	瀧川 麻美子	02A	山田 康弘	06D	速水 明彦	09A	加納 勲	011C	北井 豊雄	014A	坂根 美枝子		
032H	染次 治仁	039I	梅野 なおみ	02B	久保田 東志政	06D	加藤 澄子	09A	柿崎 達	011C	子安 龍太郎	014A	嶋根 英昭		
032H	二階堂 恵理	039J	今中 康貴	02B	小林 一郎	06D	吉田 智道	09A	近藤 之	011C	中地 洸	014A	藤本 さと子		
032I	岡 孝夫	040A	阿部 渉	02C	黒田 達夫	06E	尾崎 知子	09A	澤田 皓史	011C	山岸 巖	014A	塚田 暲		
032I	安永 理佳	040A	益川 知子	02D	小林 二郎	06E	岸野 秀美	09A	塩川 良平	011D	塩川 良平	014A	秋屋 邦彦		
032I	小川 洋子	040A	中島 隆	02D	田村 修男	06E	河内 隆樹	09A	神藤 隆良	011D	栗田 巨	014A	原口 洋司		
032I	里見 和代	040C	佐々木 匡隆	02D	林 岩男	06E	小川 隆子	09A	平井 正子	011D	小室 澄	014A	増田 裕一		
032I	杉村 正司	040C	松井 由紀子	02E	古川 敬	06E	星野 彰男	09A	由井 健	011D	佐藤 謙文	014B	阿部 宏一		
032I	宮田 昭宏	040E	尾上 純	02F	神崎 彰	06E	松本 義男	09A	菊地 順子	011D	匿名希望	014B	伊藤 明子		
032I	坂本 春代子	040E	田中美幸	02F	京野 栄一	06F	加藤 喜市	09B	塚原 セツ子	011E	内山 悠	014B	佐藤 敏吾		
033A	加藤 公一	040F	下田 佳麻理	02F	黒川 大輔	06F	菅野 幸夫	09B	永井 洋平	011E	奥山 泰弘	014B	片桐 順平		
033A	野瀬 満	040F	近藤 太郎	02F	長崎 史朗	06F	増井 良司	09C	伊東 順一	011E	厚東 佐知子	014B	斎藤 隆雄		
033A	小林 栄一	040G	田村 淳	02	林 信之	06F	石田 睦子	09C	梅地 武昌	011E	原田 明子	014B	菅生 海也		
033A	界 陸朗	040H	三宅 真一	03A	藤村 謙弥	06G	青木 恒子	09C	佐藤 幸雄	011E	原田 良治	014B	溝口 邦雄		
033A	田中 香	040I	樋口 直美	03A	園田 一友	06G	小林 郁英	09C	奥谷 浩一	011E	奥谷 浩一	014C	佐藤 敏吾		
033B	竹内 みどり	041A	荒俣 順子	03A	篠 弘	06G	佐野 弘隆	09C	脇山 康男	011E	藤田 勝夫	014C	鈴木 彰		
033B	大橋 一聡	041A	坂本 昌彦	03B	鈴木 久雄	06G	定川 トコ子	09D	大村 庄司	011E	杉尾 公弘	014C	戸部 勝男		
033C	高瀬 利広	041B	佐藤 健次	03B	桑谷 彰	06H	磯部 英一	09D	神尾 和夫	011F	松永 貴代子	014D	佐藤 邦器		
033C	廣川 潔	041C	中島 康	03B	山室 弘弘	06H	榎村 収二	09D	篠原 憲二	011F	高橋 千七	014D	原 聖一		
033D	有利 利信	041C	羽賀 克教	03C	小松原 道彦	06H	横堀 富佐子	09D	津田 信	011F	野上 浩	014E	大塚 善雄		
033D	遠坂 宏	041C	渡辺 遼子	03C	斎藤 亨	07A	尾崎 遼子	09D	松浦 國幹	011G	大野 寛	014E	小柳 理		
033D	関根 義之	041D	奥石 和男	03F	木下 利夫	07A	小室 富美子	09E	匿名希望	011G	匿名希望	014E	中野 護		
033D	矢島 秀一	041D	高橋 勇策	03F	近藤 嘉明	07A	金子 純一	09E	高橋 浩	011H	大門 勝	014E	森 健一		
033D	山田 知行	041D	竹村 考太	03F	清水 洋三	07A	新庄 正	09E	雄井 達彌	011H	寺島 勝彦	014E	堀内 順子		
033E	有木 光子	041E	木口 ゆかり	03F	宮川 浩一	07A	徳久 英雄	09G	名和 鞠子	011H	並木 繁次	014F	堀内 元彦		
033E	岡本 昌之	041G	小川 正樹	03F	藤井 昭	07A	中川 登	09G	細田 和成	011H	八田 洋	014F	野本 敏治		
033E	徳仲 裕治	041G	吉瀬 千春	03G	吉瀬 千春	07A	南都 敏明	09G	本多 すみ子	011H	山田 哲夫	014F	真山 勇一		
033E	山下 茂	041H	大北 直子	03G	古庄 由昭	07A	林 暉子	09H	大竹 実	012A	大貫 紀子	014F	関 敦子		
033F	斎藤 勇之助	041H	福永 翠仁	03G	佐々木 謙	07A	松岡 徹	09H	藤田 知道	012A	鈴木 博	014G	大野 恵弘		
033G	若本 潔明	041I	松川 多恵子	03G	高橋 善美	07B	小林 庸治	09H	宇野 好子	012A	小川 輝男	014G	門井 俊機		
033H	桐谷 秀紀	042A	三枝 孝充	03G	堀尾 良之	07B	丸橋 光代	010A	久保田 美津子	012A	飛永 洋子	014G	島川 勝之		
033H	小林 英利	042A	鈴木 幸太郎	04A	池田 義治	07B	宮村 聖一郎	010A	伊藤 武郎	012A	村山 迪	014G	二葉 勝子		
033H	安野 真生子	042B	中村 太郎	04A	斎藤 収弘	07C	金子 正男	010A	木村 浩	012B	広瀬 洋	014H	木原 春夫		
033H	安田 祐二	042E	坂川 友子	04A	大里 幸久	07C	佐藤 敏子	010A	北川 信隆	012B	坂庭 靖子	014H	嶋尾 節夫		
033I	渡部 伸一	042J	武井 淳一	04A	武 弘司	07C	本多 高雄	010A	小暮 惠也	012B	林 達也	014H	吉田 豊		
034A	高橋 俊雅	042J	水野 雅之	04A	山口 正光	07D	大井 哲夫	010A	河野 尚孝	012B	本宮 武司	015A	久岡 尚子		
034B	疋田 恵美	043A	匿名希望	04B	山 唯夫	07D	大島 守	010A	佐藤 隆司	012B	降旗 千恵	015A	阪田 悦昭		
034B	細村 明弘	043C	田嶋 朝子	04B	高橋 秀和	07D	豊島 道子	010A	田嶋 克子	012C	菅原 文子	015A	富岡 康二		
034D	高橋 英明	043E	織田 なおみ	04B	高橋 康之	07D	香西 豊	010A	高梨 邦彦	012C	石橋 耀	015A	一條 真紀子		
034E	大場 賢一	043G	河合 潤也	04B	横田 隆	07D	堀越 忠義	010A	高部 訓武	012C	福田 隆	015A	岸 靖子		
034E	佐藤 理恵	043G	川島 直子	04C	内澤 廉	07E	三浦 邦夫	010A	土田 一宏	012C	小林 詔三	015A	依田 弘長		
034F	細井 充	043G	匿名希望	04C	匿名希望	07E	橋 敦子	010A	匿名希望	012C	島崎 芳昭	015B	中島 翠		
034G	岡本 正有	043H	匿名希望	04D	菊地 拓	07E	金子 文子	010A	広西 英紀	012C	戸嶋 昭夫	015B	乾 俊一		
034H	匿名希望	043H	堀水 真一	04D	斎藤 正雄	07E	金子 順子	010A	青山 輝子	012C	永野 正久	015B	中島 智恵		
034H	匿名希望	043I	野澤 俊夫	04D	中條 嗣明	07F	柴崎 裕子	010A	古屋 吉晴	012C	古屋 茂樹	015B	土谷 保雄		
035A	斎藤 弘和	044C	持橋 大地	04D	本田 朋亮	07F	奥野 浩吾	010B	大垣 嘉春	012C	桑原 浩一	015B	二宮 洋		
035A	森上 誠	044D	和泉 徹彦	04E	本田 慶一	07F	龍宝 尚子	010B	岡本 賢	012C	前島 浩一	015B	橋本 雄之		
035A	矢代 彰紀	044E	山口 宇雅	04E	岡本 光夫	07F	若林 良江	010B	相田 百世	012C	横井 俊夫	015C	井出 大史		
035B	小番 元	044I	阿部 智哉	04E	剣持 寛人	07G	鴨崎 洋子	010B	白川 弥	012D	川島 弘明	015C	武田 隆夫		
035B	長山 恵美子	045A	井上 奏	04F	小内 孝子	07G	足立 田鶴子	010B	栗原 克司	012D	栗原 克司	015C	奈良 日出男		
035B	岩瀬 聖子	045B	森本 恵子	04F	大武 達	07G	高部 素行	010B	守本 正之	012D	高山 稔	015C	室井 貞行		
035C	橋 朋美	045B	川村 真人	04F	石原 心じ子	07G	丸橋 明夫	010C	赤坂 雄雄	012E	浅野 昌男	015D	武田 行雄		
035C	千葉 元	045B	藤原 研一	04F	藤原 正之	07G	渡部 充	010C	西井 佳代子	012E	井戸 裕光	015E	秋元 正紀		
035C	中明 智恵子	045E	今村 有一	04F	福島 勇	07H	石井 清	010C	大津 清二	012E	落合 克朗	015E	小川 律子		
035E	伊佐岡 和郎	045H	匿名希望	04F	山崎 広司	07H	福岡 邦雄	010C	岸本 龍子	012E	行田 明夫	015E	金山 滋		
035E	伊藤 紀幸	046F	伊藤 孝充	04G	井上 肇	07H	大塚 正彦	010C	稲垣 照美	012F	斎藤 博明	015E	小林 光子		
035E	水塚 博行	047A	北嶋 裕子	04G	森島 清忠	07H	新井田 幸秀	010C	清水 友	012G	石橋 健二	015E	上野 真枝子		
035F	藤沢 伸	047A	瀧留 久彦	04H	浦辺 信義	08A	伊地知 正康	010C	佐藤 秀太	012G	大須 基正	015F	阿久津 達		
035F	平松 伸仁	047D	河村 慶	04H	瀬古 雅弘	08A	池野 真	010C	中台 宏太	012G	河津 知成	015F	内田 惟久		
035F	松本 武雄	047D	匿名希望	05A	中村 よし子	08A	佐藤 与一	010C	松原 いく子	012G	松村 智司	015F	小内 文彦		
035G	伊藤 政彦	047E	阿部 弥生	05A	田島 伸夫	08B	北原 利雄	010C	山田 孝一	012H	小笠原 正史	015F	大野 美佐子		
035G	駒田 勇人	048B	内室 麻由	05A	山本 正春	08B	佐藤 隆	010C	山崎 昭	012H	竹内 徳子	015F	高橋 健男		
035G	境入 昭夫	048B	飯田 深雪	05B	宇田川 治宣	08B	西田 治	010D	梅澤 一介	013A	伊藤 敬	015F	深井 亮洋		
035G	西島 正美	048B	中川 須恵	05B	岩間 久美子	08B	早瀬 鏡一	010D	大橋 唯男	013A	宇野 正	015G	栗林 幸雄		
035G	玉木 直子	048F	佐々木 明日美	05B	郡司 迪哲	08C	佐藤 恒二	010D	北川 幸子	013A	久住 存	015G	山崎 愛子		
035G	中村 祥子	048H	北村 桃子	05B	小川 和男	08C	四海 潔	010D	高瀬 靖広	013A	白砂 文子	015G	齋藤 雅弘		
035G	山口 英也	049G	木曾 慎二	05B	吉江 誠	08C	土谷 祐成	010D	高橋 幸夫	013A	前原 忠行	015G	田中 賢二		
035H	加賀屋 慶之	049H	匿名希望	05C	島 可余子	08D	赤木 様	010E	小田 格	013B	池田 征夫	015G	難波 英明		
035H	攝持 卓	051F	小川 佳史	05D	春宮 秀行	08D	新藤 心ひ	010E	藤元 君江	013B	石川 和子	015G	小川 律子		
036B	青木 優	052A													

百周年記念事業の総括

Table with 5 columns of names and IDs (e.g., 卒クラス, 氏名, 016F, 小林 淑恵). The table lists names and their corresponding IDs in a grid format.

# 百周年記念事業の総括

卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名	卒クラス	氏名
042E	乙部 瑞恵	旧教職員	海東 達也	05B	井上 健	010H	小島 紀雄	017H	青木 昭	023G	高橋 萬寿	033A	大野 富美男	055C	南木 元
042E	林 恭子	旧教職員	木下 武雄	05C	肥後 妙子	011A	細野 隆次	017H	原野 由美子	023H	味岡 浩二	033A	若上 加代子	055D	仁木 未佳
042F	関根 明子	旧教職員	鈴木 貞雄	05C	丸山 雅道	011A	山本 滋世	018A	野口 敏夫	023H	小池 美峰子	033A	鈴木 千穂	055E	齋藤 桃子
042F	原 久留美	旧教職員	鈴木 宏	05D	田中 伸生	011B	長尾 勝利	018C	水落 健治	023H	植原 雅之	033E	荒川 和久	055E	鈴木 紀子
042G	東 恵美	旧教職員	田辺 仁士	05E	伊藤 純子	011C	川村 忠夫	018D	伊藤 甫	023I	鹿野 律子	033E	井上 晴美	056B	西尾 慶一
042G	鈴木 雅子	旧教職員	中山 清	05E	布施 恵一	011D	藍原 洋一	018D	池田 泰彦	023I	山本 裕実	033F	内山 徹	056C	井出 光道
042G	匿名希望	旧教職員	仲瀬 律久	05E	細谷 義秋	011D	中田 功	018D	松倉 久	024A	匿名希望	033F	横田 昌之	056G	久野 早苗
042H	大高 華子	旧教職員	匿名希望	05F	石井 哲	011E	斎藤 安之輔	018E	池田 晃一	024B	加藤 清彦	033G	金澤 祥浩	056G	小嶋山 まゆみ
042J	山下 順二	旧教職員	峯岸 誠	05F	大橋 正子	011F	松澤 百合子	018E	磯野 元宏	024B	橋本 英彦	033H	天野 正子	058F	星野 和也
043C	山口 貴之	旧教職員	安川 伸之	05F	松本 昌三	011F	池田 澄	018E	大山 欣昭	024C	十文字 雅志	033I	佐藤 陽子	060B	森田 龍章
043E	寺門 文	旧教職員	山口 正光	05F	山崎 昭	011F	塩澤 佳洋子	018F	市川 正明	024C	石川 玲子	034B	飯島 麻美	060E	井上 貞紀
043H	小林 麻衣子	旧教職員	伊藤 裕美子	05G	小川 寿夫	011F	中野 睦子	018F	今西 光男	024D	匿名希望	034C	能登 剛	061B	久野 恭平
043H	吉田 恵子	旧教職員	三浦 吉明	05G	長山 一郎	011G	小沢 宏	018F	小田 澄男	024D	三村 勉	034D	山添 信俊	061C	長谷川 翔一
044A	秋山 礼歌	旧教職員	井田 良亮	05G	長谷川 利雄	011G	北條 隆男	018F	笹本 晴茂	024E	有村 聡子	034E	小平 祐造	062A	伊藤 弘洋
044C	福留 典紀	旧教職員	片岡 雪夫	05H	匿名希望	011G	飯田 紀久子	018G	横井 純雄	024F	大日方 裕	034F	浅野 晃次	062C	岡田 崇実
044D	速藤 剛	旧教職員	加藤 洋道	05H	三宅 弘人	011G	木岡 修一	018H	橋田 直枝	024F	小林 守	034G	伊藤 英俊	063C	大岡 隆
044D	匿名希望	旧教職員	永田 洋	06A	大友 真理子	012A	沢口 正武	018I	飯塚 昌久	024F	藤波 忠	034H	加藤 久正	063C	藤井 大和
044D	原口 雅臣	旧教職員	佐藤 典子	06B	青田 晋	012B	錦織 洋子	018I	中野 和子	024F	荻原 則子	034I	関口 栄一	064C	齊藤 勇雄
044E	笹原 陽子	旧教職員	人見 茂	06B	蟹江 康司	012B	高橋 匡司	018J	後藤 弥彦	024H	萩原 照一	035A	佐原 孝	064C	鈴木 苗
044F	平戸 史子	旧教職員	三井田 達雄	06B	佐々木 和子	012C	古屋 操子	018J	水野 健一	024H	黒柳 隆之	035C	内山 賢治	064D	永田 大弥
044F	諫 昌弘	旧教職員	坪井 美智子	06C	玉井 勇	012C	定立 信之	018J	渡辺 郁子	024H	石川 良子	035D	斎藤 晶子	065B	小川 遼子
045A	匿名希望	旧教職員	堀瀬 紀一	06E	田畑 紀子	012D	加藤 紀美江	019A	赤上 正彦	024H	鈴木 芳彰	035D	河村 英敏	066A	斎藤 七瀬
045E	中村 明史	旧教職員	村山 勉	06E	高橋 智	012D	結城 淳一	019B	松澤 啓子	024I	佐藤 努	035D	杉本 浩之	066D	長野 将也
045G	津野 雄彦	旧教職員	奥谷 雅之	06G	青柳 留子	012E	斎藤 三重子	019B	牧野 和夫	024I	上橋 麻美	035D	山口 和久	067D	逢澤 正義
045G	橋本 淳子	旧教職員	飯塚 誠	06G	久保 信昭	012E	嶋村 勇敏	019B	室伏 仁	024I	君田 敬代子	035H	高木 里枝	067D	永利 光
045H	速藤 誠	旧教職員	高川 麗子	06G	三好 達夫	012G	小島 進彦	019C	大村 知子	025A	若松 理奈	035I	高山 智子	068A	飯島 尚文香
046A	尾藤 明日香	旧教職員	菊山 あすか	06H	大城 幸夫	012G	小森 勇男	019E	大村 三恵	025A	和田 諭	036A	沢尻 泰子	068D	宮代 真帆
046C	杉浦 輝政	計	1,375名	06H	岡田 稔	012G	田中 紘一	019E	Shei Juliana	025B	大橋 三千夫	036A	千野 由美子	069B	清野 久美子
046D	朱 聖太	14,771,653円		06H	水野 悦子	012G	津島 周子	019E	倉沢 仁	025B	鬼嶋 雄志	036G	高橋 明恵子	069B	小谷 純
046D	中山 真吾			06H	松浦 いづみ	012G	水戸 幸一	019F	大竹 拓	025B	小山 ゆりえ	037C	岩田 希理子	069C	川田 優樹
046E	吉田 ひびき			06H	木野 恒雄	012G	吉田 操	019F	桐山 まり	025B	宮田 敏行	037F	青木 正明	団体	計018名G
046F	橋本 周歩			07A	並木 恒雄	012H	伊丹 文男	019F	小松 修	025C	若田 茂代	037G	小杉 桂子	団体	計6名G
046F	深川 靖敏			07B	土屋 明子	012H	板橋 隆久	019F	吉崎 博	025C	今井 一郎	037I	飯塚 成	団体	計030名G
047A	安田 俊之			07B	加部 純一	012H	橋本 裕之	019G	倉石 公路	025C	山本 一島	038B	飯沼 希恵	団体	計010名G
047B	相澤 久美			07B	関根 祥男	012H	倉石 泰子	019G	谷川 清次	025D	松本 修一	038F	泉山 美登里	団体	計01名G
047F	池上 瑞穂			07C	堀田 安二	013A	長澤 俊一郎	019G	松原 茂	025E	早瀬 豊	038F	松澤 奈緒美	旧教職員	大町 淑子
047F	後藤 隆太郎			07D	村上 栄美子	013B	堀口 芳子	019G	渡辺 博子	025H	杉浦 信之	038I	中村 千鶴	旧教職員	大町 誠吉
047F	山田 貴之			07D	金沢 吉之助	013D	瀬井 美美子	019G	村上 信	025I	長島 直哉	038I	早川 兼司	旧教職員	堀井 達也
047I	松崎 理			07E	山澤 明子	013D	山田 明子	019H	杉浦 利重	026A	細田 敏彦	039B	杉本 薫	計	3,111,511円
048B	久保田 裕美			07E	藤原 与彦	013E	出屋 俊弘	019H	徳永 章	026B	種井 和子	039C	加来 直子		
048B	大中 麻希			07E	伊藤 篤子	013E	片山 初恵	019I	千葉 慎子	026B	田添 博	039C	鹿野 良平		
048H	益岡 多枝子			07F	柳山 孝	013F	平山 淨子	019I	安福 美子	026C	伊藤 正昭	039G	上水流 由香		
048H	山内 純			07F	和田 靖子	013F	園分 浩太郎	019I	佐山 正人	026C	小山 惠理子	039J	川原 義明		
048I	岡本 吉史			07F	小池 純	013F	鶴田 邦夫	020A	池田 均	026D	井上 明子	040A	鬼沢 さゆみ		
048I	脇谷 じゅん			07G	佐藤 健二郎	013F	水野 育之	020A	小原 隆夫	026E	奥村 和夫	040A	林 直亨		
048I	渡辺 珠子			07H	岡部 栄子	013G	若田 友宏	020A	高橋 京子	026G	桑川 芳慧	040B	諏訪 美		
049A	大橋 三千緒			07H	依田 栄子	013G	茂木 正寿	020B	野村 香紀	026I	味方 心也	040C	諏訪 美		
049B	松山 建			08A	岡本 忠実	013H	大塚 洋子	020C	小川 秀典	026I	佐藤 良嗣	040C	加藤 紀夫		
050A	豊島 千絵			08A	関口 トシ子	013H	大坪 英臣	020D	野口 雅典	027G	美濃 尚子	040E	赤羽 真紀子		
050B	山根 力			08A	福知 城男	013H	岡田 恵子	020D	富田 修司	027G	行貝 和枝	040G	岡本 薫一		
051C	堀江 昇			08B	島田 太郎	013H	山田 かづ子	020E	曾根 由紀子	027H	小林 滋	041A	テニシ 万寿		
052B	王子 菜穂子			08C	田中 富子	014A	伊藤 正雄	020F	大嶋 俊秀	027I	木下 和美	041E	鈴木 忠夫		
052E	佐藤 和音			08C	小宮 完之	014A	渡辺 美也子	020F	長井 秀	027I	小川 克容	042D	西村 幸子		
052F	西村 伯紀			08D	井上 晴雄	014A	竹井 紘一	020F	長森 樹	027I	瀧川 広子	042D	橋本 賢		
052H	匿名希望			08D	小川 博幸	014B	三中 菊枝	020F	岩井 洵子	028A	井上 雅之	042H	鈴木 康		
053F	荒山 大輔			08D	小平 勝朗	014B	横山 誠	020G	植草 正信	028A	中島 乃里子	042J	蓮井 清香		
054A	伊藤 万理子			08D	三枝 雅信	014C	小島 芳郎	020G	横井 良介	028C	宮部 正志	043A	広瀬 雅子		
054B	及川 研			08D	牧野 守	014C	戸部 伸枝	020H	美濃 淳子	028E	西原 薫	043B	安田 敦		
054E	松本 遼太			08D	宮本 宏	014C	森 幸子	020H	井上 洋子	028I	蔡景 敦	043D	佐藤 教		
054F	宗像 朋之			08D	堀口 和江	014D	高井 隆雄	020I	丸山 文子	028I	横口 英夫	043H	原田 親		
055A	林 達也			08D	中村 裕康	014E	浅間 昭栄	021A	田中 洋子	029B	杉浦 久子	043I	星野 崇啓		
055A	古屋 元規			08E	大和田 愛子	014E	田中 公子	021B	呉 一	029C	佐藤 正子	044B	多田 学		
055A	三重野 幸沙美			08F	山本 雅道	014E	橋本 直子	021C	戸田 春香	029E	青木 和子	044B	山田 仁美		
055D	匿名希望			08G	高野 潤	014F	秋本 豊子	021C	牧 保	029E	橋下 秀昭	044C	匿名希望		
055F	小川 知子			08H	内田 肇二	014F	嶋元 雅夫	021D	小倉 ひろみ	029F	小倉 ひろみ	044D	金森 美幸		
056G	新井 華子			08H	木村 憲幸	014G	林 秀明	021E	岡田 守典	029F	松澤 雅雄	044E	信太 道子		
057D	浅子 晋			08H	坂本 一利	014H	清田 泰弘	021E	福善多明子	029G	岡部 慎	044E	藤村 奈緒		
058D	木内 悦子			01C	木下 秀明	015A	二宮 直治	021F	上浦 正樹	029H	菊本 由美	045B	工藤 崇		
058H	渡邊 貴行			01C	榎川 基	015A	菅直 浩	021G	小野 早苗	029H	菅野 達幸	045B	益岡 孝太郎		
059C	瀧名波 雅			01D	吉村 宗忠	015A	中川 美保子	021H	北澤 敏子	029H	飯塚 玲子	045C	細道 三恵		
059E	匿名希望			02A	木曾根 茂	015B	堀尾 友保	021H	柚木 敦司	029I	佐藤 典子	045C	水上 敦司		
059G	中島 歩			02A	中谷 明	015B	中井 靖子	021I	霜島 隆一郎	030A	平澤 明子	045E	古屋 瑠磨		
059H	宇津野 千恵			02B	関 三雄	015C	斎藤 和子	021I	井上 久美子	030B	伊藤 博司	045G	久 雅子		
062A	尾形 光生			02C	石原 信良	015C	池田 太一	022A	橋田 崇徳	030B	有馬 あぐり	045I	中嶋 崇子		
062A	長田 大樹			02E	別府 哲雄	015E	佐藤 晋二郎	022B	西田 崇徳	030D	坂東 誠	045I	松本 えり子		
064B	藤山 明日美			02E	森本 時夫	015E	田中 良弘	022C	林川 昌寛	030E	小森 麻里子	046B	五島 敦		
064B	三木 良太			02F	佐藤 博	015E	刈屋 静子	022C	村上 順二	030F	酒田 聡志	046B	能登 ゆみ子		
064D	粕谷 菜月			03A	三橋 淳	015F	太田 寿美子	022D	興津 光一	030F	中沢 正和	046D	金岡 武司		
065A	堀尾 聡子			03A	設楽 勝	015H	市川 宏伸	022E	鈴木 善昭	030H	野村 圭子	046I	重野 祐市郎		
065D	大塚 絵理香			03A	山田 雅夫	015H	長澤 泰	022E	長野 寛	030I	本間 明子	046I	湖田 史織		
066A	山崎 佳奈			03C	曲 轟之	015H	山田 武久	022F	近藤 光	031B	藤田 直実	047B	鹿田 玲子		
066B	津田 早苗			03C	米山 正儀	016C	星野 しづ子	022F	柳橋 則子	031B	高橋 満里	047B	鶴川 進一		
066D	齋藤 慎也			03D	飯田 正直	016D	中村 周代	022F	井出 裕子	031C	加藤 明洋	048G	加茂 浩一		
067A	定立 百合美			03E	後藤 國臣	016D	古谷 澄	022G	石原 幹也	031C	佐藤 敬明	049A	千葉 絵理子		
067A	永澤 巨平			03F	太田 芳昭	016E	飯島 和子	022G	木村 和民	031C	高橋 彰	050B	杉山 大樹		
067B	植田 泰祐			03F	近藤 彰利	016E	高木 隆	022G	貴部 淳	031C	岡下 桂子	050D	白田 慎		
067B	村松 正音			03F	佐伯 信朗	016G	浅石 郁子	022G	山田 裕理	031H	橋田 孝江	050E	古橋 龍一		
068C	高石 卓実			03F	村田										

## 8. 百周年事業決算報告

事務局長 清水 透 (024H)

百周年事業の実施にあたっては、定例評議委員会の承認を得て、平成27年度から開始した募金を特別会計に計上し、全体事業予算の中から各事業の進捗に合わせて必要予算を割り振る仕組みとしました。

皆様からの募金は、全体目標計画2億円のうち、百周年に当たる2018年度までの短期目標1億円を突破しました。以下、2018年度までの収入支出集計を事業別に報告します。

### 1. 収入

(単位：円)

収入内訳	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	累計	備考(累計)
百周年募金	21,728,661	13,620,903	26,471,016	39,531,097	101,351,677	百周年寄付金累計(H31.3.31時点)
当年度利息	294	30	24	157,769	158,117	
当年度収入計(A)	21,728,955	13,620,933	26,471,040	39,688,866	101,509,794	百周年記念事業収入累計(H31.3.31時点)
前期繰越金(B)	0	21,464,263	25,913,930	42,206,787	49,507,026	2019年度期初基金(百年史残作業費725万を含む)
30年度繰越金					49,137,713	
特別会計残金					369,313	長七フォーラム258,572円、100周年行事委員会110,741円
収入総計(A+B)=C	21,728,955	35,085,196	52,384,970	81,895,653		

### 2. 支出

(単位：円)

訳内入収	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	累計	備考(累計)	
百周年記念事業	寄付促進活動	242,438	44,560	1,533,846	5,554,881	7,375,725	会報特別号作成、寄付礼状作成、贈呈品(ストール・マグネット)
	教育支援事業	0	1,076,044	2,595,345	2,483,714	6,155,103	留学・派遣・大会参加費・記念品購入助成
	部活支援事業	1,840	0	40,804	2,530,682	2,573,326	楽器購入償却費、科学備品・運動具購入、新しい歌
	交流室事業	0	0	0	4,152,723	4,152,723	紫友スタジオ家賃・保険料・備品購入・監視カメラ
	小石川の杜事業	0	116,645	662,326	1,424,211	2,203,182	小石川の杜パンフ・模型作成、ビデオ作成、植樹
	百年史編纂事業	1,413	5,508,006	2,100,360	9,233,717	16,843,496	資料デジタル化、百年史編纂関連(通史・みん百)
	アーカイブス事業	0	2,398,000	3,129,680	1,782,864	7,310,544	年表/映像データベース・資料目次作成
	その他経費(事業共通)	11,326	14,012	115,822	1,028,012	1,169,172	人件費、会議費、コピー代、振込手数料ほか
	小計	257,017	9,157,267	10,178,183	28,190,804	47,783,271	特別会計を除く

○皆様からのご寄付のお陰で残作業費725万円を除いても約4,200万円を確保しております。

○上記の残金は基金会計「紫友みらい基金」に組み入れ、今後10年間の活動の期初資金として暫時継続して執行いたします。

## 塚田法律事務所

弁護士 塚田 成四郎 (022H)

弁護士 塚田 耕太郎



〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-21-6 池田山コープ 1001号

TEL 03-3280-2468 FAX 03-3280-2469

# 先生お元気ですか？

## 無知の知

1970年～1989年在職  
社会科 倫理・現代社会 田中 正彦



81歳となりましたが、私は、障害者福祉事業のNPO法人の理事長として、今でも働いています。理事長といっても、一緒に設立した仲間の中で一番年長だったからで、飾り物のリーダーにすぎません。それでも40人の職員で構成する法人に成長しました。スタッフの努力で、理事長が私でも成立つのです。「のぼうの城」と私は思っています。

小石川高校の教師だった時代、私は生徒たちに助けられて、教職を続けていました。体育祭の応援合戦では腹を抱えて笑われました。小石川の生徒に大きな復元力とでもいうものを感じました。大きく羽目を外すこともあればやるべき時はやるという力です。

4回ほど担任を繰り返しました。授業をさぼって麻雀をやっていたなど、羽目を外し過ぎる者もいました。それでも三年生になると人が変わったように勉強家になり、集中力を発揮して受験シーズンには結果を出し、やがて会社員、公務員、研究者として、立派に社会に貢献するようになっていました。

私は「倫理社会」（その後「倫理」と「現代社会」という科目を担当していました。教職から離れてずっとずっと後に、ハーバード大学のマイケル・サンデル教授の授業をテレビで見ました。小石川での授業を思い出しながら、どうして私にはあのような授業ができなかったのかと思いました。ハーバード大学の先生でなければできないと言うものではない。小石川の生徒が相手なら自分でもあれはできたはずです。自分が不

勉強でなければ。

私も、生徒と先生の間答で解りやすく面白く哲学が語られる教材を作ることを試み、授業で使ってみました。しかし、それは今から思い出しても汗顔の至りです。私は、生徒たちとプラトンの「ソクラテスの弁明」を読みながら、ソクラテスの「無知の知」ということを語りました。「自らの無知を自覚している人こそ賢者だ」というのですが、本当のところ私はその意義を理解していませんでした。生徒の中には「ソクラテスって凄い」と言っている者もいたのですが…

数十年も後に、精神疾患に悩む精神障害者支援の事業に携わってから、ソクラテスの「無知の知」という言葉が解ってきたような気がしています。精神疾患の苦しみは家族でも理解してあげることができません。本を読み専門家の話を聴いても、「あなたの苦しみを知っている」などとは言えません。精神障害者支援施設の職員たちは専門家から、精神障害を負った当事者の話を「傾聴せよ」と指導されます。謙虚に理解しようと努めること、「知っている」ことより「知ろうと努力する」ことが大事なのです。精神科医でもそうです。知っていることは有限ですが知らないことは無限です。

夜眠る時に、数十年昔の小石川高校での日々を思い出しています。不甲斐ない教師だった私は、小石川高校の時代を思い出すたびに、教師をやり直したい想いでいっぱいになります。



(1978年030期卒業アルバムから)

# 同窓生訪問



## 人生の ファンダメンタルズ

2019.1.24

014F 嶋津 昭

百周年事業の発起人のお1人、嶋津昭さんは、ラグビーワールドカップ2019™日本大会 事務総長として本年9月の大会開催に向けて多忙な日々を送っておられます。インタビューの日程が決定し神宮球場近くの事務局をお訪ねした時、先輩は風邪をひかれて体調も万全ではありませんでした。それでも不躰な後輩たちの質問に1つひとつ丁寧に答えを返され、温厚誠実なお人柄そのままのインタビューとなりました。

◎お生まれと小中学校までの生い立ちをお聞かせください。  
——私は下町の本所厩橋の生まれですが、すぐに練馬に転居して小学校は練馬区立の開進第三小に入りました。その後、家庭の事情で池袋（東口）の今は無くなった映画館の裏あたり、青江三奈の唄で有名な美久仁小路で育ちました。それからまた練馬に戻って、中学は開進第三中でした。

◎そうすると高校受験では越境になるのですか。  
——そうですね、練馬は（都立高入試の）学区で言えば志望校は杉並の西高校になるのですが、池袋から新宿に出てまた乗り換えるので、通学に1時間以上かかりました。それでもっとも近い小石川を志望しました。住まいは池袋ですので越境ではありません。



◎小石川高校へ入学されて学校にどんな印象を持たれましたか。

——私が入った時（1959・S34年）はできて2年目の新しい校舎でしたから、何もかも新しくきれいで良い環境だったと思います。廊下に生徒個人のロッカーがあるのが印象的でした。講堂と体育館は戦災の傷跡がそのまま残っていましたけど。

◎たまたま、嶋津さんと同期の神野藤昭夫さんから当時の校舎と60年安保の写真が同窓会のアーカイブに提供され、会報45号の表紙にも使わせていただきました。

——在校当時、特に親しくはありませんでしたが、昨年の記念パーティーの後に同期で2次会に行き親しく話しました。彼は文学者で卒業後も国語の非常勤講師をして学校と関わっていました。同窓会の年史（編集部注：別冊「みんなの百年」）に我々014期の年を書きからとって、間もなく原稿が届きました。

◎高校時代を振り返って、どのような思いがありますか。  
——人生の基礎、ファンダメンタルズは高校時代にできたと思います。小石川の（クラス替えなし）通しのいいところは、15・16・17歳の3年間でクラスメイトと女性も含めて満遍なく友達になれることです。今でも交流が続いていますし、たまたま私は同級生の妹と結婚しました。クラス会も女性が熱心で非常に出席率が高いですよ。女房も一緒に旅行へ行ったりね。男女の比率は3対1だけど、だいたい存在感からすれば1対1ですね。（笑い）

◎担任は国語の鈴木由次先生（1951～81年在籍・愛称ゴン次さん）とお聞きました。実は私たちのうち3人は先生の教え子です。どのような先生でしたか。  
——当時、先生は30代前半で、山岳部の顧問をしていました。先生に習った皆さんには記憶があると思いますが、入学早々、あいうえおを平仮名とカタカナで書かされたのには虚をつかれました。全部書けた者は1人もいなかったですよ。わ行のゐ・巾、ゑ・エなんか、普段使っていませんので書けませんよ。

◎先生の授業は、毎回、話がどんどん脱線しましたが、私たちの頃も女子に人気があって、男子は後方で敬して遠ざけるといった感じでした。



鈴木由次先生

——何事にも恬淡としているという先生でした。あるとき、武蔵関にあった先生のお宅にクラスの友人と遊びに行ったことがあります。お座敷でその当時流行っていた「ぶーぶークッション」を座布団に下に隠して、女の子がキャットというのを喜んでいる。そんなことをする茶目っ気もありましたね。

◎先生と福田恆存氏のつながりについては。

——鈴木先生にとって福田先生は旧制掛川中学時代の恩師だったからね。国語教師にとどまらず（福田恒存氏の）弟子でしたから、誘われて福田先生の講演会にも行きましたよ。日本の国語改革（表記の変更、旧字体の廃止など）がいかに間違っているかとの話を聞きました。悪いことに当時のPTA会長はカナ文字推進論者の松坂忠則氏だったのです。こちらは、日本語は簡便、平易なカナで表記すべきという考えですね。当時、先生は、ご自身の所論（松坂氏への反論）を「開拓」にも書いています。[編集部註「国語問題のために」開拓48号・1961（S36）]

その後先生への恩返しではないけれども、福田先生が作られた劇団昴と学校の裏にあった三百人劇場の応援をしています。残念ながら団員の給料を払えなくなって劇場は身売りされましたが、今、劇団昴は続いていて池袋の劇場などで活動しています。

◎そのほかに印象に残る先生はいらっしゃいますか

——多かれ少なかれ色々覚えていますよ。石川昌先生にお世話になりました。

◎愛称ベティちゃんですね。49年から78年まで約30

年間在籍されましたから、教わった同窓生も多いです。——先生はクリスチャンで上智（ソフィア）の卒業生です。在学中にAFSの（交換留学生募集）試験を受けたのですよ。それならと、先生の紹介で希望者4、5人が四谷に行って当時残っていた蒲鉾兵舎を使った教室で補習をしてくださいました。そこで上智大学の学長ヘルマンホイヴェルス先生を呼んできまして、講話を聴いた記憶もあります。先生は生涯独身を通し、修道女として一生を信仰に捧げましたね。

◎クラブ活動はいかがでしたか。

——軟式テニス部を3年間やりました。校舎の間の中庭でもやりましたが、運動靴がすり減るので、校庭の体育館のわきにローラーをかけてコートを作りました。ところが、ラグビー部とサッカー部の連中がスパイクで入ってすぐ荒らしてしまうのです。この間もラグビー関係者の会があって、昔はラグビー部は敵だったと言って挨拶しましたよ。喧嘩をしたくても、向こうの方が強そうだからできませんし。（笑い）当時のテニス部は強い選手がそろい、合宿は湘南に行きました。



石川昌先生  
(卒業アルバムから)

◎当時の先輩方に高校の雰囲気をお聞きすると、（旧制五中伝統の）教養主義の風が色濃くあったという答えと、（東大合格者数を重視の）受験学習一本やりだったという2つの答えが返ってくるのですが。

——さあ、どちらともいえますね。先生方は大学受験に役立つような授業をしたのだけれど、生徒の大半はどうせ予備校に行ってから勉強すればよいとの考えで、あえなく討ち死にするのが普通でした。むしろクラブや行事なんか打ち込んでいました。

当時、駕籠町から大塚氷川下の方へ向かう途中に「湖心亭」というラーメン屋がありました。在学中は土曜日の昼間、そこでラーメン食べて友人4、5人と議論、政治の話なんかをするといつまでも終わらない。それで夕方になるともう一杯ラーメンを頼む。店が閉まるまで議論しても追い出されずに、オヤジさんがミカンなどを差し入れてくれることもありました。

◎大学受験について、進路はどのように決められたのですか。

——100人が東大に入る時代でした。同級生のほとんどが東大を目指して、1年目の時は東大しか受けないし。大学に行かない人も何人かいましたけど、5人が

現役、40人が浪人、浪人中のクラス会は現役で大学に入った人と呼ばないでやりましたね（笑い）。予備校のクラスで文系と理系が分かれ、自ずから進路は決まってきます。我々の頃の入試では、文Ⅰは法学と経済が一緒で、文Ⅱが文学で今の文Ⅲでした。



◎一浪されて東大に入って、そこでもテニスは続けられたのですか。皇太子ご成婚のきっかけでもあり、優雅で上品なイメージですね。

——大学では硬式に変わって体育会のテニス部に入り、毎日、駒場からコートがある本郷に通って365日やっていました。池袋から午前中は駒場、午後は授業をさぼって本郷へと三角形に回っていましたよ。体育会は運動一筋、甘いロマンスには全く関心はありませんでした（笑い）。

1年後にテニスをやめました、その理由というのは2学期の試験があって、フランス語の試験の結果が不可、不可、可だったのです。不可でも赤いハンコの不可と青いハンコの2種類の不可があって、色とりどりのこのままの成績では進級できないと悟りやめたのです。

◎本郷に行かれてからは

——法学部の授業は、コースにもよりますが大教室の講義が主ですね。ゼミはないわけではなく、政治コースにはゼミがありますが、4年の時に国家公務員試験を受けました。

◎卒業後は旧自治省に入省され、2002年に総務省事務次官を退官されました。

——仕事の中身は地方自治です。公務員生活を40年していましたが、前半の20年ほどは国と地方の往復でした。最初に静岡県庁、東京に戻り石川県、東京、静岡県、東京、奈良県と移りましたが、地方自治体では総務と財務の仕事ですね。地方への赴任は最初は独身ですが、結婚して子供が生まれてからは家族帯同でしたので、2人の子供は小中学校あわせて転校5回だったから大変だったと思います。

◎ラグビーワールドカップ2019™日本大会 事務総長としてのお仕事の内容と準備についてお聞かせください。

——ラグビーワールドカップは9月20日の日本対ロシア戦を皮切りに11月2日の決勝戦まで、札幌から九州まで12の会場で自治体との共同開催で準備をしています。私は50年以上にわたって地方自治の仕事をしてきたので、開催会場のある県や市とお付き合いがあったから、そういう縁で（事務総長の）お鉢が回ってきたと思っています。

アジアで初めての大会ということで、開催の準備自体は暗中模索の状態から始まりましたが、前回の開催地イングランドと比べて日本はイギリスほど大きな会場があるわけではありません。各会場の集客、宿泊、交通手段など目の前の1つひとつの課題を解決し、また、ラグビーの普及と地域振興を自治体との共同作業で進めていこうという意味合いが強いのです。おかげさまでチケットの前売りは反響もよく順調に進んでい



ます。

◎母校小石川とのつながりという意味では。

——たまたま私はこの仕事をしてから小石川OBの関係者と色々お付き合いができました。次の年のパラリンピック会長は鳥原光憲さん（百周年事業発起人・元東京ガス会長013F）ですが、パラリンピックでもウイルチェアラグビーをやります。我々も協力して今年10月の世界大会（ウイルチェアラグビーワールドチャレンジ2019）をぜひ成功させたいと思っています。このほかにも、オリンピックセレモニーの責任者は野村万作さん（旧27A）の息子さんの萬斎さん、オリンピック協会の櫻井孝次さん（陸上三段跳びメルボルン、ローマ、東京の三大会出場・07F）、亡くなられたサッカーの岡野俊一郎さん（元日本サッカー協会会長・02C）、そういうスポーツ界のリーダーとなった先輩方とのご縁に助けられてこういう仕事ができていると思っています。

ただ、ラグビー部OBの皆さんから小石川の現状を聞いていますが、都立高校は現存する部は少なくなっています。特に中等教育学校になって1学年の男子が概ね300人から80人に定員が減ってしまい、部員が集まらず15人制は連合チームでしか出来なくなっているのが残念です。

◎小石川は中等教育学校になった時に、整理しようという議論もありましたが、それまでのクラブを全部残しました。

——部員が減ったクラブを大勢のOBが支えているが現状だと思いますし、ラグビー部は特にそういう支援に熱心ですね。日比谷のラーメン店「むつ新」（伊藤睦さん022I経営）は、都立だけではなく全国の関係者のたまり場です。また、女子では私たちの頃にはなかったラクロス部が人気で強いようですね。

◎現在の中等教育学校についてはどうお感じになられますか。

——学校の近くに住んでいるので時々通って見かけるのですが、男女同数で活発で元気があって、それなりにいい学校になっているのは間違いないと思います。ただ、残念ながら今の中等教育学校と昔の小石川高校とは果たして同じものなのかという問題は、私自身解決できていません。この前の記念パーティーで学校のビデオを見せていただきましたが、1学年160人の生徒さんで、ある意味、豊かな学校生活を過ごせるのか、クラブ活動ができるのか、そういう点ではちょっと危惧を持っているんですね。少子化対策の一環として生まれた、言わば小手先の政策の犠牲ではないかと思うと耐え難いものがある。これから、若い人たちが豊かに育てるにはどういう学校にしていくのがいいのか、東京都の教育政策として今の形でよいというだけじゃなく、あるべき学校の形はこれからも考えていくべきじゃないかと思いますね。同じ箱の中に中高を一緒に詰め込むには狭いと感じています。今年、孫（娘）が入試に合格しましたので入学を奨めました。残念ながら第一志望の他校へ進学しました。

◎最後に在校生の皆さんへお言葉ををお願いします。

——人間関係を含めて人間としての基礎、ファンダメンタルズができるのは中等学校の時代だと思いますね。仕事で接した若い人に自己紹介をしてもらう時も、出身高校、趣味、家族関係の3点を必ず聞いています。昔と今の時代が違って、成長して社会人として活躍するファンダメンタルズ、人格を作るのは大学ではないと思います。是非、学校では学力だけではなく幅広い交友関係を作ってくださいとお願いしたい。

◎今日は長時間にわたってお話をありがとうございました。



### 〈インタビューを終えて〉

「嶋津さん、ラグビーの経験あったかな?」。訪問前、過去記事を調べて吹き出しました。インタビューにあります。小石川時代は軟式テニス部に所属し、ラグビー部などに整備したコートを荒らされた“被害者”。5年前の事務総長就任時の会見では、その因縁を披露して会場を沸かせたようです。

日経の記者時代に度々お世話になりましたが、ユーモラスで温かい人柄が印象的だったのは、小石川の大先輩、そして担任が同じゴン次先生だったご縁も大きいと思います。嶋津さんは当日、インフルエンザの回復直後ということで、白状すれば私も腰が引けておりました。今度はラグビー観戦後、ラーメン屋で一献お願いしたいものです。

嶋沢裕志 (026B)

私たちは、お話を聞きだすべき先輩を前にして、皆が我先にと語る事が多く、話題があちこちへと飛んでしまいます。そんなインタビューにも拘らず、嶋津さんはずっと聞き役に徹して会話を楽しみ、頃合いになると簡潔にご意見を披露されました。

直しのほとんどないテープ起こしから、面談時に気づかなかったこと、話を聴く力と、若かりし、ゴン次先生の一面を教えていただきました。いちラグビーファンとしてワールドカップ大会の成功を心より願っております。 並木隆 (022E)

誠実で気さくなお人柄。すぐに場の雰囲気は和み小石川の頃の話をして下さいました。部活、勉強、クラスの仲間と過ごした日々。この小石川高校での貴重な時間があってこそ、この今があるということが、とても良くわかりました。

スポーツのイベントは、大会の華やかさに目が行きがちですが、運営に携わる人々の力の結集があってこそ成功するのだと改めて思いました。地方をつなぎ、日本各地が会場となるワールドカップラグビー。この秋、ラグビーを通して多くの人々がつながる時間が出来ることを嬉しく思います。多忙な中お時間をいただき、本当にありがとうございました。 中野靖子 (038G)

# 吾が校友の精神を

会員より送られてくるお手紙、投稿を中心に、同窓生の文章を掲載いたします。どの文からも五中、小石川の立志開拓創作、自由闊達な精神を感じます。皆様も是非ご投稿ください。表題は校歌の一節から採用いたしました。

## 和の芸術に没頭

022D 石井 孝夫

### 〈仏像彫刻〉

私は47歳の時から近所にある光雲仏所にて、仏像彫刻の教室に通っていました。60歳の定年退職を機に光雲仏所の講師として、現在カルチャースクールなど7か所で仏像彫刻を教えています。生徒さんの中には、小石川高校時代の同級生や、大学水泳部の先輩、勤めていたエーザイの方など教室に通ってくださって、ありがたい限りです。



石井孝夫近影

私は高校の時から木彫が好きで、動物やミロのヴィーナスなどを彫っていたのですが、木彫の究極は仏像だと考え、仏像彫刻を自己流で楽しんでいました。47歳になって本格的に勉強を始めたわけです。

仏像彫刻教室は各々月2回あり、1回2時間から3時間、トータル月に14回指導しています。生徒さんの数は3～14名と様々ですが、14名のところはそれは大変です。彫刻は他の芸術と違い、破壊と創造が同時に起こるユニークな芸術です。一度削ってしまえば元に戻りませんので、ふくよかに作っていくよう指導しています。

また現在の仏像ブームもあり、博物館や美術館で仏像展が多く開催されているので、時には教室の後、皆さんで見学に行くこともあります。実際に自分で仏像を彫り始めると、皆さん仏像の見方が変わったといいます。最近では知人友人の方から注文をいただくこともあり、仏像制作のみならず、指導を通じて仏像彫刻を楽しんでいます。

紫友美術会にも4年前から入れていただき、毎年紫

友美術会展に出品しています。今年は30周年を迎える年ですので、興味のある方は是非おいでください。

### 〈しの笛〉

7年前から、しの笛を習っています。その仲間で作っているしの笛ボランティアグループ「和楽 笛」に3年前に入り、老人ホームなどで演奏活動をしています。演奏するときは全員着物に着替え、笛だけでなく太鼓や、歌、踊りなども加え約1時間の演奏です。お正月などは、黒田節を踊ったり獅子舞をしたりします。

前半は主にしの笛を聞いていただき、後半は皆さんに歌で参加していただく内容にしています。終わりころになると、時には涙ぐんでいらっしゃる方もお見受けし、しの笛の持っている力を感じたりします。

なお、しの笛の先生は石山裕雅先生で、「武州里神楽十世家元」で、定期的に神楽の公演を行っています。時には後見役として、舞台に参加したりもしています。

### 〈その他の趣味〉

定年退職を機に、趣味としてやりたいと思っていた書道、篆刻、弓道、陶芸、茶道などを始め、毎日忙しく、楽しんでいます。気がついてみればすべて和の芸術でした。



聖観音(ヒノキ・全高60cm)

# 033B で 片貝まつりに 煙火奉納

033B 根本 忠

新潟県小千谷市片貝町。ここは知る人ぞ知る「花火の町」である。毎年9月9日と10日に浅原神社秋季例大祭（片貝まつり）が行われ、人口4千人の町には20万人の人が訪れる。また、花火は2日間で約2万発が打ち上げられるという。



私が初めてこの地と花火に出会ったのは、1991年、28年前のことだ。当時勤務していた慈恵医大附属青戸病院から小千谷市にある魚沼病院に1年間派遣されたことがきっかけである。

以来、その大きさと美しさに魅了され、東京へ戻っても花火の時には片貝通いを続けるうちに、何事にも一生懸命な町の人たちの気質や四季の豊かな自然のとりこになった。青戸病院では骨髄移植の先端医療の現場にいたが、98年に再び派遣を打診されて即答した

時には、妻とともに自然に移住を決意していた。現在は開業医として腰を据えた地域医療に取り組みながら、地元の一員として仲間と伝統の祭りを支えている。

さて、この花火の特徴は奉納煙火であることである。すなわち、人々は「結婚」や「子供の誕生」、「追善供養」、「還暦の祝い」などといった節目で浅原神社に花火を奉納するのである。花火は、場内に誰がどういう目的でどんな花火を奉納するかが、その都度、アナウンスされてから打ち揚げられる。町外者にとっては、世界一の大きさを誇る四尺玉（写真1）がメインであるが、奉納者にとっては「自分の花火」が一番なのである。

昨年の片貝まつりには、番付表のコピー（写真2）にある通り、母校小石川創立百周年を記念して033Bで尺玉五段打ちを奉納した。緑の葉の中に小さな白い花を、周囲には紫根染めの力強い赤紫を配置した特別注文の尺玉を、「五中」にかけて五段打ちにしたのである。当日は、棧敷席から打ち揚げ場の方に風が吹き、一片の曇りもない好条件の上空に開花した。（写真3）



写真2 番付表



写真1 直径800mの大輪を咲かせる世界一四尺玉「昇天銀竜黄金千輪二段咲き」



写真3 033B 奉納の尺玉五段打ち

# 追悼 俵 一雄 さん

## 俵会長を偲んで

前会長代行 025H 市原 昭

私は本年1月、紫友同窓会俵会長の逝去に伴い、会長代行として職務を引き継ぎました。俵さんとは、私が同窓会に関わりも持った2010年からの付き合いです。ともに副会長として、9年間の紫友同窓会の運営、特に百周年記念事業の推進に携わりました。正直言うと、ともに推進したというより、強力な推進力に引っ張られてきたと感じています。

私は、就任当初から同窓会、伊藤長七について等いろいろ教えていただきました。また、夜遅くまで、巢鴨で杯を交わすこともたびたびありました。その際は、小石川、紫友同窓会について、熱く語り合うこともありました。皆さんご承知の通り、俵さんは小石川に対して強烈な母校愛をお持ちでした。そのため、同窓会活動、百周年記念活動に対しても、前向きに、積極的に活動をされていました。特に、ご本人の健康とも関連したと思いますが、一昨年、昨年と百周年が近づくとつれて、小石川、紫友同窓会、百周年記念事業に対する思いは、より強くなっていったと思います。そのため、時として人とぶつかることも多くあったことも事実です。しかしながら、そのぶつかり合いの中から百周年事業も強く推進され、成功に導かれてきたと思っています。

五中・小石川百周年事業は、寄付金も1億円を超え、記念パーティーも盛大に行われました。また、学校主催の記念式典も行われました。その際、俵会長は、最後の言葉を振り絞るように挨拶をされています。小石川の今後の百年、未来の発展を強く願っておられました。俵さん、長きにわたり、ご指導いただきありがとうございました。後輩として、俵さんの思いを大切にしたいと思っています。

ご冥福をお祈りします。合掌。



100周年記念総会での挨拶(2018.10.25)



臨時評議委員会で事業説明(2018.9.24)

### 俵 一雄さん 略年譜

- |                       |                                                                      |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1947年(昭和22年)<br>7月生まれ | 幼少時を父君の勤務地であった大分県佐賀関町(現大分市佐賀関)で過ごす。<br>中学時代に東京へ、文京区立第十中学校へ転入。(半下宿生活) |
| 1963年(昭和38年)          | 都立小石川高校入学。ラグビー部、生徒会長として活躍。                                           |
| 1967年(昭和42年)          | 東京大学文科2類入学。<br>卒業後、富士通勤務を経て2002年(平成14年)俵コンサルティング設立。                  |
| 2003年(平成15年)          | 紫友同窓会85周年イベントに実行委員として参画。<br>イベント終了後、同窓会理事として伊藤長七研究部会を立ち上げ。           |
| 2009年(平成21年)          | 紫友同窓会副会長就任(3期9年)                                                     |
| 2018年(平成30年)          | 紫友同窓会会長、五中小石川百周年事業実行委員長                                              |
| 2019年(平成31年)1月7日      | 永眠                                                                   |

# 風になった俵 一雄さん

017D 松木 富美子

俵さんが1月9日に亡くなった。同窓会長として百周年祭を見事にやり遂げられたが、自身が牽引して来た第2回伊藤長七研究フォーラム〈3月16日〉の開催には立ちあえなかった。口惜しさはどれほどだったか。

寒水会（長七研究会）メンバーのわれわれは、小石川八十五周年祭以来、15年余を諏訪清陵高校卒の有志の方々と共同で、長七の文献を研究して来た。私は、俵さんの長七への探求心とエネルギーに押されて、お手伝いでも出来ればと続けて来たに過ぎないが、清陵の方々の研究熱心さと俵さんの行動力が無ければ、長きに亘る活動は続かなかっただろうし、今回のフォーラムの実現はあり得なかった。当日は、われわれ誰もが俵さんを心に置いて、このイベントを彼に捧げる気持で臨んでいた。東に長七ゆかりの人在れば行って話を聴き、西に関係資料あれば訪ねて検分した俵さんであった。後半は病軀を引きつつ、恐らくは残る時間を計りながら、フォーラムに向けて心を砕いていた。病状が進行してからも寒水会への欠席は無く、体のつらさを口にすることは皆無であった。長七の何が彼をそこまで惹きつけたのか。

俵さんは周りをハラハラさせる人で、お茶目で、多少、無頼であった。また、とても純なまっすぐ過ぎるところがあった。どこか長七に通じるところがないだろうか。校庭から鯉職を飛ばしたり、予定外の米国大統領との面会を急遽実現してしまうという長七の一直線で気宇壮大な気性と、その革新的な教育信念への共

感と敬愛は常に在ったようだが。

個人的には俵さんとよく論争した。友人であったので、忖度や遠慮は一切せず、どちらも歯に衣を着せなかった。それでも絶交などには至らず、「困った人だ」と互いを思いつつ、ずっと親しくして来た。俵さんの、これと決めたことへのひたむきさには深く頭の下がる思いがあり、又、彼の真面目なる不良性にはまことに愛すべきものがあった。

2007年、第1回長七フォーラムが長野で開かれた帰途、参加者で立志山長野善光寺に立ち寄った。境内には小諸有志により建てられた「伊藤寒水碑」があり、その前で、俵さんが「千の風になって」を天にも届けとばかり、朗々と歌い出したのだ。清々しい風が確かに吹き抜けたようであった。自然に銜いなくやってしまうのが俵さん流である。

専門の会計の本を一冊出したいと言っていたし、長七研究はまだ途中であり、もっと、少しでも長く生きたかったと思う。とはいえ人の死はすべて中途の死である。俵さんは満身創痍の体ながら、不屈の闘志を燃やして生き切った。

いつだったか、「殺されるまでは生きてやる」（高野長英伝・『本田英郎戯曲集』）という長英の心境だと笑っていた。ボロボロになりながら、冷静に開きなおっていた。

俵さんからの最後のメールは12月28日付で、「長七を巡る百人」のエクセル改訂版が添付されている。命のギリギリまで伊藤長七であった。天国に長七先生が居られたなら「俵君、有難う。よく頑張ってくれたね」と俵さんをしっかりと抱きしめられるに違いない。

俵さん、お疲れ様でした。こころよりあなたを惜みます。



俵さんと藤森さん(伊藤長七生家で)



伊藤長七碑の前で

## 俵さんとまち歩き

020G/021E 伊藤 裕美

同窓生とは不思議な存在です。年齢差があろうと初対面であろうと、ひとたび言葉を交わせば、すっと打ち解けてしまいます。85周年記念行事準備委員会で初めて俵さんに合ったときもそのようでした。記念行事のパーティーが終わり準備委員会は解散となりましたが、メンバー達の別れがたい気持ちから「まち歩き」が始まりました。2005年1月のことです。そして第一回「向島まち歩き」より回を重ね間もなく百回になろうとしています。

「まち歩き」とは…？ 気がおけない仲間との会話を楽しみながら漫ろ歩き帰りに一献を傾けるといふそれだけのことですが、その自由な集まりを俵さんは好ましく思っていました。

余人を持って代えがたい個性の持ち主である俵さんは数々の逸話を遺し、今も語り種です。皆を驚かせまた和ませました。「アモイまち歩き」では最終日の打ち上げ宴会中、レストランの清掃員が見つけた俵さんの財布が届き、紛失に気づかなかった本人もさることながら我々もびっくり仰天です。パスポートとかなり多額な日本円現金入りの財布が持ち主に返ることなど奇跡ですから。実は出発直前、俵さんは看病虚しく愛犬のアレックスを亡くしました。善人が拾ったのはアレックスの恩返しかもしれません。今、俵さんはアレックスに会えたでしょうか。



「アモイ、コロンス島まち歩き」2008年11月

また「台北まち歩き」は仕事の都合で一日遅れての参加でしたが案内人の私との密約で内緒にしてありました。「まち歩き」にしては珍しく台北は大雨が続き、九

份で夕日を見るつもりが台無しです。そこへ突然ずぶ濡れで水中眼鏡をかけた変な恰好の俵さん登場ですから皆の驚きようといったら。沈んだ気持ちも吹き飛びました。

もう一つ「まち歩き」が楽しいのは写真と共に記録があることです。主に小林偉昭(017D)さんが報告書として作ってくれます。掲載した俵さんの写真は「アモイまち歩き」コロンス島で撮影されました。俵さんの穏やかな優しい表情が見るものに語りかけているように思えます。昨年秋の俵さんメールに何気なくあった一言「アモイ旅行は生涯の旅行中で一番楽しかった」は案内人の私としては嬉しくもあり、悲しくもありました。

「出会いとは互いが変わること素通りしたのでは変わらない—平野修—」俵さんに出会えて本当に良かった。そして出会いの場となった同窓会に心より感謝します。



「台北のまち歩き—夢中になって食べる—」2011年2月

### 会報・HPに皆様の投稿と情報をお寄せください！

◎同窓会 HP では、同窓会からのお知らせや母校の情報をいち早くお届けしています。また、同窓生相互の情報交換の場として、クラス会や講座など催事の告知・報告についても随時更新、掲載しています。幹事の皆さんや広く告知をお考えの方は是非ご利用ください。【紫友同窓会で検索！】

◎会報では、常時、本欄「吾が校友の精神を」のページで自由な投稿を受け付けています。また、「クラブ OBOG 会報告」では、クラスや学年を超えた交流が復活しています。さらに、「同窓生訪問」インタビューに登場いただけそうな各方面で活躍する（ユニークな小石川生らしい）同窓生の情報を求めています。

◎投稿及びお問合せはお気軽に

【紫友同窓会事務局へ】

# 今、学校では

## 活動の中から見える 伝統の継承

化学科教諭 小原 洋平

今年度より、小石川中等教育学校に赴任してきました化学科の小原洋平です。約20年ぶりに母校に戻ってきて感じた「伝統の継承」についてお伝えしたいと思います。

まずは、小石川生の知的好奇心についてです。6月9日から2日間で実施された中等1年生の移動教室に同行してきました。これは毎年1年生で、学年の親睦、よりよい集団づくりを目的として行われている行事です。残念ながら天候に恵まれず、予定していた行事に変更がありましたが、1日目は河口湖にある富士山世界遺産センターやクニマス記念館、こうもり穴の見学、世界的に貴重な溶岩樹型洞穴を散策し、自然の恵みを体験するネイチャーガイドウォーク、オリジナルのバードコールやペーパーウエイト作りを行いました。2日目は酪農体験とバーベキューを行いました。乳しぼりやバター作り体験をするとともに、牧場主の方から命の尊さやこれからの世の中を生き抜くためのアドバイスも頂きました。急な予定の変更でも、顔に陰りを見せることなく、目を輝かせながら各展示を見学したり、一生懸命にメモを取る生徒の姿が印象的でした。



中等1年生 移動教育

切り替えて楽しむ心、この興味関心の広さは、昔から続く小石川生の良さであると改めて感じられる場面でした。これからも大切にして欲しいと思います。

次に「小石川の杜プロジェクト」です。「小石川の杜プロジェクト」とは、府立五中から数えて百周年を記念して2016年度より行われている活動です。紫友同窓会の方の主導のもと、同窓生、在校生、教員が毎年植樹を行い、次の100周年に向けて「小石川の杜」を作っていくという活動です。今年度は5月11日に実施され、同窓生、そして教職員として生徒と一緒に植樹をさせていただきました。約50名の生徒が参加し、ビワやヤマモモ、オリーブ、ナツミカンなどの果実のなる木を植えました。これからこれらの樹木は、暑い日も雨の日も、人の見えない所で根を深く伸ばし、小石川の歴史とともに1年ごとに太く太く成長していくことと思います。学校も同じだと思います。様々な歴史や出来事を刻みながら、伝統の年輪を積み重ねていきます。大切なのは、どんな時でもそれを見てくれる、支えてくれる人がいることだと思います。このように同窓生、在校生が協力して、小石川を見守る木々が増えていくことが楽しみです。

最後に「生徒自治」です。各委員会や部活動が生徒主体で運営されていく。まさに小石川の伝統であると改めて感じました。この4月から新入生オリエンテーション、小学生部活動見学会、結団式、光庭ライブ、体育祭予備大、生徒総会などの様々な行事が生徒の力で運営されていく様子を見てきました。時に上手くい



小石川の杜 植樹

# 今、学校では

かない場面もありましたが、生徒たちが自ら考え、話し合い、実行し、反省して、次の行事につなげる。この一連のサイクルができているからこそ、生徒自治が可能なのだと感じました。この生徒自治についても、委員会や部活動等の各組織で、先輩たちから代々伝えられていくから実行できることなのだと思います。これからは行事週間へと向かいます。自分たちも体験してきた行事が、どのように運営されていくのか期待が膨らんでいます。

このように、現在の小石川中等教育学校では、代々伝えられてきた伝統を継承しながら、生徒一人一人の個性が活かされる場面が多く見られます。



## 創立 100 周年記念式典

(於 文京シビックホール 平成30年11月17日)



俵一雄紫友同窓会会長の祝辞



生徒全員による「青空ジャンプ」合唱



記念品製作者、野老朝雄さん(040E)のスピーチ「つながる」



御厨貴先生(卒業生022H)のご講演(ビデオ放映)



伊藤博子様より長七先生のエピソードのご紹介



会場ロビーでの研究成果を展示発表

# 今、学校では

## PTA 行事報告

平成 30 年度 PTA 会長 石井 利明

平成 30 年度の小石川 PTA は、長きにわたり小石川 PTA にご尽力されてきた鴨田利康前会長からの「無理せず、楽しく」の精神とともに、私に引き継がれました。いろいろな方々の協力をいただいて行ってきたこの 1 年間の PTA 活動について、ご報告いたします。

### 1. PTA 懇親会

6 月 7 日（木）18 時から、文京グリーンコートのカフェテリアにて実施。保護者に加え、梅原章司校長先生をはじめとする先生方など 100 名近くの方々が参加されました。例年 5 年生保護者によるクイズ大会で会場は大いに盛り上がり、最高学年の 6 年生学年主任の先生の挨拶のあとには、森 PTA 副会長がお世話になったお礼の言葉を述べ、感極まった 6 年生保護者が先生を取り囲んで涙と感動の場面がありました。今回も PTA 会員相互の親睦を大いに深めることができました。

### 2. 創立百周年寄付金贈呈式及び PTA 研修旅行

10 月 14 日（日）、恒例の研修旅行に出発前の早朝、初代校長・伊藤長七先生像の前にて財団法人紫友会小堤氏と紫友同窓会会長に対し、PTA から寄付金贈呈の目録を送らせていただきました。その後、借り上げバスにより「秋の諏訪散策」と題し、日帰りで行ってまいりました。

PTA 会員と紫友同窓会会員の総勢 40 名は、秋晴れの好天に恵まれ諏訪へ向かいました。車中で伊藤長七研究部会長・紫友同窓会会長の依一雄氏から講義を受け、バスは最初の目的地である伊藤長七先生頌徳公園に到着しました。公園の高台を登り長七先生の石碑前にて、それぞれが記念写真を撮りました。

そこからバスは諏訪大社上社本宮に向かいました。我国最古の神社の一つとして、信濃國の国造りののち



小石川創立百周年寄付金贈呈式

国土の守護神としてこの地にお鎮りになり、信濃國一之宮として皇室武門および一般の信仰が厚い、全国一万有余の諏訪神社の総本社を参拝しました。

お昼の腹ごしらえはそば処八洲にて「天そば」を堪能し、それから上諏訪駅に移動し、地元ガイド付きの下記の観光ウォーキングに参加しました。弾丸ツアーでしたが、会員相互の親交も一段と深まり、とても有意義な 1 日を過ごすことができました。

#### (ウォーキング立寄地)

- ・丸高蔵：1916 大正 5 年創業、信州一味噌発祥の蔵を見学。
- ・諏訪の浮城：伊藤長七先生が毎晩、高歌放吟したという場所である高島城を巡りました。
- ・八剱神社：やつるぎじんじゃ、社の神事として、御渡神事（みわたりしんじ）が有名なところ。
- ・酒蔵通り：甲州街道沿いわずか 500m の間に 5 蔵「舞姫」「麗人」「本金」「横笛」「真澄」での「試飲あるき」を楽しみました。

### 3. PTA 講演会

例年 PTA が独自で開催しておりますが、昨年は学校の創立百周年記念式典の中で、政治史学者で本校卒業生である御厨貴氏をお招きすることから、共催することになりました。11 月 17 日（土）、会場の文京シビック大ホールで準備をしておりましたが、先生が急遽体調をくずされたため、病院からメッセージ動画を配信していただき、会場のスクリーンからご来賓、学校・同窓会関係者、生徒の皆さんと聴講しました。後輩の



研修旅行

生徒たちに日本を変えていく高い志を持つよう、熱いご指導をいただきました。

#### 4. 制服リサイクル

年が明けて2月16日(土)、前期生(123年生)の合唱発表会に合わせて制服リサイクル配布会を実施。これまでは先着順での入場としていましたが、開場前

の混乱を避け、公平に配布を行えるようにと、昨年から入場前に番号を書いたくじ引きを行い、番号順に入場。大きな混乱もなく、集まった制服のほとんどが来場された保護者の手に還元されました。制服を拠出していただいたPTA会員のみなさま、拠出された制服の回収をご協力いただいた学校の先生方、みなさまのお陰で今回も大成功で終わることができました。

以上が小石川PTA本部が主体となって行った平成30年度の主な行事となります。この他にも、各学年・各クラスのPTA会員が主体となって、講演会・親睦会・ワークショップなどのイベントを開催しています。自主自立をモットーとする小石川の精神が、小石川PTAにも良い意味で影響していることを常々感じつつ、今後もそれが引き継がれていくことを願っています。最後になりましたが、これらのPTA行事の計画・実施にあたり、紫友同窓会の方々からも多数のご支援・ご協力・ご参加をいただいています。この場を借りて心より厚くお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



### トラットリア・イタリア文京店

東京都文京区本駒込2-28-10 文京グリーンコート1F

JR駒込駅 徒歩8分 三田線千石駅A3出口 徒歩5分  
営業時間 11:30 ~ 22:30 / 150席(個室2) / 年中無休 / 駐車場あり  
yoyaku@kyoei-kikaku-group.co.jp



www.kyoei-kikaku-group.co.jp

### ♪才能あふれる期待の若手ピアニスト♪

## 桑原志織

*Kuwahara Shiori*

今年8月~9月 Busoni International piano Competition(イタリア) ファイナルラウンドへ、唯一の日本人として出場決定。  
Maria Canals('16スペイン)、Viotti('17イタリア)他  
名門国際音楽コンクールに連続上位入賞。  
昨年東京藝術大学ピアノ科を首席卒業。  
ベルリン芸術大学大学院2年在学中。



033E(担任:地学.土屋先生)桑原良子さん(旧姓:鈴木/軟テ部)のお嬢様です

★皆様の応援をお願い申し上げます!(033E有志)★

HP...<https://shiori-kuwahara-piano.jimdo.com/>

~出演予定~

- 12.14(土) 13時  
第一生命ホール リクルートスカラシップコンサート
- 「藝大レーベル Vol.2  
~未来の名手たち~ -Next Generation-  
桑原志織 プロコフィエフ ピアノソナタ第8番を収録  
iTunes、レコチョクで配信中

●平成30年度転出・退職者名簿、平成31年度転入者名簿（敬称略）

〈転出・退職者等〉

職名	教科	氏名	転出先
副校長		土方 賢作	小金井北高校
主任教諭	国語	越智 薫	退職（三田高校）
主任教諭	国語	永井 充	豊島高校
主任教諭	国語	葭田 智	総合芸術高校
主任教諭	数学	齋藤 隆徳	豊島高校
主幹教諭	理科（化学）	久保田 裕人	白鷗高校・附属中学校
教諭	理科（化学）	中野 進一	戸山高校
教諭	英語	笠島 喜与都	墨田川高校
教諭	英語	宮崎 友貴	第四商業高校
臨時的任用教員	体育	高橋 瑞穂	任用期間終了

〈転入者〉

職名	教科	氏名	転入元
副校長	主に後期課程	安藤 香織	教育庁人事部試験課
主任教諭	国語	松尾 晶子	浅草高校（定）
教諭	国語	伊藤 華子	晴海総合高校
教諭	国語	菅原 亜希	板橋高校
主任教諭	数学	森本 美紀	九段中等教育学校
主任教諭	理科（化学）	小原 洋平	江戸川区立松江第六中学校
主任教諭	英語	大塚 有紗	九段中等教育学校
主任教諭	英語	高杉 達也	九段中等教育学校
教諭	英語	矢野 絢奈	新規採用教員
非常勤教員	学校経営	稲葉 久男	城東高校
臨時的任用教員	英語	稲葉 侑紀子	5/13付

令和元年度  
行事週間のご案内

.....

芸能祭 9月10日(火)  
 体育祭 9月12日(木) 雨天翌日順延  
 創作展 9月15日(日) 16日(月・祝)

お手伝い・助っ人を募集しています

同窓会では、例年、創作展期間中に特別教室をお借りして「伊藤長七・小石川の杜」のパネル展示を行い、ご来場の皆さんに説明とPR活動を行っています。会場の準備（15日）・撤収（16日）などに人手が不足しています。活動を支える小さな力、自発のお気持ちで短時間でもお手伝いできる方を探しています。詳しくは同窓会事務局へお問い合わせください。

# 2019 Homecoming Day Party

年に一度、同窓生が母校に集う機会となることを願い、今年も創作展の開催期間に合わせて、ホームカミングデー・パーティー（同窓生の懇親会）を開催します。

お一人でも、クラスやクラブの仲間同士でも、母校の創作展の見学も兼ねて、ぜひ、お気軽にご参加ください。パーティーの最後には、皆で一緒に懐かしい小石川の校歌を歌いましょう！



日時：2019年9月15日(日) 15:00～17:00  
 場所：文京グリーンコート  
 イーストウイング2階「カフェテリア」  
 会費：3,000円（ご家族・同伴者は2,000円）  
 事前申し込み不要。  
 当日、会場に直接お越しください。



# 旧職員だより

## 「名門校・小石川」に感謝

現・小金井北高等学校 副校長 土方 賢作

平成14年4月に小石川高校に着任して以来、17年間にわたって小石川でお世話になりました。この間、小石川高校では058期生(C組)と062期生(A組)の学級担任を担当し、3年間クラス替え無しという珍しい環境のもと、生徒とともに小石川での生活を十分満喫することができました。また、小石川中等教育学校への移行など、小石川100年の歴史の中でも大きな変革期を経験することができ、さらに、創立100周年記念事業にも関わることができました。東京都の教員になって30年のうち、17年を過ごした小石川は、私にとって第二の母校のような存在です。



小石川を離れ強く感じることは、何ととっても「立志」「開拓」「創作」の校是に至る所に浸透している「名門校」だということです。「名門校」といえば、私は、副校長として平成27年度の着任式で、生徒に向けて次のような話をしました。

「今日は最近読んだ1冊の本についてお話しします。それは、おたまさとしさんという方の『名門校とは何か?～人生を変える学舎の条件』という本です。みなさんは名門校と進学校の違い、わかりますか? おおたさんは、単に偏差値が高い、進学実績があるというのが進学校であり、名門校は、進学実績などだけでなく、その学校らしさや、素晴らしい教育活動があり、素晴らしい生徒が育っていく「何か」がある、と考えています。この本の中で、その「何か」を全国の名門校の教育実践から読み取ってこうとしているのです。

そこで、小石川は果たしてどちらかと考えました。少し悩みましたが、「ああ、小石川はやはり名門校だ」と思いました。単なる進学実績だけではない「何か」が小石川にはあると確信しています。あと3年後、小石川は創立100周年を迎えますが、その歴史の中で、小石川らしさ、素晴らしい「何か」をしっかり受け継いでいかなければならないな、と思っています。」

「名門校・小石川」に身を置くことができたこと、そして生徒及び教職員の方々、さらに紫友同窓会の皆様のおかげで、17年間勤めることができたことに、あらためて感謝申し上げます。これからは、小石川の一応援者として、小石川の益々の発展を見つめ続けていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

## お礼の言葉

土方先生!「転校」されてしまうのですね、本当に残念です。文科省からのSSH指定や中等一貫への移行、百周年…小石川「平成の大変革」時代を、栗原卯田子元校長や歴代校長と一緒に乗り越えて下さったこと、心から感謝申し上げます。特に紫友百周年事業で、学校と同窓会が信頼感のある連携をとれたのは土方先生のおかげです。

毎月の百周年推進会議の後に、真っ暗な校舎に戻っていく先生を今でも覚えています。先生が担任されたクラスの菊地友夏さんには、100周年パーティでエレクトーンの演奏と「青空ジャンプ」の編曲をして頂きました。先生から校是を教わった卒業生が社会で活躍し、同窓会活動に参加してくれる日を楽しみに待っています。

長い間ありがとうございました。

会長 戸叶 司武郎



## 小林国際クリニック

診療科目

022C 小林紫英

外科、消化器科、小児科

休診日

水曜日、日曜日、祭日

※英語、韓国語、タガログ語、スペイン語、タイ語で対応可能です。

神奈川県大和市西鶴間 3-5-6-110

☎046-263-1380

小田急江ノ島線「鶴間」より徒歩5分

●平成31年度(2019年度)大学入試合格者数(現浪合計/現役)

(5月1日段階)

国公立大学	現浪	現役
北海道	2	1
旭川医科	1	1
帯広畜産	1	1
東北	1	1
群馬	1	1
筑波	5	3
埼玉	1	1
千葉	7	4
お茶の水女子	2	2
電気通信	2	2
東京	16	15
東京医科歯科	2	2
東京外国語	3	3
東京学芸	2	2
東京藝術	2	1
東京工業	8	7
東京農工	4	4
一橋	5	4
横浜国立	4	3
京都	9	7
京都工芸繊維	1	1
大阪	1	1
広島	1	0
九州	1	1
宮崎	1	0
琉球	1	1
釧路公立	1	1
国際教養	1	1
首都大学東京	4	3
横浜市立	2	0
国公立大学合計	92	74

上記、国公立大学のうち、

医学部医学科	現浪	現役
旭川医科	1	1
筑波	2	1
千葉	1	0
東京	1	1
東京医科歯科	1	1
琉球	1	1
横浜市立	1	0

文部科学省所管外の大学校

大学校	現浪	現役
防衛大学校	1	1
航空保安大学校	2	0
水産大学校	1	0

私立大学	現浪	現役
青山学院	8	4
学習院	3	1
学習院女子	1	1
関東学院	2	0
北里	5	0
共立女子	1	1
杏林	6	4
慶應義塾	48	38
工学院	5	2
國學院	1	0
国際基督教	6	5
芝浦工業	8	7
順天堂	2	1
上智	10	6
昭和	3	1
昭和女子	2	1
昭和薬科	2	1
成蹊	4	2
成城	1	1
専修	1	1
大東文化	3	2
拓殖	3	1
多摩美術	1	1
中央	29	18
津田塾	6	5
帝京	3	2
東海	2	0
東京医科	2	0
東京音楽	1	0
東京家政	1	1
東京工科	1	1
東京慈恵会医科	1	0
東京女子	4	4
東京造形	4	4
東京電機	2	2
東京都市	5	4
東京農業	7	6
東京薬科	3	1
東京理科	49	42
東邦	5	4
東洋	12	9
獨協	1	0
日本	18	11
日本医科	2	0
日本女子	2	2
法政	10	9
星薬科	2	0

武蔵野美術	1	0
明治	59	42
明治学院	6	6
明治薬科	4	1
横浜美術	1	1
立教	26	21
立正	2	1
早稲田	82	72
同志社	1	0
立命館	3	0
大阪医科	1	0
関西	1	0
関西学院	4	0
立命館アジア太平洋	2	2
私立大学合計	491	352

上記、私立大学のうち

医学部医学科	現浪	現役
杏林	2	0
昭和	3	1
帝京	1	0
東海	1	0
東京医科	2	0
東京慈恵会医科	1	0
日本医科	2	0
大阪医科	1	0

海外大学	現浪	現役
Boston (米)	1	1
Georgetown (米)	1	1
Grinnell (米)	1	1
Lakeforest (米)	1	1
Lawrence (米)	1	1
Macalester (米)	1	1
Michigan State (米)	1	1
Vassar (米)	1	1
Wesleyan (米)	1	1
the Arts London Central saint Martins (英)	1	1
香港理工 (中)	1	0

生徒進路状況

国公立大学	私立大学	浪人	就職	その他
67	61	25	1	2

# 2019 年度評議委員会報告

5月25日(土)の午後1時から、小石川中等教育学校の1階多目的ホールで評議委員会が開催されました。

会長代行挨拶・学校長挨拶及び学校関係者紹介に引き続き、各部会及び百周年事業活動報告・決算監査報告・規約改定案並びに新組織案提案・基金局提案・予算案提案・役員公選結果報告並びに役員選任提案の各議題につき、報告・審議・承認が行われました。

当日の会議出席者は、評議委員・役員・学校関係者あわせて87名と盛況でした。また、会議終了後には、文京グリーンコートの「银杏」で32名の方にご参加いただき、恒例の懇親会を行いました。

日時：2019年5月25日(土) 13:00～15:55

場所：校内1階多目的ホール

議事内容：

## 1. 『2018年度各部会及び百周年事業活動報告』に対する質疑応答

### (1) 部会活動報告

①広報部会・広報分科会(022E 並木部会長)  
会報の発送数と未着の割合は？(021G 清田)  
⇒発送会員数21,000名、発送完了数15,000～16,000部(約25%が住所不明)

⑧総務部会・紫友財団分科会(代理：024H 清水事務局長)  
教育支援4,949千円の同窓会と財団の折半方法を確認したい  
⇒同窓会と財団で50%ずつ負担している

### (2) 百周年事業活動報告

②事業画委員会(025H 市原委員長)  
紫友スタジオの申込方法を知りたい(018C 長谷川)  
⇒HP上に記載のアドレスに申込メール送付後、事務局にてスケジュール調整する。  
実験期間なので、今年度まで使用料なし・時間制限なしにて利用出来る。

⑥環境企画委員会(017D 柴田委員長)  
樹木寄付に対する都の回答書「管理させていただきます」とはどのような意味なのか？(06G 寺門)  
⇒都側費用などを都が負担してくれると理解しているが確認していない  
⇒都側に具体的な内容を確認した方が良いのではないか？

クラスで植えたいとの希望があり集金済み。一本当たりの価格と、クラス単位で植樹に参加可能か？(019E 高橋)  
⇒寄付方法も含めて、今後検討していきたい。

## 2. 議案に対する審議及び承認結果

### 1号議案(決算報告、監査報告)

【特段の質疑なく承認されました】(内容は44頁に記載)

### 2号議案(規約改定案並びに新組織案提案)

伊藤長七研究部会はどこに所属になるのか？(023C 古山)  
⇒交流局にて継続する、紫友さろん部会等も交流局にて継続

準会員の位置付けは？(023C 古山)

⇒PTAの一部から要望があり、受け皿として作った

⇒PTAは特に準会員としなくても良いのではないかと

第二章会員・第五条で入会資格、第六条で入会手続きとなっているが、卒業生は全員入会するのではないのか？(07A 松岡)

⇒個人情報保護法により入会を強制できないため、本人の入会意思を確認する形式にした。

卒業時に入会承諾書を記入してもらっている、辞退者は毎年1～4名程度。

評議委員を3人以内複数にした理由、報告時期はいつでも良いのか？(07F 新川)

⇒中等教育になって1学年4クラスになったため。毎年クラス替えがあり、クラス帰属意識は弱まっている。

客員は会費を支払う義務がないので、会員ではないという扱いにすべきでは？ これまでは、客員と会員は別扱いであった。(06G 寺門)

⇒今後、教職員との連携が必要なので考え方を変更した。会員(正会員、準会員)及び客員としてはどうか？

⇒表現がスッキリしていれば構わないが、個人的にはどうかと思う。客員を会員と呼ぶかどうかどうかだけなら、これまでのままで良い。

評議委員会の定足数を定めていない理由は？(021?)

⇒これまでも定めていない(出席者が少ないので定めるのは現実的でない)

長七研究会が交流局に入ることは馴染まない、資料局ではないか？(015E 加藤)

⇒交流局の中で色々な活動を設ける意味で交流局にした。

### 《議長判断》

「会員と客員」、「伊藤長七研究部会の所属」については、継続して理事会で議論した上で結論を出し、次回評議委員会で報告することにして採決を取りたい。(025I 田辺議長)

⇒採決の結果：出席評議委員72名のうち、賛成が66名であった

【以上の質疑応答がなされたのち、旧規約第18条の「本会の規約は、評議委員会において出席者の3分の2以上の同意により、変更することができる」という規定により、議長判断の条件付きで承認されました】(内容はホームページに掲載)

### 3号議案(基金局提案)

百周年残金(42百万円)と目標額1億円の関係は？

⇒年間1千万円、10年で1億円の目標額とした。

⇒当初目標2億円に対して現実1億円だったので、一般会員が応じるか疑問

⇒その対策として「経営者交流会」を新設して企業から募りたい

⇒受入口は「教育支援」一本の方が良いのではないかと

⇒小石川の杜活動や交流局活動の財源も確保したい、一般口を「教育支援口」に名称変更することに関しては検討する

3号議案の主旨が分からない、わざわざ議案とする必要は無いのでは？(025F 小松原)

⇒百周年募金は一度区切りを付け、基金化して再出発するという意味。百周年基金を一般会計とは分けて、別会計(基金)として扱いたいという主旨である。

### 《議長判断》

評議委員会での議決は必要ないのではという意見もあったが、議長判断で採決

【以上の質疑応答がなされたのち、承認されました】(内容は9・10頁に記載)

### 4号議案(予算案提案)

【特段の質疑なく承認されました】(内容は44頁に記載)

### 5号議案(役員公選結果報告並びに役員選任)

ホームページ上で立候補者を掲載しているとのことであるが、ホームページにアクセスする手段がない人はどうするのか？

⇒今回はちょうど定員数と同じ立候補者数だったので、本評議委員会にて確認と承認をお願いしたい。

【以上の質疑応答がなされたのち、承認されました】

以上

## 紫友同窓会 役員一覧（敬称略） 2019/5/25

### 任期について

新任者・再任者 ⇒新規約第十六条と第十七条の規定に従い、2年/期（通算3期まで）とする。

留任者 ⇒現規約第14条2項の規定に従い、3年/期とする。（再任時は新規約に準拠）

### 参与について

新規約では「参与」の規定がなくなり、第十九条に新たに「副理事」の規定が設けられたので、別途、理事会で副理事の選任を行います。（主に「参与」の方が副理事に就任すると想定）

役員	評議委員	備考	理事	備考	任期
会長 027C 戸叶 司武郎		新任	理事 031D 清水 茂	○	再任（2期1年目）
副会長 022E 並木 隆	○	新任	理事 031G 関口 健勇	○	留任（2期3年目）
副会長 025I 岩瀬 恵子		留任（3期2年目）	理事 032I 富田 晴彦	○	留任（1期2年目）
副会長 028C 小堤 康史		新任	理事 035C 虫明 智恵子		新任
副会長 031H 尾名高 勝	○	留任（1期2年目）	理事 035D 河村 英敏	○	留任（1期2年目）
副会長 040G 中代 次郎	○	新任	理事 035G 安藤 眞規子		留任（1期2年目）
理事 017A 高井 俊成		留任（1期2年目）	理事 035G 松本 好史		新任
理事 017D 柴田 知彦	○	新任	理事 039J 久光 一誠		留任（2期3年目）
理事 018I 河井 興正	○	新任	理事 056C 梶田 真里		留任（2期3年目） （校内委員）
理事 019E 伊藤 正俊		新任	理事 064B 渡邊 和眞		留任（1期2年目）
理事 019E 高橋 俊一	○	再任（3期1年目）	監事 021G 鈴木 由美子		新任
理事 022D 杉渕 武	○	新任	監事 028E 伊藤 みどり		新任
理事 024H 清水 透		留任（3期3年目）	監事 029B 月田 陽子	○	留任（1期2年目）

### ○新任役員（理事）



理事 柴田 知彦



理事 河井 興正



理事 伊藤 正俊



理事 杉渕 武



理事 虫明 智恵子

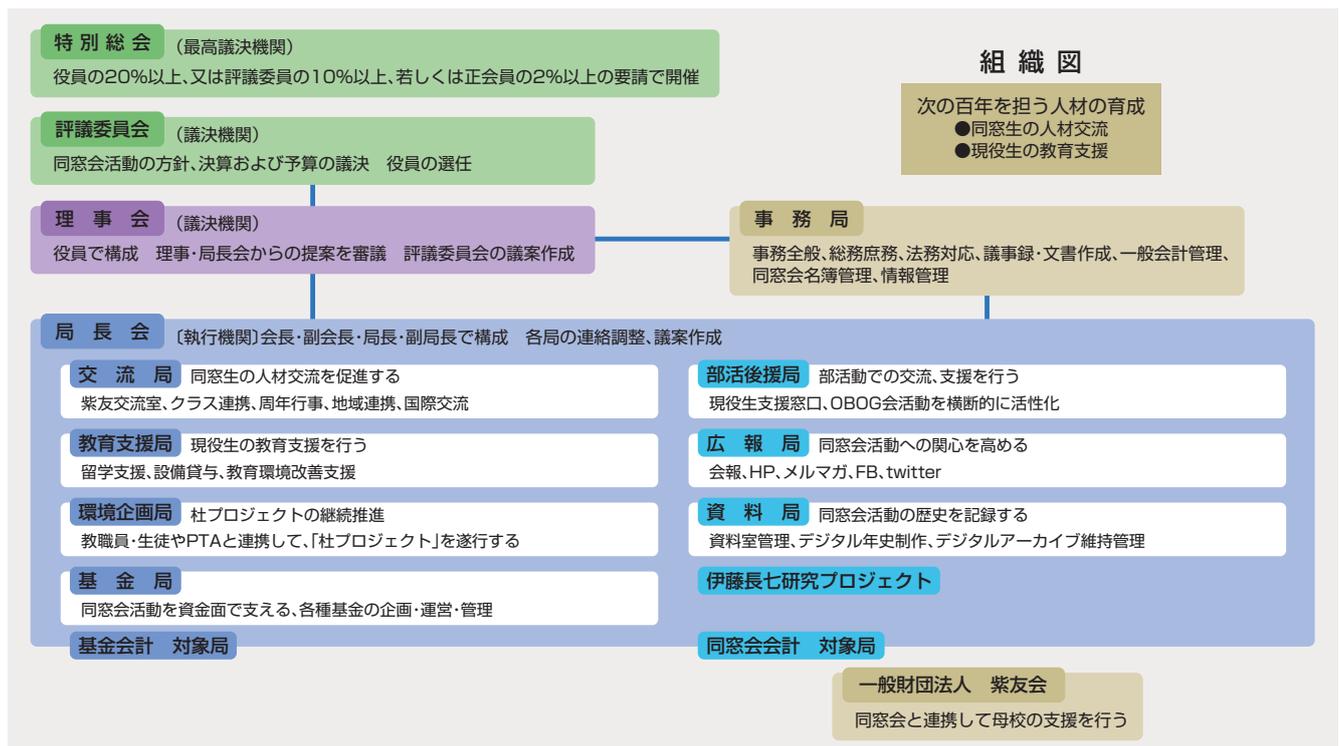


理事 松本 好史



理事 渡邊 和眞

## 紫友同窓会 新組織図



● 紫友同窓会平成 30 年度決算報告並びに監査報告

I. 平成 30 年度収支実績

I-1. 収支総括

	29 年実績	30 年予算①	30 年実績②	予算比②-①	備考
前期繰越金 (A)	26,020,419	26,438,007	26,438,007	0	
当年度収入計 (B)	9,309,952	9,211,000	6,998,982	- 2,212,018	
総収入合計 (C = A + B)	35,330,371	35,649,007	33,436,989	- 2,212,018	
当年度支出計 (D)	8,892,364	9,546,680	7,889,533	- 1,657,147	
次期繰越金 (E = C - D)	26,438,007	26,102,327	25,547,456	- 554,871	
当年度収支 (F = B - D)	417,588	- 335,680	- 890,551	- 554,871	

I-2. 収入

	29 年実績	30 年予算①	30 年実績②	予算比②-①	備考
i) 年会費	8,026,000	8,000,000	5,816,000	- 2,184,000	納入者 2908 名 (対象者約 19000 名)
ii) 入会金	924,000	900,000	906,000	6,000	第 8 回中等教育学校卒業生 151 名
iii) 利息	952	1,000	982	- 18	
iv) 寄付	94,000	50,000	31,000	- 19,000	
v) 広告料	265,000	260,000	245,000	- 15,000	会報掲載広告
当年度収入計 (B)	9,309,952	9,211,000	6,998,982	- 2,212,018	
前期繰越金 (A)	26,020,419	26,438,007	26,438,007	0	※ 2
総収入合計 (C = A + B)	35,330,371	35,649,007	33,436,989	- 2,212,018	

I-3. 支出

支出内訳	29 年実績	30 年予算①	30 年実績②	予算比②-①	備考
①会報部会	25,704	34,000	26,598	- 7,402	会議費・通信費他
②ホームページ部会	4,000	15,000	2,000	- 13,000	会議費
③紫友さん部会	20,441	30,000	6,200	- 23,800	通信費・印刷費他
④ネットワーク部会	28,900	60,000	32,600	- 27,400	旅費交通費
⑤周年行事部会	0	0	0	0	
⑥校歌祭部会	28,317	40,000	16,822	- 23,168	参加現役生徒交通費/食事代
⑦長七研究会	53,500	60,000	4,951	- 55,049	参考資料購入、発送費等
⑧総務部会	16,900	30,000	10,134	- 19,866	
・総務部会 (12,600)	(30,000)	(0)	(0)	0	
・紫友財団分科会 (4,300)	(0)	(0)	(0)	0	
・セミナー分科会 (0)	(0)	(0)	(0)	0	
・アークイブ分科会 (0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
小計 (d1)	177,762	269,000	99,315	- 169,685	
(1) 会報作成	1,825,200	1,861,200	93,600	会報印刷代	
(2) 名簿システム	533,304	560,000	561,366	1,366	名簿システム及び保守費用
(3) 不明者一覧印刷	0	151,200	0	- 151,200	不明者一覧印刷代
(4) 紫友セミナー	0	0	0	0	
(5) 校歌祭分担保	60,000	60,000	60,000	0	東京校歌祭分担保
(6) 卒業記念品	139,500	150,000	150,100	100	個人名印刷
(7) ホームカミングデー	- 4,600	20,000	29,750	9,750	HCD 費用、徴収会費超過額
(8) 春の芸能祭	51,200	76,000	26,750	- 49,250	会場費、設備費他
(9) IT 関係	38,482	40,000	23,431	- 16,569	サーバー使用料、プロバイダー
(10) 東洋文庫会費	100,000	100,000	100,000	0	
(11) 周年創立	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	百年周年行事委員会
(12) 歓迎会・交流会	0	300,000	0	- 300,000	新人会員歓迎会、社会人交流会
小計 (d2)	3,743,086	4,318,400	3,906,197	- 412,203	
1. 人件費	1,515,904	1,500,000	1,134,338	- 365,662	同窓会事務局 2 名分
2. 消耗品備品費	1,160,508	970,120	1,040,758	70,638	会報発送封筒、振替用紙作成、事務用品他
3. 光熱費	27,981	40,000	29,063	- 10,937	事務局電気料金
4. 郵送料	1,679,822	1,354,160	1,219,783	- 134,377	会報封入発送、他
5. 電話代	71,344	70,000	67,305	- 2,695	事務局電話料金
6. 振込手数料	418,503	450,000	287,382	- 162,618	会費郵便振替手数料、自動引落取扱手数料他
7. 会議費	37,054	40,000	62,131	22,131	評議委員会関連経費他
8. 慶弔費	0	20,000	36,061	16,061	供花
9. 交通費	0	5,000	0	- 5,000	
10. 雑費	6,900	10,000	7,200	- 2,800	印紙、合鍵、卒業アルバム
小計 (d3)	4,918,016	4,459,280	3,884,021	- 575,259	
予備費 (d4)	53,500	500,000	0	- 500,000	
当年度支出合計 (D = d1 + d2 + d3 + d4)	8,892,364	9,546,680	7,889,533	- 1,657,147	
次期繰越金 (E = C - D)	26,438,007	26,102,327	25,547,456	- 554,871	※ 4
総収入合計 (C = D + E)	35,330,371	35,649,007	33,436,989	- 2,212,018	
当年度収支 (F = E - A)	417,588	- 335,680	- 890,551	- 554,871	※ 3

II. 平成 30 年度貸借対照表

科目	金額	備考	科目	金額	備考
資産の部			負債・正味資産の部		
流動資産			流動負債		
現金預金	59,752,584		百年周年寄付預り金	34,205,128	百年周年寄付未精算額
			正味資産		
			(前期正味資産)	(26,438,007)	※ 2
			(当期正味資産増加)	(- 890,551)	※ 3
			当期正味資産	25,547,456	※ 4
資産の部計	59,752,584	※ 1	負債・正味資産の部計	59,752,584	

当期正味資産 (次期繰越金) の内訳 (単位: 円)

内訳	金額
預金 みずほ銀行	18,934,544
内訳 (定期預金)	11,000,000
(普通預金)	189,567
(普通預金)	7,716,378
貯金 郵便貯金	328,599
内訳 (郵便貯金)	403,184,040
(郵便振替)	3,618,614
預貯金合計	37,199,426
資産合計 (次期繰越金)	59,752,584
資産合計 (次期繰越金)	59,752,584

(注) この他に、紫友スタジオ分敷金 322,224 円がある。

平成 30 年度会計の原簿及び諸証書類を照合した結果、正確に処理されていることを認めます。

平成 31 年 4 月 19 日

監事 倉林 俊 男 監事 小 堤 康 史  
監事 鈴木 由 美子 監事 伊 藤 み どり

以上の通り報告いたします。

平成 31 年 4 月 19 日

会長代行 市 原 昭

● 2019 年度 同窓会会計 予算 (案)

1. 総括

収入総額 (H30/4/1 ~ H31/3/31)	支出総額 (H30/4/1 ~ H31/3/31)	差引残高 (H30/4/1 ~ H31/3/31)
33,436,989	7,889,533	25,547,456

2. 収入

収入内訳	2019 予算案	H30 実績	H30 実績	予算比	備考 (H30 年度)
年会費	6,200,000	8,000,000	5,816,000	- 2,184,000	納入者 2908 名 (対象者約 19000 名)
入会金	900,000	900,000	906,000	6,000	第 8 回中等教育学校卒業生 151 名
利息	1,000	1,000	982	- 18	
寄付 (百年周年基金以外)	0	50,000	31,000	- 19,000	百年周年基金は百年周年事業特別会計に計上
広告料	260,000	260,000	245,000	- 15,000	会報掲載広告
当年度収入計 (A)	7,361,000	9,211,000	6,998,982	- 2,212,018	
前期繰越金 (B)	25,547,456	26,438,007	26,438,007	0	
収入総計 (A + B) = C	32,908,456	35,649,007	33,436,989	- 2,212,018	

3. 支出

支出内訳	2019 予算案	H30 実績	H30 実績	予算比	備考 (H30 年度)
交流会 (基金会計)		30,000	6,200	- 23,800	③紫友さん部会
部活後援局	15,000	60,000	32,600	- 27,400	④ネットワーク部会
広報局	38,000	34,000	26,598	- 7,402	①会報部会
資料局	8,000	15,000	2,000	- 13,000	②HP 部会
特別委員会 (基金会計)	0	0	0	0	⑤周年行事部会
該当局なし (退会)	20,000	40,000	16,822	- 23,168	⑥校歌祭部会
事務局	20,000	30,000	10,134	- 19,866	⑧総務部会
小計	81,000	269,000	99,315	- 169,685	
交流会 (基金会計)		0	0	0	(4)紫友セミナー
部活後援局	0	20,000	29,750	9,750	(7)ホームカミングデー
広報局	1,845,200	1,861,200	1,954,800	93,600	(1)会報作成
資料局	30,000	151,200	0	- 151,200	(3)不明者一覧印刷
特別委員会 (基金会計)	0	1,000,000	1,000,000	0	(11)周年創立
該当局なし (退会)	60,000	60,000	60,000	0	(5)校歌祭分担保
該当局なし (中止)	570,000	560,000	561,366	1,366	(8)春の芸能祭
事務局	15,000	150,000	150,100	100	(6)卒業記念品
小計	2,825,200	4,318,400	3,906,197	- 412,203	
事務局	200,000	100,000	100,000	0	(10)東洋文庫会費 → 学校分追加 (財団と折半負担)
1. 人件費	1,200,000	1,500,000	1,134,338	- 365,662	事務局員報酬 (常駐 2 名、非常駐 2 名)
2. 消耗品備品費	1,055,000	970,120	1,040,758	70,638	会報宛名印字、不明者一覧印刷、封入袋 (広報局: 57,900 円、P.C、W.L.A.N、コピー機関連、プリンタ関連 (事務局: 47,600 円))
3. 光熱費	30,000	40,000	29,063	- 10,937	事務局電気料金
4. 郵送料	1,409,360	1,354,160	1,219,783	- 134,377	会報発送・封入セット (広報局: 133,900 円) 委員会案内状発送、切手、他 (事務局: 7 万)
5. 電話代	70,000	70,000	67,305	- 2,695	事務局電話料金
6. 振込手数料	300,000	450,000	287,382	- 162,618	郵便振替、銀行振込、自動引落手数料他 (事務局)
7. 会議費	60,000	40,000	62,131	22,131	評議委員会懇親会費用補填、茶菓等 (事務局)
8. 慶弔費	30,000	20,000	36,061	16,061	弔電、供花 (事務局)
9. 交通費	5,000	5,000	0	- 5,000	事務局員交通費
10. 雑費	10,000	10,000	7,200	- 2,800	印紙代、卒業アルバム、合鍵等 (事務局)
小計	4,169,360	4,459,280	3,884,021	- 575,259	
予備費 (百年周年除く)	500,000	500,000	0	- 500,000	PTA 研修旅行補助など (事務局)
当年度支出合計 (D)	7,575,560	9,546,680	7,889,533	- 1,657,147	
次期繰越金 (C - D) = E	25,332,896	26,102,327	25,547,456	- 554,871	
再計 (D + E)	32,908,456	35,649,007	33,436,989	- 2,212,018	
当年度収支 (A - D)	- 214,560	- 335,680	- 890,551	- 554,871	

● 2019 年度 基金会計 予算 (案)

1. 収入

収入内訳	2019 予算案	百周年事業累計実績	備考
寄付金	6,000,000	101,351,677	交流基金 100 万、教育支援基金 400 万、小石川の杜基金 100 万
利息	160,000	158,117	
当年度収入計 (A)	6,160,000	101,509,794	
前期繰越金 (B)	49,507,026	49,507,026	期初基金 (交流局 1,265 万、教育支援局 2,325 万、環境企画局 211 万、基金局 211 万、特別委員会 725 万、事業管理 211 万)
30 年度繰越金	49,137,713	49,137,713	
特別会計残	369,313	369,313	長七フォーラム 258,572 円、100 周年行事委員会 110,741 円
収入総計 (A + B) = C	55,667,026		

2. 支出

支出内訳	2019 予算案	百周年事業累計実績	備考
①交流会	436,000	2,525,750	旧百年周年事業企画委員会 (交流室)
②教育支援局	40,000	42,644	旧百年周年事業企画委員会 (教育支援)
③環境企画局	160,000	35,967	旧百年周年環境企画委員会 (小石川の杜プロジェクト)
④基金局	35,000	5,124	旧百年周年基金委員会
⑤特別委員会 (百年史残作業)	19,000	127,716	旧百年史編纂委員会 (学校正史・みん百部会残作業)
小計	690,000	2,737,201	
①交流会	2,766,000	2,318,401	旧百年周年事業企画委員会 (交流室)
②教育支援局	7,030,000	8,685,785	旧百年周年事業企画委員会 (教育支援)
③環境企画局	430,000	2,167,215	旧百年周年環境企画委員会
④基金局	120,000	4,491,150	旧百年周年基金委員会
⑤特別委員会 (百年史残作業)	6,700,000	16,175,780	旧百年史編纂委員会 (学校正史・みん百部会残作業)
小計	17,046,000	34,378,331	
1. 人件費	1,372,000	819,260	事務局員 1 人 (常勤 70 万)、交流会 (紫友スタジオ) 管理人 67,200 円
2. OPP 封筒代	45,080	939,067	学校正史 (1,600 部: 1.5 万)、みん百 (1,600 部: 1.5 万)
3. 宛名台紙作成・印刷費	206,726		学校正史 (1,600 部: 5.4 万)、みん百 (1,600 部: 5.4 万)
4. 封入作業費	89,460		学校正史 (1,600 部: 4.3

# 部会報告

各部会の2018年度活動実績、2019年度計画を掲載します。詳細はホームページをご参照ください。

## 広報部会

2018年度広報部会長：岩瀬恵子 (025I)

会報担当グループ：並木 隆 (022E)

ホームページ担当グループ：高橋俊一 (019E)

### ○会報担当

会報46号「五中小石川創立百周年記念号」の発行 (印刷20,000部)

特集記事等の増により従来より8ページ増の72ページで刊行。

(内容)「特集：百周年に向けてジャンプ」

(各事業の進捗説明、募金の呼びかけ、寄付者の登載等)

(事業全体の趣旨と方向性、事業計画をわかりやすく伝える。)

(百周年に寄せるメッセージ —募金呼び掛け人の皆様より—)

- ・先生お元気ですか 海東達也先生 (地理・現代社会)
- ・同窓生訪問 ①丸山茂雄さん (012D) ②岩田規久男さん (013C)
- ③河野治彦さん (029A)

・わが校友の精神を ①二人の先生への思慕 (他3稿)

・今、学校で (学校行事とPTA活動報告) ・旧職員だより

・評議委員会報告 ・同窓会事業報告 ・クラス会報告 ・クラブOB会等

### ■ホームページ担当

URL : <http://www.shiyu-dosokai.sakura.ne.jp/index.html>



## 紫友さろん部会

2018年度紫友さろん部会長：市原 昭 (025H)

### (昨年度の活動)

(1) 定例会

2018年6月16日(土)、9月16日(日)、12月15日(土)、2019年3月16日(土)、紫友会館にて定例の俳句の会を開催しました。

これまでの活動記録や俳句の会の記録は紫友同窓会公式ホームページのアーカイブ、紫友さろん部会から、参照できます。

### (今年度の計画)

(1) 定例会

今後は、交流局の活動として引き継がれます。

2019年6月15日(土)、9月15日(日)(創作展)、12月21日(土)、2020年3月21日(土)、紫友会館にて開催予定です。

俳句の会では四季の句を三句持ち寄り選句をします。

次回は2019年6月15日(土)午前11時からです。

夏の句を三句作ってお出でください。

## ネットワーク部会

2018年度ネットワーク部会長：市原 昭 (025H)

### (昨年度の活動)

(1) 調査活動

過去の調査から、クラス以外の活動を中心に地域、業界、会社別、クラブOB会等、把握できる範囲で、過去活動していた団体は35団体程度見受けられました。

そのうちいくつかは現状も活動されています。その後、新たな情報連絡は特にありませんでした。

(2) 親睦連携活動

例年、現在活動している近畿紫友会と親睦連携活動を実施しています。

昨年度は、2018年11月18日(日)に京都で開催され、本部役員として市原が出席し交流を深めました。

その他、校歌祭活動を通じて他校同窓会と親睦を深め、情報交換に努めました。

(3) ホームページリンク

クラブOB会、クラスなど別にホームページを立ち上げている組織があります。

紫友同窓会ホームページに一部のクラス、クラブがリンクされています。

### (今年度の計画)

今後は、交流局の活動として引き継がれます。

(1) 調査活動

引き続き、各団体の現状の活動状況を調査したいと思います。皆様の情報も期待しています。

「こんな活動をしている」、「連絡先を知っている」等

何か情報がありましたら事務局へご連絡下さい。

(2) 親睦連携活動

近畿紫友会との親睦連携活動を継続したいと思います。秋に開催予定されている近畿紫友会の定例会に本部役員への派遣、親睦連携を予定しています。

## 校歌祭部会

2018年度校歌祭部会長：市原 昭 (025H)

### 〈昨年度の活動〉

東京校歌祭は、1993年に第1回が日比谷公会堂で開催され、以降毎年、ほぼ日比谷公会堂で開催継続されてきました。

2018年度は、第26回東京校歌祭となります。

今回は、11月3日(土)の12時半から、杉並公会堂で開催されました。

新規参加2校を加え全体で20校、各校の校歌などを披露しました。

小石川は、現役生徒も加わり20名以上参加しました。

実行委員として、市原昭(025H)、田辺不二夫(025I)、久光一誠(039J)が、参加しました。

### 〈今年度の計画〉

2018年度の第26回東京校歌祭をもって、小石川は東京校歌祭から退会しました。

出席者の減少、担当者の継続困難などが理由です。

2018年12月の理事会で承認されています。

長い間ご参加いただきありがとうございました。

## 伊藤長七研究部会報告

部会長：古山 光久 (023C)

百周年事業の内、伊藤長七の教育思想を研究・情報発信するため、以下の活動を行いました。

### 1. PTA 伊藤長七日帰り研修に説明者として同行

平成30年10月14日(日)にPTA日帰り研修に参加し、伊藤長七ゆかりの地である頌徳公園や諏訪大社を訪問。バス車内や訪問先で伊藤長七について解説しました。PTA約45名が参加し、伊藤長七の教育思想について理解を深めて頂きました。

### 2. 第2回伊藤長七研究フォーラムの実施(47・48ページ参照)

本フォーラムは、本部会と諏訪清陵高校同窓生とで構成する実行委員会形式で運営。

平成31年3月16日(土)13:00より、東洋大学白山キャンパスにて「第2回伊藤長七研究フォーラム」を開催しました。竹村牧男学長(018)は故 依会長と同学年の関係から、東洋大学の高大連携事業の一環として、第8号館地下1階8B11教室の利用をご協力頂きました。当日は中等の2、3年生から80代の同窓生まで約200名の参加があり、伊藤ひろこ氏の朗読、琵琶歌の演奏、栗原卯田子元校長など4名のパネルディスカッションなど、充実した内容で、会場アンケートにも多数の方々から満足の評価を戴きました。

本フォーラムの資料は、新一年生のPTAに6月頃に配布する予定です。

### 〈今年度の実行計画〉

- ・PTA研修への同行は、今年度も実施する予定です。
- ・第2回研究フォーラム実行委員会は一旦終了しますが、伊藤長七研究は今後も継続し、様々な視点から長七の教育思想を研究していきます。

— 以上 —

## 一般財団法人紫友会の活動報告

2018年度総務部会：小堤康史 (028C)

一般財団法人紫友会は、学校支援における一括窓口となっています。

H30年度の支援内容は、下記の通りです。

### 1. 教育支援

- ① ロボカップジュニアジャパンオープン参加料、旅費助成 (H29年度支援分の精算額)  
201,460円
- ② ロボカップジュニア2018・モンテリオール世界大会参加旅費助成(4名)  
400,000円(10万円/人)
- ③ SSH海外研修・カーディフ理数系授業参加費用助成(10名)  
3,000,000円(30万円/人)
- ④ 100周年記念式典記念品助成(野老グッズの生徒配布分 1,500個)  
848,124円
- ⑤ グローバルサミット・アデレード参加旅費助成(5名)  
500,000円(10万円/人)

合計 4,949,584円(同窓会負担分は半額の2,474,792円)

### 2. 楽器支援

財団が一括購入し、財団資産として計上(生徒には貸出にて対応)。5年均等割りで減価償却を行う(減価償却費は同窓会負担)。

H30年度の、減価償却費同窓会負担額は下記の通り。

H28年度購入分(購入費 5,173,319円)	
	⇒ H30年度減価償却費 1,034,664円
H29年度購入分(購入費 3,812,184円)	
	⇒ H30年度減価償却費 762,437円
H30年度購入分(無し、2019年度に先送り)	
	合計 1,797,101円

### 3. 部活支援(楽器以外)

財団が一旦立替払いを行い、後で同窓会口座から財団口座に振込を行う。

H30年度の支援予定分については、2019年度に先送りとなりました。

# 千石中華

## ☎03-5976-1220

### 営業時間

平日 11:00~22:30 土日 11:00~22:00

〒113-0021 東京都文京区本駒込6-2-2

大和郷ビル1F

三田線千石駅A4口徒歩2分 JR巣鴨駅徒歩6分

## 春の紫友芸能祭

会報前号(46号)で既報のとおり、2018年5月26日(土)滝野川会館大ホールにて紫友同窓会主催の第5回「春の紫友芸能祭」が開催されました。参加総数は同窓生とPTA、元教員など約100名で、楽しい芸能祭となりました。

演目はクラシックあり、ジャズあり、PPM曲あり、フォークソングありと多彩な内容でした。定番のリトルストーンズはスタンダード曲を新しい編曲で披露しました。

また、影アナウンスにはミュージカル女優の王子菜摘子(052)さんが担当し、各演奏者のプロフィール紹介をしました。ご出演、ご来場の皆様、ありがとうございました。

今年以降は休止となりますので、ご了承下さい。



リトルストーンズの演奏

## 「第2回伊藤長七研究フォーラム」開催

第2回伊藤長七研究フォーラム実行委員会 実行委員長 古山光久(0230)

東洋大学の高大連携プログラム

### 第2回 伊藤長七研究フォーラム

平成31年3月16日(土) 13時~16時  
於：東洋大学 白山校舎 8B11 教室

#### — 本日のプログラム —

- |       |                       |                                                  |                                   |
|-------|-----------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 13:00 | 開会の辞<br>主催者挨拶<br>来賓祝辞 | 古山 光久<br>市原 昭<br>竹村 牧男                           | 寒水会 共同代表<br>紫友同窓会 会長代行<br>東洋大学 学長 |
| 13:15 | 基調報告                  | 『伊藤長七の教育思想と現代・寒水会の活動経過』<br>春山 明哲 (寒水会 共同代表)      |                                   |
| 13:45 | 朗 読                   | 『長七さんからの手紙~我が愛する生徒諸君へ~』<br>伊藤 ひろこ (劇団民芸 女優)      |                                   |
|       | 琵琶歌                   | 『嗚呼伊藤長七先生：木村岳風謹作』<br>藤下 隆水<br>(錦心流 琵琶全国一水会 常任理事) |                                   |

#### — 〈休 憩〉 —

- |       |                             |                                                                                                                                                    |  |
|-------|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 14:40 | パネルディスカッション<br>司 会<br>パネリスト | カッション「伊藤長七の教育思想と現代」<br>古山 光久 (寒水会 共同代表)<br>青山 侑 (後藤新平の会 代表幹事)<br>栗原 卯田子 (成城中学校 成城高等学校 校長)<br>森 健 (信州味噌株式会社 代表取締役)<br>守矢 早苗 (元小学校校長 神長官 守矢家 第78代当主) |  |
| 15:50 | 校歌披露                        | 小石川卒業生有志 清陵卒業生有志                                                                                                                                   |  |
| 15:55 | 閉会の辞                        | 小川 勝嗣 東京清陵会 元会長                                                                                                                                    |  |

総合司会：米山 勉男・川口由紀恵(寒水会)

平成31年3月16日(土)13:00より、東洋大学白山キャンパス第8号館地下1階8B11教室において、「第2回伊藤長七研究フォーラム」が開催されました。このフォーラムは、小石川百周年事業の一環として、東洋大学の協力の下、「東洋大学の高大連携プログラム」として実施されました。当日は天気にも恵まれ、中学生から80歳を超えるご高齢の方まで、約200名の方々の参加がありました。

開会に先立ち、司会の「開始にあたり、当寒水会代表を長年務めてまいりました俵一雄氏が1月9日に突然亡くなられました。この日のために心血を注いでこられてきましたので、大変残念なことでした。ここで、黙祷を捧げたいと存じます。」との発声で、会場の皆様と一緒に冥福をお祈りしました。寒水・伊藤長七研究会の運営は、紫友同窓会会長・伊藤長七研究部会長でもあった俵氏に負うところが多大でした。俵氏の当フォーラム開催への熱い思いを実現すべく研究会員は正に不眠不休で準備にあたり、多くの方々に助けられて無事開催に漕ぎつけることができました。



伊藤ひろこさんの朗読

続いて、開会の辞を古山光久（023）第2回伊藤長七研究フォーラム実行委員長、主催者挨拶を市原昭（015）紫友同窓会会長代行、来賓祝辞を竹村牧男（018）東洋大学学長より頂き、フォーラムがスタートしました。

プログラムは、基調報告『伊藤長七の教育思想と現代・寒水会の活動経過』、朗読『長七さんからの手紙～我が愛する生徒諸君へ～』、琵琶歌『嗚呼伊藤長七先生：木村岳風謹作』と続きました。休憩をはさみ、パネルディスカッション『伊藤長七の教育思想と現代』では、司会を古山光久（寒水会共同代表）が行い、パネリストとして、青山 侑（後藤新平の会 代表幹事）、栗原卯田子（成城中学校・成城高等学校校長）、森



琵琶歌の演奏

健（信州味噌株式会社 代表取締役）、守矢早苗（神長官守矢家第78代当主）を各氏お迎えして行われました。70分間の予定でスタートしましたが、時間不足だったことは否めずもう少し討論を深めたいという思いが残りました。校歌披露は、伊藤長七先生作詞の諏訪清陵と小石川の校歌を、諏訪清陵卒業生有志と小石川卒業生有志が交互に壇上に上がって、会場のそれぞれの関係者と声を合わせて高らかに歌い上げました。最後の閉会の辞は、小川勝嗣氏（東京清陵会元会長）よりいただき、盛会のうちに幕を閉じることができました。

参加者からのアンケートでは、39%の方が大満足、55%の方が満足との回答をいただきました。激変する現代においても、伊藤長七先生の教育思想「立志・開拓・創作」の精神は十分通用することを確信しました。これからも「伊藤長七先生の教育思想」について、寒水・伊藤長七研究会のメンバーを増やしつつ研究を深めていきたいと思っています。



基調報告(寒水会共同代表 春山明哲氏)



フォーラム関係者集合写真

おもてなしの街 巣鴨地藏通り

ミセスファッション サン・まつみや

ゴスペル&ポップスを英語で歌いませんか  
どなたも大歓迎

巣鴨で金曜日の夜、お問い合わせは 021G 松宮初枝 090-5516-9626  
会場：巣鴨地域文化創造館



# ❀ 同期会・クラス会 ❀

## 04回生のF組クラス会

「平成」から「令和」へ。ついに、元号が改元されました。我々、昭和一桁生まれ（昭和8年、9年生まれ）が、平成31年4月17日、半蔵門にある「ホテルグランドアーク半蔵門」で、平成最後のクラス会を催しました。相変わらずの元気者が顔を合わせました。

しかし、出席は一桁止まり、仕方ないことでしょうか残念でした。少人数ながら、賑やかな話題に時間を越え楽しいひと時を過ごしました。元気者の証拠でした。

母校も100年が過ぎスタート、時代も新元号となりスタート、私たちも、このクラス会が新しいスタートとなるよう来年再会を約束し、散会しました。（永田）



## 06卒業65周年記念06同期会

昭和29年（1954年）3月1日は私たちの卒業式の日だった。卒業満65周年に当たるこの日に同期会を開いた。場所は池袋、東京芸術劇場2Fのアル・テアトロというイタリアンの店だ。参加予定者は60名、当日来場者は来賓1名を除いて54名。欠席者のほとんどは前日までに不参の連絡があった。3年前の傘寿同期会の出席者は80名。その後の物故者は確認できただけで26名。前回ご出席の山崎昂一先生は「80歳を過ぎると3分の1ずつに分かれる」と仰った。「元気な者」「どこか具合が悪い者」「亡くなる者」に三分されると。前回の出席者がこれに当てはまるかどうか即断はできないし調べるつもりもないが、こう仰った山崎先生は先年亡くなられたと聞いた。会の冒頭、各位に黙祷を捧げた。

来賓は元校長（第20代）の栗原卯田子先生（現在は成城中学校・高等学校の校長）。小石川に着任されたときは小石川中等学校の生徒が三学年、高校が三学年在籍するタイミングだった。そして小石川高校の閉校にも第一期の中等教育生の卒業にも立ち会われた。そして「小石川に流れるインナーカルチャー（内なる文化・伝統）をいまでも強く意識している」と話された。うれしかった。みんな、酒が旨かったと思う。

現在の小石川の校長・梅原章司先生からの「よろしく」

という言葉添えて副校長の土方賢作先生から託された生徒の現況を伝える詳しい資料と学校のパンフレットを全員に配布した。（寺門克・記）



## 012E クラス会報告

日時：2018年6月16日（土）

会場：「丸八寿司」（巣鴨駅 南口 正面）

出席者：10名

終了後：母校訪問など 幹事：庄司興吉、前川英樹

昨年事情により開催できなかったのが、2年ぶりのクラス会でした。全員喜寿になったか、なる歳になりました。卒業時は52名の仲間でしたが、9名が逝去、7名は連絡が取れない状態です。

私たちのクラスは、定例のクラス会のほかに、各自が「卒業後何をしてきたか、何を考えてきたか」などを語り合う〈茶話会〉を年に4回程度開いています。毎回10名ほどが参加します。

これまでに、テレビ、電力、自営、銀行、Jazz、製鉄とスパコン、太陽光発電と工作教室、市民社会と社会学、新聞、百貨店と流通業、心理学、一族の歴史と会津藩、などの世界での経験を語り合ってきました。今後も教員、田舎暮らしの文筆業、などの話題が予定されています。

前川英樹



## 1964年卒016H組 クラス会報告

去る10月13日(土)に、1964年卒016H組のクラス会を開催しました。

昨年に続きのクラス会ですが、次第に現役組が少なくなっている為、毎年の開催が定着しそうです。会場は母校から歩いて5分も掛からないレストランにしました。参加者の何人かは母校に寄って来たようですが、残念ながら昔の面影はなかったようです。

参加者は12名で50名のクラスメートがいた事を考えると、若干寂しい思いがありました。以前は出席できない理由として、親の面倒を見る事が多かったのですが、時間の経過とともに、本人又は配偶者の健康問題が欠席理由として多く書かれるようになっていきます。

1年振りのから、久しぶりの再会まで色々でしたが、3年間一緒に学んだ仲なので、初めは互いの変化に驚いた面があっても、すぐに昔の顔を見つけて話が弾んでいました。

途中で各自から近況報告をしてもらい、また次回幹事も決め、最後に集合写真を撮って解散となりました。

次回も、お互い元気な姿で再会したいものです。

幹事 清水弘允



## 017Eクラス会報告

日時：2019年3月9日(土)

場所：『三菱養和会巣鴨スポーツセンター』(巣鴨)

昨年に卒業55周年を迎え、10年ぶりにクラス会が実施されましたが、その際に今後は毎年開催することが決定され、その一回目、卒業56周年のクラス会が3月9日に開催されました。今回は18名が出席しました。

昨年の春の叙勲で豊田 皓さんが旭日重光章を受章され、また谷岡(旧姓 久保)清子さんが瑞宝双光章を受章されるといううれしいニュースがありました。豊田さんはフジテレビで、また谷岡さんは裁判所の調停委員として、長年社会的な貢献をされてきたことが評価されたものです。我々級友としては心からお祝いするとともに、大きな誇りに感じています。



今回はお二人のお祝いを兼ねたクラス会となりました。学生時代の思い出話とともに、健康の話題で盛り上がりました。そろそろ健康寿命を迎える歳になり、体調不良で欠席する人も増えてきましたが、これからは健康に気を付けて来年の再会を誓い、散会しました。 幹事：吉田 亮

## 019Eクラス会

日時：2018年9月8日(土)

場所：『泰平飯店』(巣鴨駅前)

出席者数：22名

幹事：福井 亨、堀内(林) 儀子

クラス会は二年に一度開いています。70歳を迎え、正式には昨年でしたが古希の会としました。アメリカ在住の人も来日時期を調整して参加して、駅から近い中華料理屋でおいしい料理をたっぷり味わいながら話が花が咲きました。

100周年パーティーの案内をするつもりでしたが、すでに申し込みは締切となってしまいました。二次会にも、ほとんどの人が参加しました。正式運用はまだですが「紫友スタジオ」をお借りして、費用も掛からずに夕方まで過ごせました。

高橋俊一 記



## 022同期会 100周年祝賀パーティーの二次会

022同期会は、各クラス有志による自由参加の幹事会(会長: H 組塚田成四郎)をI組伊藤睦のお店、日比谷「むつ新」を拠点に定期的に行っています。日頃の話題の中で、100周年記念パーティーの申し込みが殺到している情報が各クラスに共有され、幹事学年以外では最多の49名が出席しました。

それでも申し込み時に定員に達して参加できなかった方の声もあり、急遽、同じ新宿西口のピアバー2階を会場とするクラス合同の二次会を開催しました。新たに駆けつけた方を含め、狭い会場には動く余地もない45名が参集、クラスを超えた交友が広がりました。(敬称略)

幹事：D 興津光一、E 並木隆・野中俊英、協力：G 大王洋子、I 渡邊伸廣



## 昭和46年卒業023B組のクラス会開催

11月10日(土)、北新宿のチャイニーズ・ダイニング・イケガメで023B組のクラス会が橋本先生をお招きして開催されました。今年は昭和43年に都立小石川高校に入学して満50年の記念の年という事で声を掛けたところ、級友49名の約1/3の16名が参加しました。

乾杯に続いて橋本先生にご挨拶を頂きました。高校時代の授業と変わらない口調に数学の授業を思い出して苦笑した人も多かったと思います。暫し歓談の後、参加者一人一人が近況を報告、残念ながら参加できなかった級友からのメールの中には遠くザンビアから届いたものもあります。和やかに会は進み、クライマックスは橋本先生の誕生日をお祝い。皆で『ハッピーバースデー』を合唱し、先生にケーキのロウソクの灯を吹き消して頂いた。最後は『また来年もお会いしましょう!』と皆で橋本先生をお見送り。あっという間の3時間でした。

幹事：鈴木庸・後藤康子



## 026Bゴン次クラス同窓会

昨年10月20日、新橋の老舗中華料理店「新橋亭新館」で5年ぶりのクラス会を開いた。平均年齢63歳。卒業後45年目にして、青森から四国まで各地に散らばった同窓生45人中25人が参集できたのも快挙ではあるまいか。

きっかけは昨年5月21日、クラス会幹事団の“要”だった春日(旧姓・山本)順子さんが、ほぼ2年間のガンとの闘病生活の末、亡くなったことだ。明朗快活なテニス女子で、クラス、学年を問わずマドンナ的存在だった。同級の友人らは最期まで彼女に寄り添い、励まし続けた。順子さんは残される家族を深く気遣いつつ、通夜・告別式で配る「会葬御礼」に、自らの思いを綴った。「病気になるのは不運でしたが、皆さんのおかげで不幸ではありませんでした」等々……。

クラス会をやるう、との声が上がったのは、お通夜の後の焼き鳥店での会話だった。026Bでは既に塩谷隆、山本諭、大西真弘君、そして担任のゴン次師を亡くしている。小石川で3年間に過ごした我々が集まるなら今しかあるまい、と。

当日、まずは「献杯」に始まり、故人を偲ぶと同時に、それぞれが近況を報告。45年の星霜は長いようで短い。介護や家族の不幸もあれば、様々な苦勞もある。そんな時、人生の“縁側”はありがたいもの。各人の来し方に耳を傾ける姿も、昔と今とは違う。歳を重ねるといってもいいものだな、としみじみ思うクラス会だった。

(文責・嶋沢裕志)



## 039Eクラス会報告

039期E組のクラス会は、平成最後の夏、7月15日(日)東京都豊島区、立教大学近くのイタリア料理レストラン Tante Grazie で行われました。

当日の参加者は20人。1クラスは45人でしたから、出席率約45%。高い出席率で、卒業後、30年あまりの時間を感じさせない「絆の強さ」を再確認しました。

準備は1月下旬から始まりました。何人かがLINEでつながり、高校卒業時の住所録を共有、連絡をとりあって友人の消息を探し、名簿を整備するところから初めて、もろもろの事を決めていきました。(SNSのすごさを再認識しました)

当日は、出会った瞬間に「あの時」にタイムスリップ。高校時代の「あんな話」「こんな話」で盛り上がりました。

悲しい報告(2人のクラスメイトがお亡くなりになっていった)もありました。故人のことも思いをはせながら、今後も039期E組の「つながり」を強くしていきたいと思えます。

藤井良晴 記



## 040 卒業30周年記念同窓会:2018

日時：2018年9月1日（土）

会場 一次会：レストランシップ「ヴァンテアン」（東京湾クルーズ）

二次会：マンディール（東京都港区芝浦）

高校卒業30周年を記念して同窓会を開きました。

会には、国内外から約180名が参加。船上パーティーとなった一次会では、恩師の近況報告をはじめ、同窓生のミュージシャンによるサンバ調の校歌斉唱。クラス別や、部活別で写真撮影などを行いました。

二次会の目玉は、「小石川クイズ大会」。当時、修学旅行で泊まった宿泊先の名前など、在学時代や、小石川高校にまつわるクイズを実施。大いに盛り上がりました。三次会、四次会と流れた有志も多く、この同窓会が縁で、同じ中学や部活で再会を誓い合う場面も数多く見られました。

同窓会のキャッチフレーズは「持つべきものは小石川」。この言葉を参加者それぞれが実感させられた、長い1日となりました。開催にあたっては、フェイスブックなどによ

る呼びかけに応じた各クラスの有志が、何度も打ち合わせを開催。半年以上かけて、周到な準備を進めました。

幹事 E 大津和夫 記



フランス在住のNAOKOがセレクトした、遊び心を忘れず、流行に左右されない、大人の女性の為のハンドメイドアクセサリー

# NaoCollection

歳を重ねるほどに自由に美しく

インスタグラム：

[HTTPS://WWW.INSTAGRAM.COM/PARIS\\_DESIGN\\_ART/](https://www.instagram.com/paris_design_art/)  
@PARIS\_DESIGN\_ART で検索！

オンラインショップ：  
[HTTPS://WWW.PARISDESIGNART.SHOP/](https://www.parisdesignart.shop/)



# クラブOB会



## 紫友心技会

(小石川高校体操部 OB 会)

### 1 昭和 50 年代の体操部

昭和 53 年に小石川高校に入学した私は、子どもの頃から鉄棒やマット運動が好きであったこともあり、迷うことなく体操部に入部しました。当時の部は、平行棒がなかったり、直接指導してくれる先生がいなかったりなど、必ずしも恵まれた環境ではありませんでした。しかし、先輩方は優しく和気藹々としていましたので、私たちは指導教本を熟読して部員同士で補助をしながら、技を習得していきました。恐怖心を克服して新しい技が完成した瞬間の喜びや、一つの技から発展系を見いだしたりする夢という体操の醍醐味は十分に満喫することができました。

### 2 小石川高校体操部 OB 会の創立

部員同士で助言しながら体操を知った私たちは強い信頼関係と結束力を持っていました。そのためか、私は昭和 56 年に卒業した時に虚無感に襲われたのです。そこで、3 年間にわたって体操で青春を謳歌した仲間と、今後も交流が続けばとの思いから OB 会を創立することにしました。同窓会名簿を使って、部長経験者から一学年ずつ上の部員を教えてもらうことを繰り返し、電話をしながら私の 10 年上の先輩までの名簿ができました。こうして立ち上がった、上下 2 学年以上の先輩や後輩とも交流の場を持った OB 会は、後に「紫友心技会」と命名されました。活動としては、OB が審判となって開催した現役部員の演技会（写真 1）や、合宿に参加しての技術指導などがありました。学生が大半であったこともあり、懇親会（写真 2）が主であったことは否めません。

### 3 昭和 30 年代の体操同好会

昨年、五中・小石川高校が 100 周年を迎えるにあたり、私は母校の歴史をひもときたくなり、「半世紀」や「この 10 年」、「立志・開拓・創作」、「小石川高校新聞縮刷版」を読みあさりました。



昭和 50 年代の体操部のジャージ

そして、昭和 31 年 11 月 1 日発行の学校新聞「創作」の中に次のような記事を発見しました。「体操同好会発足す。籠球や排球があるのだから、運動の基本となる徒手体操もあるべきだ。」と当時の 1 年生であった S.H. さん（011E）が高い志で発足させたというものです。衝撃的でした。私たちのかなり上の世代にも体操を愛して同好会活動をなされていた先輩方がいらっしやったのです。

### 4 新しい体操部 OB 会への移行へ

現在の紫友心技会は、幹部学年が子育て世代に入ってから、ほとんど活動を停止していましたが、私たちが少しずつ自分の時間が取れるようになってきました。そこで、中等教育学校体操部を支援したり、世代を超えた前述の体操を愛する諸先輩方との交流の場を作ったりするという高い理念のもと、新しい OB 会への移行を考えました。

去る 2 月 17 日、紫友スタジオで新 OB 会設立準備委員会を開き、暫定的役員の決定と事務局の立ち上げを行いました。

### 5 新 OB 会暫定役員（敬称略）と連絡先

会長・032D 須田一哉、副会長・未定、理事長・033A 鳥居敬一、副理事長・043I 野澤俊夫、理事数名・未定、事務局長・



写真 1 旧体育館で行われた現役部員の演技会



写真 2 OB 会懇親会 巢鴨駅の近くで 昭和 60 年頃

038D 松永（伊藤）久美子、事務局員・041H 光畑（西面）美佳、  
会計・042I 光武（伊藤）博美、事業および会計監査・036I 三  
澤（石田）みどり、賛助会員・033B 根本忠  
〈携帯電話番号〉080-7278-2941  
〈メールアドレス〉kotaisob2019@gmail.com  
〈パソコンのアドレス〉kotaisobu@ozzio.jp

以上、多数の体操部出身者からのご連絡をお待ちしています。  
新潟県体操協会副会長 同国体選手団チームドクター  
033B 根本 忠

## 野球部

### 「100周年記念の年に野球部OB会総会を開催」

野球部OB会組織はある時から実態が消えていましたが、野球部OB有志の集まりとして、S39卒(016)からS44卒(021)を中心に毎年OB親睦会を続けていて、現役野球部の都大会予選などにも応援に先輩諸氏が駆けつけてくれました。昨年の9月にはついに世代を超えた「野球部OB会総会」が実現しました。OB会がひとつにつながったのは画期的なことです。

小石川野球部の先輩の中には、東大進学後に当時の大洋ホエールズに入団して活躍した新治投手はいまや伝説となっています。また、長い歴史の中で何度か「強豪校の一つ」となっていた時代もありました。そして現役の野球部も昨年は関東大会に出るなどの黄金期を築きつつあるようです。現在、野球部の顧問を担当されている関裕幸先生にはご苦勞を掛けておりますが、改めて感謝申し上げます。

OB会総会は2018年9月22日、文京グリーンコート内のカフェテリアで30数名の参加で開催されました。はじめにOB会の会則を承認して、OB会組織の構成が提案されました。OB会総会では会長には最高年齢の70歳代から荒川富士男(016)、副会長には高井俊成(017)、安岡崇志(021)、大宮政男(026)、村田益男(031)、中代次郎(040)、会計に小池治徳(031)、事務局長に岡村幸二(021)が選出されました。

これまでOB同士のつながりは、すでに連絡網が整っている60、70歳代、少しずつ連絡がとれ始めた40、50歳代、そして連絡網がほとんどない20、30歳代と、事実上3つの年代層に分かれていました。OB会総会を機にOB会組織を再整備していくつもりです。

野球部OB会の運営で重視したいのは継続の力です。一度



途切れると回復するのは容易ではありません。社会人になって30代、40代までは、母校をふり返って現役野球部と交流をはかる時間ありませんが、OB会を通じて現役の活躍ぶりを応援するのも楽しいものです。今後、OB会活動に参加する卒業生が増えてくれば、「OB会誌」の制作なども視野に入れて、魅力ある野球部OB会をつくりあげていきたいです。  
(021A 岡村幸二)

## 柔道部

### 一柔道場の名札掛

昨年に引き続き、紫友同窓会の会報に4回目のクラブ紹介の機会を頂き、大変感謝しております。

本年度の会報のテーマは、昭和26年から現在までの70年間にわたる柔道部の活動の中で、この『名札掛』が道場に取り付くまでの経緯を簡単に説明し、皆様よりお納め頂いた年会費等で賄えた『名札掛』の柔道場への設置作業が終了したことを会員各位に報告し御礼を申し上げるものです。

きょうびでも、映画やテレビで、柔道場あるいは剣道場での場面となると、道場の壁面に、当代の師範をはじめ、有段者から初心者までの氏名を墨書した木札がズラリと掛けられている木製の額があり、世の中ではそれを『名札掛』と称しておりますが、当小石川の柔道場には、柔道部設立以来、この『名札掛』がありませんでした。平成の初期のころ、一度『名札掛』を掛けようという機運が沸き起こり、打ち合わせを何回か重ね、計画を練り、資金の工面に奔走をいたしました。諸般の事情により、計画を中断する状況となったそうです。

平成29年6月、この春に赴任された柔道部顧問の万田先生より、この『名札掛』を道場に取り付けて欲しいというご希望を聞き、同年9月、柔道部OB総会の席上、設置の方向で検討を進めることとなりました。同年11月に先生と面談した結果、その意図は『生徒たちに自分たちの道場には沢山の先輩がいて、平日頃より応援してもらっていることを普段から感じて欲しい。』というものでした。

以降、『名札掛』なるものの製作取付業者、木札の納入業者、木札に墨書する書家の先生探しとその計画立案を進め、平成18年3月の幹事会で、『名札掛』の製作取付計画が承認されました。製作取付業者については、県立浦和高校の柔道部OBの五十里光彦氏に紹介をいただいた、さいたま市に工房を構える『茜工房』をお願いし、同年7月4日の期末考査期間で



はありましたが、職人さん3名により無事柔道場に取り付けることができました。

木札の入手については、岐阜県飛騨市の山口木工所の山口正一会長ご夫妻から、木札の製作から墨書に係る貴重なアドバイスを、およびサンプルとして100枚の檜の正目板の木札を廉価でいただきました。一番、頭を悩ませたのが、木札に氏名を墨書する書家の先生探しでした。灯台下暗しとはよく言ったもので、自分の居住する牛久市で書の教室を開いている矢口久良先生に巡り合い、ボランティア料金での514名の氏名等の墨書の協力を頂くことができました。

イナグレーションは、柔道部OB総会の直前のOBとの合同稽古の際に、佐藤会長の手により除幕式が行われ、無事お披露目の式次第も終了しました。写真は、当日、稽古終了時撮影した写真です。(顧問等3名、OB16名、現役生徒7名での『名札掛』前での記念撮影)現在も、『名札掛』は道場で生徒たちの稽古を励まし見守っております。OB各位におかれましては、小石川近辺にお出かけの節には、道場にお立ち寄りいただき、ご高覧いただきたく切にお願い申し上げます。

最後に、紫友柔道会の活動も、若い年代の卒業生が少ないことから、古い世代の親睦会的な様相を呈してきております。柔道部OB・OGの皆様、紫友柔道会総会は、毎年9月の第一土曜日に、巣鴨駅周辺で開催しております。今後ともに、現役生徒への支援のためにも紫友柔道会の総会への出席、並びに年会費の納入等のご協力をお願いすることとし、四回目の寄稿の筆を収めさせていただきます。

紫友柔道会幹事長 並木 武 (20回G)

## 【Bブロック】

▷1回戦	38—31	
小石川高(東京)	21—11	甲府二高(山梨)
	17—20	
▷準々決勝	41—31	
川越商(埼玉)	12—18	小石川高(東京)
	29—13	



## 硬式庭球部

### われらはジブシー庭球部

こんにちは、みなさん。

小石川高校硬式庭球部同窓会 紫庭会の027C岡田敏と申します。

もう20年くらいになりますか、027を中心とした仲間たちと、小石川の中にあるコートでテニスをしたと話しておりました。

私たちは学校の中のテニスコートで正式に練習したことが無かったです。

私たちは同好会から部に昇格した年に入学しました。昭和47年のことです。

部長は025の巽さんで、発足3年目だったのではないのでしょうか。部活動の紹介が中庭でおこなわれ、ここで練習するのかと胸を膨らませたものでした。この年の入学者は、何の巡り合わせか、中学校時代に各区の軟式テニス大会で優勝した者や名をはせた者がたくさん集まった珍しい年だったので、いずれどちらのテニス部であっても好成績は挙げられたのかもしれませんが、練習環境には大きな違いがありました。それは、中庭のコートは軟式庭球部の専用ということで、新参者の硬式庭球部は、一切使用することはできなかったのです。そこで、私たちは、学区内にある公営のコートを中心に、ジブシーのように巡って練習していました。ボールをいれた籠を片手に、ラケットを担いで“ハワイ”から出発です。授業が終わってからの移動ですから、日の長い夏場でさえそうたくさんの練習はできませんでした。(当時は考えが至りませんでした。週に何回かのコートを確保してくれていた、マネージャー役を兼務していた女子部員の皆さんのご苦勞にお礼を申し上げます。)

## バスケットボール部

### 関東大会出場(昭和42年)の思い出

バスケットボール部は男子部は五中時代からありますが、女子は昭和30年代に設立され、当初は男子のOBが指導していましたが、昭和38年4月(1963年)体育科に東京教育大を卒業の新任教師として着任した熱田恵司先生が指導されるようになってベスト16位に入るまでに強くなりました。

高さ(身長)がなければ、との切実な思いから、新入生入学式当日には身長の高い人に入部を勧誘し続け、卒業後、実業団の第一勧業銀行で活躍した019D井上(白井)孝子、168cmの2本柱の020B有泉(奥沢)寿美江、020G並木(小名)りつ子が入ったことで、遂にベスト8入りを果たし、昭和42年(1967年)6月の関東大会Bブロックに出場し、一回戦、開催県山梨の甲府第二高校に勝利しました。初出場で皆何もわからず、勝つとも思っていなかったので急遽宿探しに奔走したことが強く印象に残っています。

男女とも夏合宿にはOB、OGが多数参加していました。ある時期に参加ができなくなって縁が切れていましたが、体育科の千葉芳弘先生のご尽力により現在は富田晴彦会長を得、五中から男女とも一緒に一本に繋がっております。

(018 長谷川(村上)美恵子)



夏合宿



028 卒業記念

そんな状況に飽き足らなかった後の部長の大森君は、2年生になったころ、私たちを扇動し、メンバーシップのクラブに学生会員として入会して、土、日曜日や長い休みに練習をすることにしたのです。鬼の大森君を筆頭にスーパースター上田君、諏訪間君、私の4名でした。メンバーシップといえはお嬢様とお友達になれるかもしれないと考えていた私達の、ふわふわとした気持ちは大森君によってあっさりとしてさらわれ、叱声が響く夏休みのコートに、何とかしてサボりたい私は言い訳を考えるのに苦慮しました、...

そんな努力が実り、2年の夏には上田君と大森君が大活躍した結果、男子団体都立対抗戦優勝、2年秋の東京都大会ダブルスでは上田/大森組3位、3年春の東京都大会個人戦ではダブルスで上田君が東京都3位、という、それまでの都立にはなかった快挙をもたらすことができました。

当然?のこのように、4人ともその年の大学入試には惨敗しました。028の中野君、山田君、中澤君は浪人していた私の元に温かいエールをくれるためか、私が不在のときでも家の応接間に自分の彼女を連れてきて、寛いでいてくれるような、優しい仲間でした、...

029の諸君は私の妹が同じ029のテニス部だったので、やはり仲良く大学生活を送りました。どこからか転がり込んできたテニスコーチのアルバイトを中野君や中澤君、松澤君と一緒にしたのは楽しい思い出です。

そんなことで、小石川の校内でテニスをすることに執念めいたものを持っていたのです。建て替えをした“小石川高校”に、同窓会を立ち上げるので、コートを貸してほしいと何度も交渉に行ったのですが、教員の立会いが必要であるとか、いろいろな理由を挙げられ、取り合ってはもらえませんでした。

2年前に若い方々が幹事になってくれて、銀座で同窓会立ち上げの会が開かれました。現在は、都立学校一般開放というシステムで、一般スポーツ団体として紫庭会を登録、申し込みの上利用

しています。(おそらく学校の事務局にも理解頂いているような気がします。ととてもありがたいことです。)

硬式テニス部のOB、OGの皆さん、また、在学中はテニス部ではなかったけれど今はテニスに夢中の皆さん、是非一緒にテニスをしましょう。

もう身体が、...とおっしゃる方は二次会のお酒はいかがでしょう。総幹事の山田さんが探してくれるお店は楽しいですよ。ご連絡は同窓会を通じていただきたいと思います。

## 軽音楽研究会 022 Little Stones 軽音研同期会

3月10日(日)13:00~17:00 母校真ん前の紫友スタジオに軽音研 Little Stones の022同期メンバーが集まり、49年振りにセッションを行いました。

一昨年の入学50周年記念の学年全体の同期会での再会以来連絡を取り合い、メーリングリストを作成したりして何度も集まりました。そんな中で022メンバーの天野君が1968年の芸能祭の演奏テープをデジタル化し、鈴木君、渡邊の協力でCD化して全員に配布しました。それを聴いていたら17歳当時の記憶が蘇り、居てもたってもいられなくなり、また皆で演奏して見たいと言う気持ちが強くなり、天野君が言い出しっぺになりこの日の懇親+セッションの会を迎える事ができました。

同窓会の方からのピアノなどの寄付、022メンバーからのギター・アンプ、ベース・アンプの寄付、紫友交流室お世話役の戸叶さんからPAやミキサー類の提供もあり、機材が段々と整って来たので、皆さんの都合も合わせこの日にセットできました。

写真左から、渡邊(g)、大勝(tp)、鈴木(p)、田村(b)、宮内(tb)、安藤(p)、荒川(sax)、小林(vo)、源田(sax)、浅海(d)、天野(sax)のメンバー11人が集いました。

結構皆さん現役でやっている方も多く、良いアンサンブルで楽しくホットなひと時でした。心置きなく話し、心置きなく演奏できるなんて、このメンバーならではのです。現役を遠ざかっているメンバーもいますが、そうした方々も現在ダンスや美術や写真などに相当本格的に取り組んでおり、この日は会話と拍手と飲食物の提供でにぎやかに参加して楽しんでくれました。

また次回を計画中です。皆、やる気まんまんでとても楽しい仲間です。

022I 渡邊伸廣



紫友スタジオ最高!!

## 紫友美術会

### 紫友美術会へのお誘い

日本も高齢化社会を迎え、かまびすしくも危機感に煽られています。長かった勤めなどから退き、さあこれからどうするか。残された時間をどう生きるか、問題はその中身です。生きるというのは、人々との交流も含め、生きがいを感じることにほかなりません。そんな時考えられるひとつが身体を使って自らを表現すること、絵を描くことで「アート」へ接近してみることです。「上手く描こう」との思いから離れられれば、すぐにでも始められるのです。

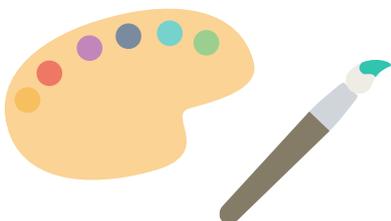
会員60名ほどの紫友美術会の活動の中心は、ここ数年は秋、京橋ギャラリーくぼたで開催の「紫友美術会定期展」で、特別に現役生徒作品も展示され若き世代との交流も始められ、6日間で400人余の来場者をお迎えすることができております。春には定時総会のあと、美術展の鑑賞、春秋にはスケッチ会、時に一泊二日のスケッチ旅行などと活動は多彩です。年度末には新年会を兼ねて会員有志の講演を企画開催し、年間を通しては、月一回、水彩画を中心に日曜スケッチ教室、有志主催のクロッキー教室なども行っております。

このように紫友美術会は、紫友同窓会からの応援も得て、会員一同活発に活動を続けてきました。「青春邂逅」と「楽しむ」ことをモットーに自由闊達に各自独自の表現に挑んでの日々でしたが、今年は創立30周年を迎え、記念画集の発刊をすることができました。会員一同は、より一層会員の輪を大きくと願ひ、皆様の登場を心待ちにいたしております。

紫友美術会代表幹事 猪野 忍 (012B)



スケッチ旅行にて



日 比 谷 シ テ イ

ら-めん厨房  
むつ新

M U T S U S I N

坦々麺とお酒とお料理



伊藤 睦 (022回I)

日比谷店

千代田区内幸町 2-2-3

日比谷国際ビル B2

TEL 03-3580-7177

日蓮宗 立應寺

(りゅうおうじ)



仏事全般 所願ご祈祷 本堂葬できます

住職 関口健勇 (031G)

【立應寺(りゅうおうじ)住所】

東京都足立区大谷田2-21-13(最寄駅はJR亀有)

TEL 03-3605-8250

# 地域同窓会

## 紫友まち歩き

### 紫友まち歩きレポート

● 2018年のまち歩きは、番外2回（六義園での枝垂れ花見他）を含み、9回でした。参加者は、7回で延べ数94名です。

① 1月：東上線沿線 幻の遊園地「兎月園」と「花岡学院」跡を訪ねる

・久しぶりの東京に、大雪が融けることなく残っている寒い日でした。

② 2月：広尾・恵比寿ガーデンプレイス

・全員男性9名参加の珍しい、まち歩きでした。

③ 3月：小田原宿場町まち歩き

・東海道沿いの宿場や明治、大正の旧居を楽しみました。

秀吉の一夜城跡から小田原城の展望、その後、小田原城天守から石垣山一夜城跡の展望を楽しみました。当初の予定を1週間早めたためか、満開の桜を楽しむことができました。依紫友同窓会会長が参加の最後のまち歩きでした。



④ 6月：京都非公開の庭園、伏見、三条通商店街

・京都東山でも非公開の流響院と對龍山荘の見学がメインでした。小雨の中で苔がしっとりとした最高の庭園見学でした。翌日は、前日の雨で見晴らしが良くなり、石清水八幡宮山頂から鳥羽伏見の

戦場や宇治川をすっきりと遠望できました。



⑤ 8月：富士山絶景巡り 富士山の西側を歩く平場トレッキング

・異常な天候のせい、雨の可能性もある晴れ時々曇りの中でのまち歩きになりました。残念でしたが、富士山は見ることはできませんでした。



⑥ 10月：ビール工場、競馬場武蔵国府を歩く

・ユーミンの「中央フリーウェイ」の「右に見える競馬場、左はビール工場」と校歌「武蔵の国ぞ大いなる」の武蔵国府跡をめぐるまち歩きでした。ビールの試飲を楽しみ、ほろ酔いで競馬観戦し、当たり馬券が取れば本日は最高の一日になるとの期待をもって始まりましたが……。



- ⑦ 12月：生田緑地日本民家園と岡本太郎美術館  
・思いがけない美しさの“紅葉”も楽しめて充実したまち歩きでした。

● 2019年5月までのまち歩きは、番外2回（六義園での枝垂れ花見）を含み、4回でした。さらに、2019年の残りの予定も企画中です。

- ① 1月：神楽坂と印刷博物館 新年会  
・印刷博物館で学芸員の話やVR（仮想現実）を楽しみ、太古と最新の技術を楽しむことができました。
- ② 2月：東海道七福神巡りと海苔のふるさと大森  
・昔は海に面していた旧東海道と大森界隈の今を発見するまち歩きでした。
- \* 2019年6月以降の予定
- ③ 6月：柴又水元まち歩き  
・計画中：明治村と犬山城、大阪の建物めぐり、海外編オーストラリア・シドニー等

● 2019年5月現在で、紫友まち歩きは、87回実施しています。

紫友まち歩きは、2005年1月の向島界限・ディープな下町を歩くから始まりました。続きに続き、2019年2月の東海道七福神巡りと海苔のふるさと大森のまち歩きで、なんと87回になりました。

● あなたも参加しませんか

紫友まち歩きは、案内人の得意とするテーマや、東京だけでなく地方での実施も企画しています。すべて仲間による手作りです。参加者卒年は、06から036まで30年と幅広い同窓生が参加しています。2、3時間のまち歩きとその後の懇親会にあなたも参加しませんか。 017D 小林偉昭

## 近畿紫友会

— 今年の予定：テーマは「香道」

昨年の例会は「お茶」をテーマに福寿園京都本店で「お茶 講座」を体験した後、近くの隠れ家的京料理屋〈菜の菜〉で和やかな懇親会でした。何気なく煎れて飲んでいるお茶もレクチャーを受け適温できちんと煎れるとその香り、その甘味、正に甘露甘露！ 緑茶を見直す一時でした。

さて本年は下記の内容で大阪で例会を開催します。「香道」入門講座を体験しその奥深い世界を探ろうという企画です。

大変興味深い体験ができると思います。是非多くの皆様のご参加をお待ちしています。

連絡・問い合わせは下記事務局までお願いします。

記

第65回 近畿紫友会例会（本年の予定）

日時：令和 元年10月13日（日）12時～15時

テーマ：「香道」（香道の体験その後会食）

講師：香道「はなの会」主催 神垣 裕子先生

場所：大阪市内の料理屋

会費：8千円（同伴者6千円）

幹事：秋山 実（033） 本多 新（019事務局）

事務局 〒569-0823 高槻市芝生町4-64-2

TEL & FAX 072-678-0454

E-mail ; honda\_sfxart@tcn.zaq.ne.jp



例会後の懇親会



京都福寿園本店にて

# 「紫友経営者交流会」が発足します!

小石川出身の経営者、会社役員が集まりです

年次を越えたタテ、ヨコの新しい繋がりを作りましょう!

紫友同窓会では、百周年を機に会員相互交流促進による「新しい同窓会」を目指すべく交流活動の広がり期待が高まっています。他の伝統校と違い我が小石川は、同窓生同士の交流の場が少なく、いわばOB メリットを享受していない伝統校であります。昨今における異業種交流会の活発化の風潮を見ますと宝の持ち腐れ感もあります。

今般、有志の方々により、小石川卒業生にオープンな経営者交流会が設立される運びとなりました。今後、同窓会活動では多様な交流会の誕生が予想されますが、その起爆剤となるべく第一号として発足せんとするものです。また加えまして、様々な絆で繋がる参加者の熱い小石川マインドが母校の後輩たちの成長を支援する「紫友みらい基金」の寄付に繋がれば望外の喜びでもあります。

この経営者交流会は、同窓会のサポートは受けつつも参加者の自主的運営により行われるものです。地域にある、あるいは職場にある紫友会の拡大版、ヨコ展開版だとも言えます。参加メンバーは、経営者に狭く限定するものではありません。また、関係する企業の規模、業種には関係はありません。経営者、企業幹部の多様な接点作りを目指すもので、世代や立場を超えた同窓生ならではの経営談義、仕事情報の交換など賑やかな話題が交わされることが期待されます。多くの参加者が集われることを、また今後大きく拡大して行くことを願っております。なお、開催は年2回を予定しております。

## 第1回経営者交流会の概要

名 称	「紫友経営者交流会」
参加資格	代表取締役及び会社役員を中心に（そのOBも可）
開催日時	2019年10月26日（土） 13時～15時半（受付は12時半から）
場 所	未定（決まり次第HPに掲示致します）
会 費	1万円、残金は同窓会「紫友みらい基金」へ寄付 致します
運 営	数名の幹事により運営されます
名 簿	開催ごとに会員名簿を発行します
発 起 人	高井俊成（017A）、笠原盛泰（030H）、大村仁（031H）
申込窓口	同窓会事務局

幹事をしていただける方を募集しています。ボランティアでお手伝いいただける方、ご連絡ください。

# 事務局だより

清水 透 (024H)

事務局は024H 清水透、030A 清水潤子、035G 駒田晴美で担当しています。原則として火曜日と金曜日が在室日ですが、その他の日は留守電、FAX、メールでご用件を承っておりますので、お気軽にご連絡ください。

## ●ホームカミングデー

今年で11回目となるホームカミングデー。学校の創作展に合わせて、卒業生を対象に開催していますのでぜひお立ち寄りください。今年の開催日は9月15日(日)です。当日は同窓会展示、資料室の開放(過去の卒業アルバムや資料がご覧いただけます)、紫友スタジオ見学などを行います。15日15時からは、同窓生交流の場として懇親パーティーを開催します(文京グリーンコート「キャフェテリア」にて会費3,000円の予定)。ぜひご参加ください。

## ●評議委員について

会員のみなさんと同窓会をつなぐパイプ役として、各クラスから1~3名の方を評議委員として選出していただいています(評議委員の一覧はホームページ参照)。欠員のクラスは、クラス会幹事など実質的に活動されている方にお引受けいただき、事務局へご連絡いただくと助かります。また、評議委員会への出席率向上の為に、可能であれば各クラス2名以上の方を選任いただきたく、宜しくお祈いします。

## ●東洋文庫ミュージアムの利用について

年会費を納入いただいた会員の方は、無償で施設を利用できます。利用希望者は、事務局にて会員証を発行しますので、初回利用日の2週間前までに事務局へご連絡ください。

## ●名簿の変更について

引越しや改姓などによる登録情報の変更がある場合には、次の方法で変更・届け出をお願いします。

①「Web名簿管理システム」にログインして、ご自身で変更する。  
(「Web名簿管理システム」を利用するには、メールアドレスの登録が必要です。未登録の方は、事務局までメールアドレスをお知らせください。)

Web名簿管理システム <https://shiyu.alumnet.jp>

②住所・姓名等の変更内容を、事務局まで電話、Fax、メールでお知らせください。

## ●会費の納入について

紫友同窓会の運営は同窓会員の納入会費によって成り立っています。

財政運営状況を健全に維持するために、2014年から、毎年2,000円の会費を納めていただくことになりました。納入には3種類の方法があります。

①郵便局：会報の宛名裏面に印刷された「払込取扱票」をご利用ください(手数料は同窓会負担)。

②銀行振込：紫友同窓会口座にお振り込みください(振込手数料はご負担ください)。

※振込の際は、必ず「卒年次」「クラス」「お名前」をご記入ください。(記入例 030A シュウタロウ)

③口座自動引落し：毎年振込の煩わしさを解消するため、「口座振替サービス」を導入しています。

口座振替依頼書はホームページに掲載していますが、見られ

ない方は事務局にご連絡いただければ郵送いたします。今年度分からの口座振替を希望される方は、事務処理の都合上8月20日迄にお申し込みください。(振替予定日は9月27日です)

## ●「紫友みらい基金」へのご寄付のお願い

創立百周年を契機に開始した、教育支援活動・交流促進活動・小石川の杜プロジェクトという3つの「新しい同窓会活動」を継続して実施していく財務基盤を構築するため、百周年募金の残余資金(約42百万)を原資として「紫友みらい基金」を創設しました。活動継続には10年間で1億円超の費用が見込まれ、ぜひとも会員・客員の皆様のご寄付を賜りたく、お願い申し上げます。

### 【募金要項】

1. 基金名称：紫友みらい基金
2. 募金の目的
  - ①教育支援活動の継続
  - ②交流促進活動の継続
  - ③小石川の杜プロジェクトの継続
3. 募金目標額 1億円(10年を想定)
4. 募集期間 2019年6月~2029年5月
5. 募金方法

### 【金額】原則、一口10,000円以上

※できるだけ一口以上のご寄付をお願いします。

(一口未満のご寄付もありがたくお受けいたします)

※何回でもお受けいたします。

### 【申込み方法】

- ①郵便局：会報の宛名裏面に印刷された「払込取扱票」をご利用ください(手数料は同窓会負担)。
- ②銀行振込：紫友同窓会口座にお振り込みください(振込手数料はご負担ください)。  
※年会費口座自動引落しを利用していない方は、年会費2,000円と合算した額をお振り込みください。

振込金額のうち、会費2,000円を超える金額が「紫友みらい基金」へのご寄付となります(会費が優先的に納入されます)。

※一定口数以上のご寄付者名は、会報等に掲載予定です。お名前の非公示を希望される場合は通信欄に記入、または事務局へご連絡ください。

## 6. 顕彰

ご寄付を賜りました方は、ご芳名を録し、末永く留めさせていただきます(匿名でのお取扱いも可能です)。また、感謝の意を込め、以下の特典をご用意しています(百周年寄付と合算した金額、但し無くなり次第終了)。

累計2万円以上ご寄付の方：百年史3冊贈呈

累計5万円以上ご寄付の方：カシミア製ストール贈呈

累計30万円以上ご寄付の方：寄付者銘板作成

## 7. その他

ご寄付に対しては、税の優遇措置・控除対象には該当しませんので、あらかじめご了承ください。

## 会費・寄付の振込先「紫友同窓会口座」

### 【郵便局】

口座番号 00110-2-11869  
加入者名 「紫友同窓会」

### 【銀行】

みずほ銀行 駒込支店  
普通口座 0629241  
名 義 「シユウドウソウカイ」

※振込の際は、必ず「卒年次」「クラス」「お名前」をご記入ください。(記入例：030A シユウタロウ)

※使途指定の寄付も出来ます！

「お名前」の後ろに下記の数字を付記して下さい。

- ①教育支援活動への寄付（教育支援口⇒1）
- ②交流促進活動への寄付（交流活動口⇒2）
- ③小石川の杜プロジェクトへの寄付（環境企画口⇒3）  
(記入例：030A シユウタロウ-3)

## 紫友同窓会 事務局

原則として、火曜と金曜の10時から17時まで在室  
住所 〒113-0021

東京都文京区本駒込2-29-29  
都立小石川中等教育学校内

Tel/Fax 03-3945-1961（留守電あり）

メールアドレス shiyukai@msj.biglobe.ne.jp

ホームページ

<http://www.shiyu-dosokai.sakura.ne.jp/>  
(または“紫友同窓会”で検索)

### ●紫友スタジオ

百周年記念事業の目玉として取組んだ「紫友交流室」で、リアル交流の活動拠点となる「紫友スタジオ」が開設されました。場所は、不忍通りをはさんだ学校の向かい側、1階にキャピタルコーピーがあるビルの地下です。クラス会、会議・セミナー、楽器練習等に、是非ご活用ください。

問合せ先：k100kouryusitu@gmail.com

### ●紫友文庫

会員の皆様から寄贈いただいた同窓生・小石川に関する著書を「紫友文庫」と名付け、配架しています。一覧はホームページでご覧ください。閲覧・貸し出しは事務局までご連絡ください。



### ○逝去者一覧

前号の発行以降に事務局にご連絡いただいた方です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

卒クラス	逝去者氏名	逝去年月日	卒クラス	逝去者氏名	逝去年月日
旧職員(物理)	荒木 弘行	H10.11.4	五中25A	高橋 廉平	H25.5.8
五中9A	岡 淑夫	H18.11.3	五中25A	野本 高明	H14
五中10B	角岡 大忍		五中25C	片岡 功光	
五中11A	片山 完	H30.5.6	五中25C	黒川 進	
五中11D	横山 隆義	H22.9.30	五中26C	飯高 建士	H30.9
五中12A	増井 靖彦		01C	奈良 康明	H29.12.10
五中12C	江成 敬一		01D	伊藤 秀雄	H31.2.25
五中14A	滝沢 一雄		01D	河村 達雄	H31.4.7
五中14C	大江 正直	H28.11.4	01D	堂山 孝	H30.7.23
五中15B	上野 茂美		01D	水野 卓郎	H30.5.3
五中16A	小林 康生	H22.10.28	02A	相沢 慎一	H28
五中16B	岡田 真	H29	02A	伊藤 精彦	H30.6.8
五中16C	今井 三郎	H30.3.9	02A	石田 雅男	H31.4.19
五中16C	西村 隆	H.18.3	02B	国府方 吉男	H23.4
五中17E	中山 富太郎		02E	佐藤 亮	H30.4.28
五中17A	笈 信夫	H30.7.25	02F	浦 弘三	H31.3.26
五中17A	近角 聡信	H16.5.8	02F	渡部 尚三	H30.2
五中17D	篠原 登美雄	H29	03A	居村 謙弥	
五中17E	池田 早苗	H22	03A	金田 大義	H30.2.16
五中18B	武田 真純	H30.5.30	03B	近藤 康夫	
五中18D	長岡 純太郎	H26	03B	山口 義一	
五中18D	山本 平		03C	江口 守雄	H27.2.17
五中18E	宮川 忠	H30.5	03C	丸山 和男	H30.7.11
五中19C	八尾 十三	H30.3.5	03D	小林 貞夫	H30.9
五中19E	久保村 圭助	H30.9	03E	早川 文康	
五中19E	笹原 鶴夫	H30.5	03F	藤井 昭	H30.7.13
五中20A	谷 茂	H30.3.14	03G	萩野 茂雄	H29.12.24
五中20D	中島 功	H29.3.31	03G	星野 春人	
五中20D	藤田 清文	H30.7.14	04C	近藤 誠男	
五中21A	浜谷 知也	H24	04C	佐藤 遼	H30.1.10
五中21A	舟波 泰山		04C	西野 醇生	H30.5
五中21C	河西 隆		04D	菊地 拓	H26.12.12
五中22B	森 和夫	H28.8.6	04E	内田 慶一	H30.5.21
五中22D	田丸 明	H29	04E	岡本 光夫	H28.10.11
五中22A	岡 勇		04F	真田 聡	H30.9.24
五中22B	天海 清	H29	04H	西山 康雄	H30.8.25
五中22C	中村 和磨	H30.2	05B	桜井 博美	H30.5
五中22D	坂本 義雄	H27	05D	古藤 凱生	H30.1.31
五中22E	石川 昭	H30.6	05D	峯村 律郎	H30.4
五中22E	清川 昭夫	H30.3.19	05E	池田 和子	
五中22E	米花 穰	H31.2.3	05F	武市 威久	H30.2.1
五中23D	朝蔭 武司	H29.9.30	06B	七島 利吉	
五中24D	岡林 正之	H30.4.22	06D	真木 隆	H30.1.8
五中25A	小熊 誠		06G	幕内 敬	H29.12.15
五中25A	片山 桂一	H31.1.15	07D	角田 義行	H30.4.18

卒クラス	逝者者氏名	逝去年月日	卒クラス	逝者者氏名	逝去年月日
07E	中川 次衛		025B	鬼嶋 篤志	H30.21
08D	五十嵐 通夫		025E	山田 さつき	H30.33
08D	入船 寅二	H30.11.19	025H	下川 貢	H30.12
08D	大和田 暎		026B	塩谷 隆	
08D	折原 俊夫		026C	澁谷 豊実	H30.12.30
08D	寛田 充之	H31.1.20	026F	西沢 光彦	H25
08D	小池 日出男	H31.1.28	026H	伊達 雅幸	H30.6.22
08D	鈴木 明		027D	寺西 泰代	H29.3.30
08D	舟山 文子		028A	荻上 宏	H29.7.2
08E	中尾 駿		029B	北川 哲雄	H29.6.24
08F	石山 賢	H30.4.30	036H	畔柳 美季	H30.12.30
08G	奥山 敏弘	H30.7	040A	鬼沢 さゆみ	H27.9
08H	鬼頭 登	H29.8.12			
09F	小澤 利雄				
010A	田嶋 克子	H30.7.2			
010B	川合 廣樹				
010F	田中 金次郎				
011D	高橋 英司				
011D	岡野 弘子				
011D	宗像 治喜				
011G	宮崎 秋子	H30.7.15			
011H	中川 土郎	H27			
012C	古屋 操子				
013C	牛山 武久	H30.5.26			
013C	辻 邦夫	H30.1.18			
013D	田子 美代子	H30.3.2			
013H	西 俊徳	R15.10			
014D	矢内 弘昭	H29.11.30			
014E	加知 日南子				
014H	市谷 国子	H9.2.21			
014H	斎藤 正博	H30.2.2			
016D	中村 周代	H29			
016G	神屋 康之	H11			
016G	藤嶋 善弘	H30.7			
017C	武藤 晃	H30.5.11			
018C	八木橋 美範	H30.8.6			
018E	俵 一雄	H31.1.9			
018F	岡本 行正	H27			
018J	深野 信弘	H30.4.1			
019E	前田 一雄	H24.6.29			
019E	吉野 恵子				
019G	倉石 公路	H30			
019I	瀬戸口 武一	H31.2.16			
020E	松浦 隆男	H30			
020F	長井 清	H30.7.20			
021H	北澤 敏子	H30.7.5			
022E	小林 伸雄	H31.2.25			
022F	直井 和夫	H31.2.11			
022H	伊藤 隆治	H31.1.18			

## 編集後記

インタビューをする度に、小石川の卒業生は本当に様々な分野で活躍している方々がいらっしゃることに驚きます。貴重な機会をありがとうございました。(中野靖子)

今号でお伝えしましたように、百周年事業は各委員会に結集した多くの同窓生の参加と協力によって、本年3月、(なんとか)無事にゴールを迎えました。

……この3年間、理事会では「百周年」をめぐる毎週夜遅くまで「目標」と「現実」の議論が交差していた。やるべきこと、やりたいことは山ほどあった。いったい、これは自主自発の「ボランティア活動」なのだろうか。夜の紫友会館に向かう足取りは重く、帰宅すれば醒めた視線が待つ日々。閑人の愚生にしてこうなただから、仕事や家庭の事情を抱えながら各ミッションを担う世代のしんどさはいかばかりか。

それでも次の会議までには、小石川生の矜持と、何かの力が加わって半歩前に進む。議論の中から新しい同窓会の姿が見えてくる。同窓会活動で知り合った誇るべき先輩、頼もしい後輩、乗り掛かった舟だから行くところまで行こうと楽しんだ一人一人の顔が浮かんだ。

……そんな日々は、遠い昔のような、つい昨日のような。そして、徐々に小さくなっていく俵さんの背中を見ていた。(並木隆)

## 紫友同窓会会報 第47号

令和元年7月31日発行

発行所：紫友同窓会

事務局：〒113-0021 東京都文京区本駒込2-29-29  
 東京都立小石川中等教育学校内  
 TEL・FAX 03-3945-1961(原則火・金曜日在室)  
 郵便振替口座 00110-2-11869  
 メールアドレス shiyukai@msj.biglobe.ne.jp

印刷所：株式会社アイワード

非売品

# 紫友同窓会特別割引

振袖・卒業衣裳・男子紋服など全ての衣裳

紫友同窓会×晴れ着の丸昌

小石川中等教育学校 紫友同窓会の皆様へ

この会報をご持参のお客様は  
**レンタル衣裳 10%OFF**



この特別割引を撮影した画像やコピーした用紙のご提示でも割引を適用します

- 晴れ着の丸昌池袋本店のみ有効
- その他割引・優待サービスや互助会カード、特約店が発行する丸昌紹介カードのご利用不可
- 草履やブーツ・その他の単品レンタル、特価品や販売品、着付け・美容・撮影料は対象外
- レンタル合計 20,000円 (税別) 未滿は別途送料 2,000円 (税別) 必要
- 卒業衣裳予約は 6月中旬から翌年 3月末迄
- 有効期限 2020年7月25日迄

池袋駅西口より徒歩5分。

東京都豊島区池袋2-39-2丸昌本社ビル  
9時半～18時(火曜定休) 0120-870-511



ハートフルコミュニケーション  
晴れ着の丸昌

## 新規会員の募集

## 美術を愛する同窓生の皆様へ

紫友美術会は故大勝恵一郎先生の呼びかけでスタートし、今年で30周年を迎えました。皆様も美術を通し生活に彩りと楽しい語らいの場を共有しませんか。

代表幹事 猪野 忍

### 2019年 活動行事



創立30周年  
記念画集  
＜青春邂逅＞  
刊行



第30回紫友美術会 定期展覧会  
＜2019.10.28 ▶ 11.3＞



日帰りスケッチ会

クリムト展他各種 美術館の展覧会

問い合わせ 岡田謙司 (020卒)

携帯 090-4076-3186  
メール okadak.yushima.31@docomo.ne.jp